東関東自動車道

潮 来 舗 装 工 事

契約参考図書
（率計上項目図面）

令和7年2月

東日本高速道路株式会社　関東支社

つ く ば　工　事　事　務　所

・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を提示する資料であり、
工事請負契約書第1条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束力はない）
・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は
受付けない。

目　　次

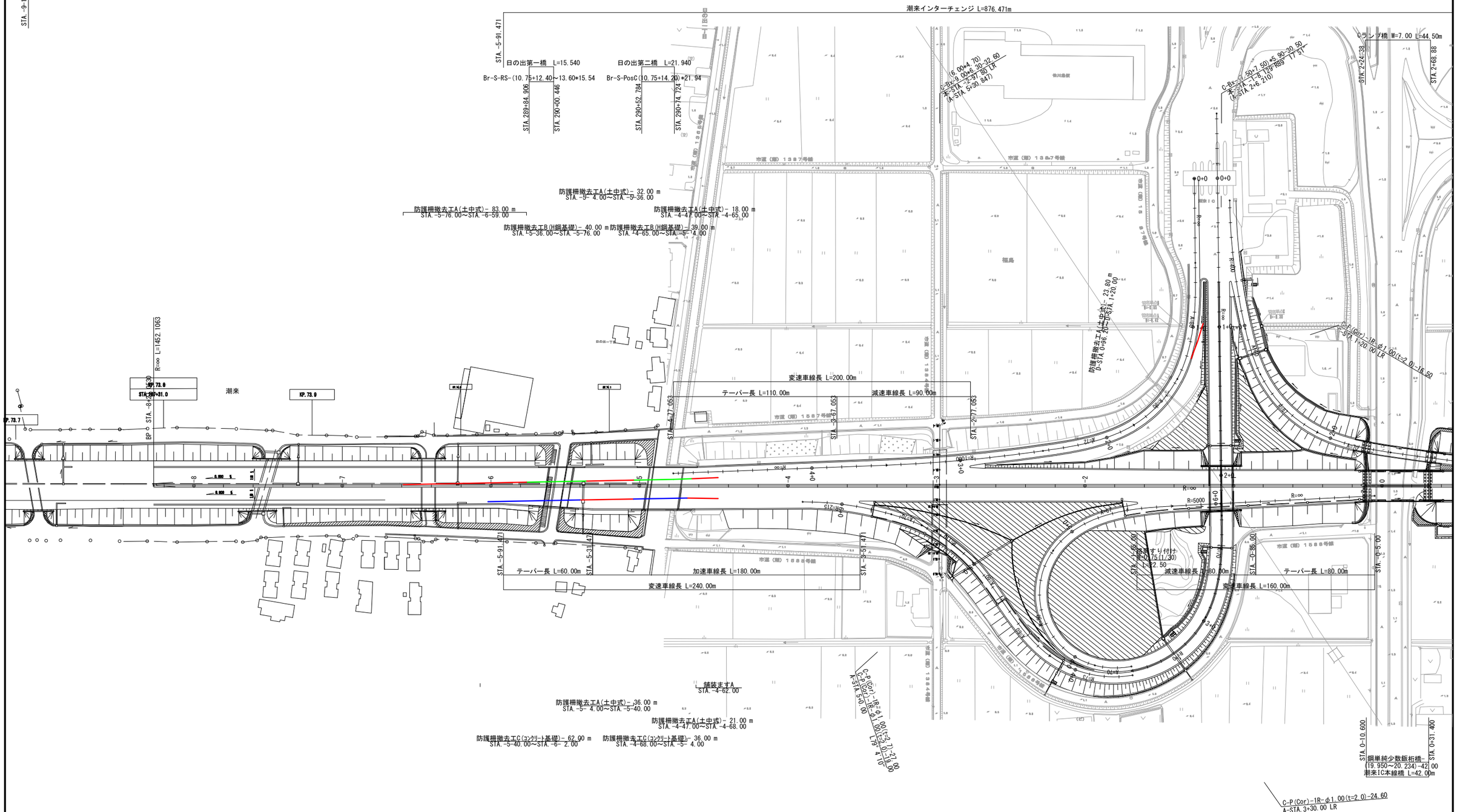
		頁
1.	率計上項目数量表	1
2.	撤去工平面図	2
3.	撤去工詳細図	3
4.	交通誘導警備員配置図	4
5.	交通規制工詳細図	5 ～ 12
6.	踏掛版詳細図	13 ～ 31
7.	通信管路平面図	32 ～ 48
8.	標準横断図	49 ～ 50
9.	電力横断管路図	51 ～ 52
10.	配管図	53 ～ 54
11.	管路付帯工	55 ～ 57
12.	橋梁端部 管路接続図	58
13.	橋梁部配管敷設要領図	59
14.	排水管布設要領図	60
15.	ハンドホール図	61 ～ 63
16.	非常電話基礎図	64 ～ 66

率計上項目数量表

番　号	項　　目	単 位	数量	番　号	項　　目	単 位	数量	番　号	項　　目	単 位	数量
1	捨土掘削 土砂B	m3	2,250	26	ハンドホール工 CF-SD1(平坦部)	箇所	1	51	交通規制工 ランプ閉鎖A2(夜)	回	1
2	盛土工 盛土工 B	m3	1,665	27	ハンドホール工 CF-SD1(盛土部)	箇所	14	52	交通規制工 規制材賃借費	式	1
3	路面標示工 仮路面標示	m	584	28	ハンドホール工 CF-ST1(路肩)	箇所	34	53	交通規制工 規制用看板作成費	式	1
4	路面標示工 仮路面標示(夜)	m	1,454	29	ハンドホール工 EE-C2(平坦部)	箇所	1	54	交通保安要員 交通監視員A1	人・日	93
5	土工部管路工 E1-FP30(1)	m	102	30	ハンドホール工 EE-C2(盛土部)	箇所	19	55	交通保安要員 交通監視員B1	人・日	657
6	土工部管路工 E1-FP30(2)	m	39	31	ハンドホール工 EE-C2(切土部)	箇所	6	56	交通保安要員 交通監視員B2	人・日	654
7	土工部管路工 E1-FP40(3)	m	38	32	ハンドホール工 土留壁	箇所	6	57	交通保安要員 交通監視員C1	人・日	2
8	土工部管路工 E2S-PS40(4)	m	128	33	ハンドホール工 P.BOX	箇所	14	58	交通保安要員 交通誘導警備員A1	人・日	382
9	土工部管路工 E2S-PS50(4)40(3)	m	9	34	ハンドホール工 EM1-SD5	箇所	1	59	交通保安要員 交通誘導警備員A2	人・日	2
10	土工部管路工 E2S-CP54(4)	m	345	35	ハンドホール工 ET-AS	箇所	14	60	交通保安要員 交通誘導警備員A3	人・日	2
11	土工部管路工 E2S-FP30(2)	m	5	36	ハンドホール工 ET-C1	箇所	4	61	交通保安要員 交通誘導警備員A4	人・日	2
12	土工部管路工 E2S-FP30(3)	m	1	37	ハンドホール工 ET-D1	箇所	8	62	交通保安要員 交通誘導警備員B1	人・日	551
13	土工部管路工 E2S-FP40(2)	m	8	38	ハンドホール工 ADΦ40	箇所	31	63	交通保安要員 交通誘導警備員B2	人・日	2
14	土工部管路工 E2S-FP40(2)30(1)	m	1	39	ハンドホール工 HH(TYPE-A)	箇所	4	64	交通保安要員 交通誘導警備員B3	人・日	2
15	土工部管路工 E2S-FP40(3)30(2)	m	6	40	踏掛版工 t=35cm	m2	170	65	交通保安要員 交通誘導警備員B4	人・日	2
16	土工部管路工 E2S-FP40(4)30(1)	m	9	41	踏掛版工 t=40cm	m2	49	66	交通保安要員 交通誘導警備員B5	人・日	2
17	土工部管路工 E3-VE42(2)	m	123	42	踏掛版工 t=50cm	m2	1,027	67	路面標示消去工 仮路面標示(夜)	m	1,070
18	土工部管路工 E5S-VE42(2)	m	8,946	43	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し(TypeA)	m3	1	68	撤去工 舗装ますA	箇所	1
19	土工部管路工 E5S-PS40(2)	m	34	44	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し(TypeB)	m2	350	69	撤去工 防護柵撤去工A(土中式)	m	214
20	土工部管路工 E1D-TRF200	m	56	45	交通規制工 路肩規制Ⅰ×1	回	5	70	撤去工 防護柵撤去工B(H鋼基礎)	m	79
21	橋梁、高架部管路工 B2-SUSFX42(2)	m	49	46	交通規制工 固定規制A1	回	1	71	撤去工 防護柵撤去工C(コンクリート基礎)	m	98
22	トンネル部管路工 T1-CP54(6)	m	581	47	交通規制工 固定規制A2	回	1				
23	管路付帯工 埋設標柱　MK-A	箇所	19	48	交通規制工 固定規制B1	回	1				
24	管路付帯工 埋設標柱　MK-C	箇所	588	49	交通規制工 固定規制B2	回	1				
25	ハンドホール工 CD-ST1(路肩)	箇所	16	50	交通規制工 本線通行止めⅠ×Ⅱ(夜)	回	1				

東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	率計上項目数量表
縮　尺	—
図面番号	1 ／ 66
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所

撤去工平面図　S=1:2,500



凡　例

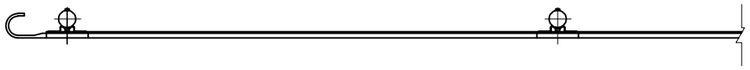
- 防護柵撤去工A(土中式)
- 防護柵撤去工B(H鋼基礎)
- 防護柵撤去工C(ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎)

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	撤去工平面図		
縮　尺	1:2500	図面番号	2 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

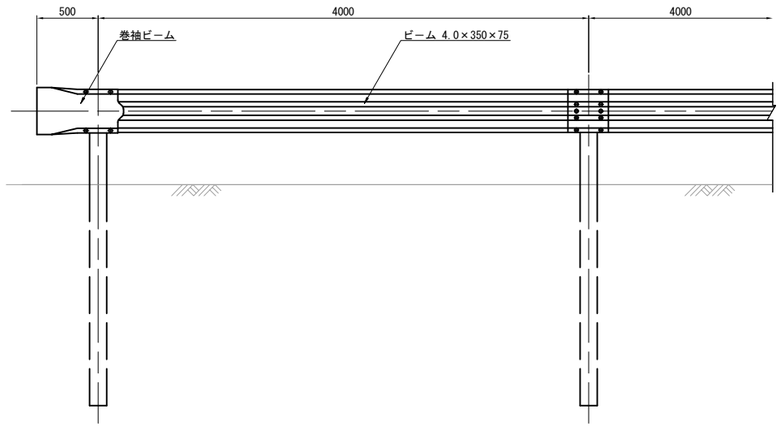
撤 去 工 詳 細 図

防護柵撤去工A(土中式) 縮尺 1:50

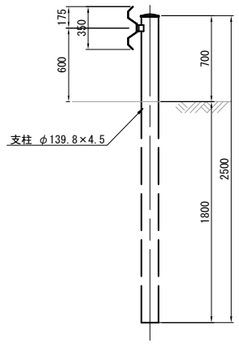
平 面 図



側 面 図



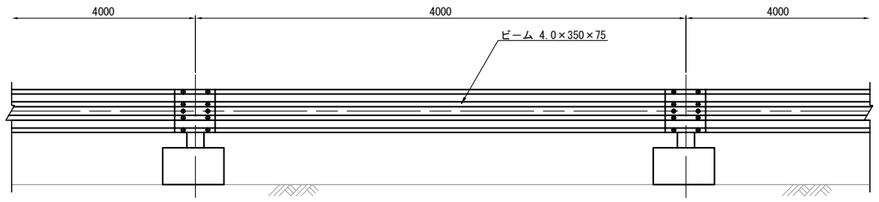
断 面 図



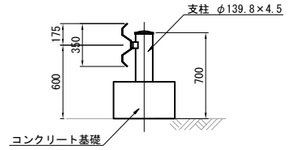
防護柵撤去工C(コンクリート基礎) 縮尺 1:50

平 面 図

側 面 図



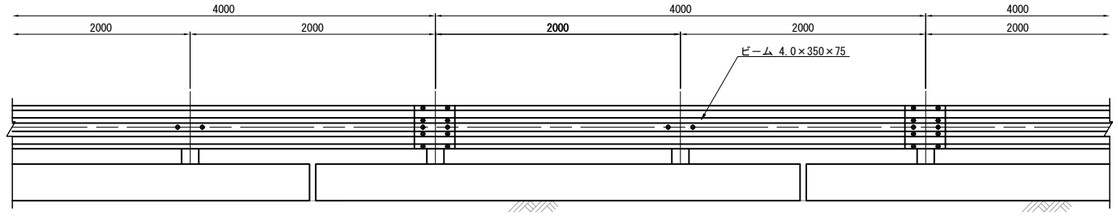
断 面 図



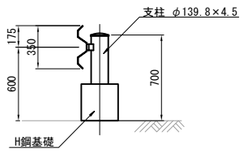
防護柵撤去工B(H鋼基礎) 縮尺 1:50

平 面 図

側 面 図

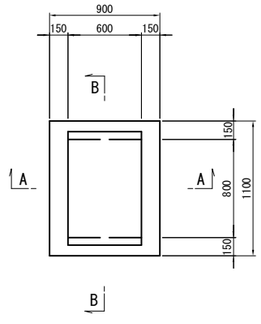


断 面 図

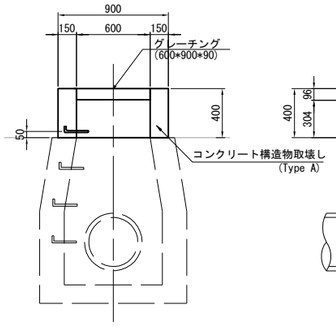


舗装ますA 縮尺 1:50

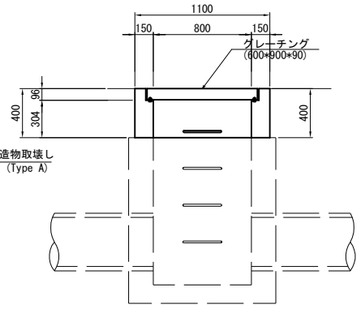
平 面 図



A － A



B － B



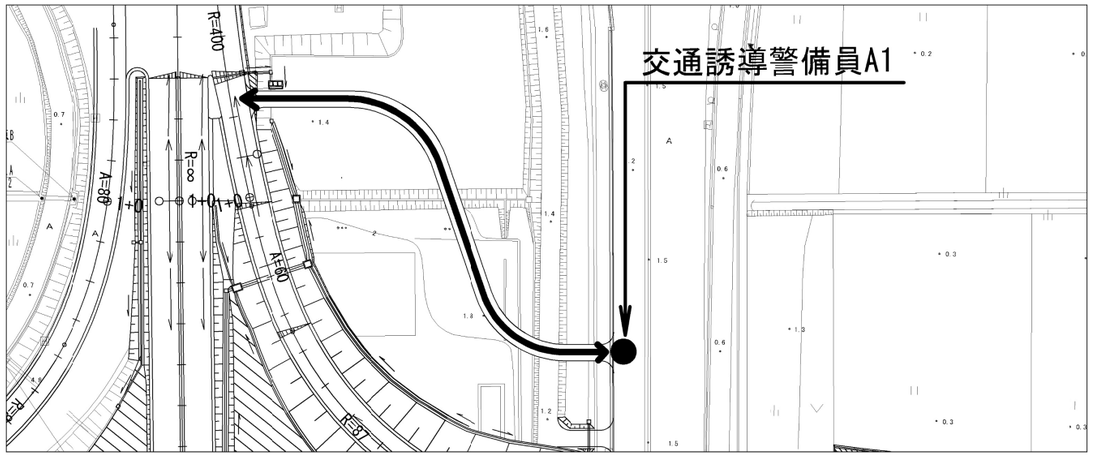
材 料 表(舗装ますA) 1箇所当り

項 目	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリート構造物取壊し	Type A	m3	0.20	別途検測
グレーチング撤去	600*900*90	枚	1	

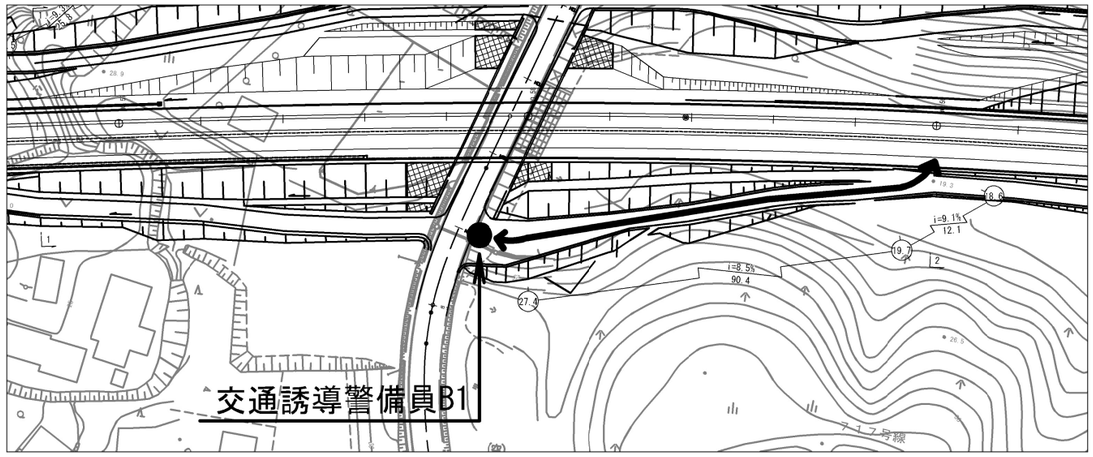
東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	撤去工詳細図
縮 尺	1：50
図面番号	3 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

交通誘導警備員配置図

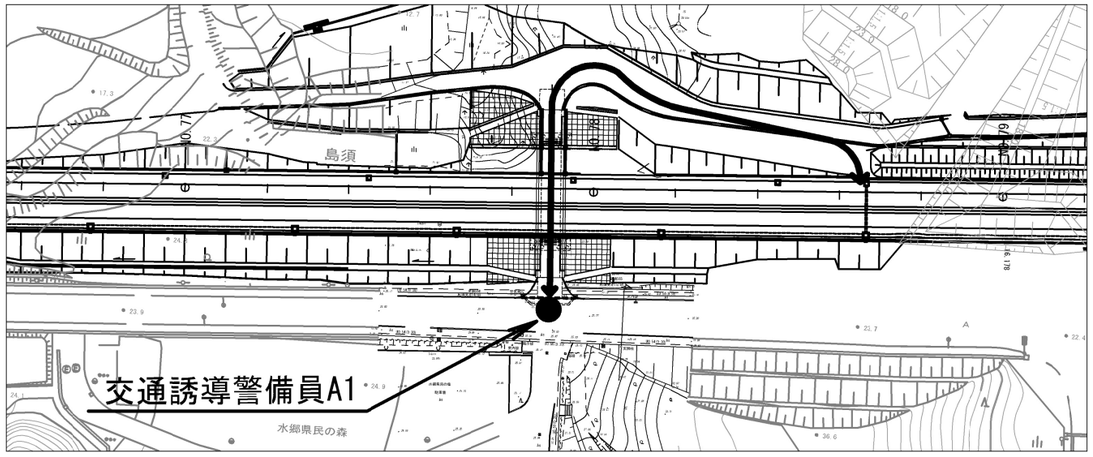
工事用進入路A（潮来IC）



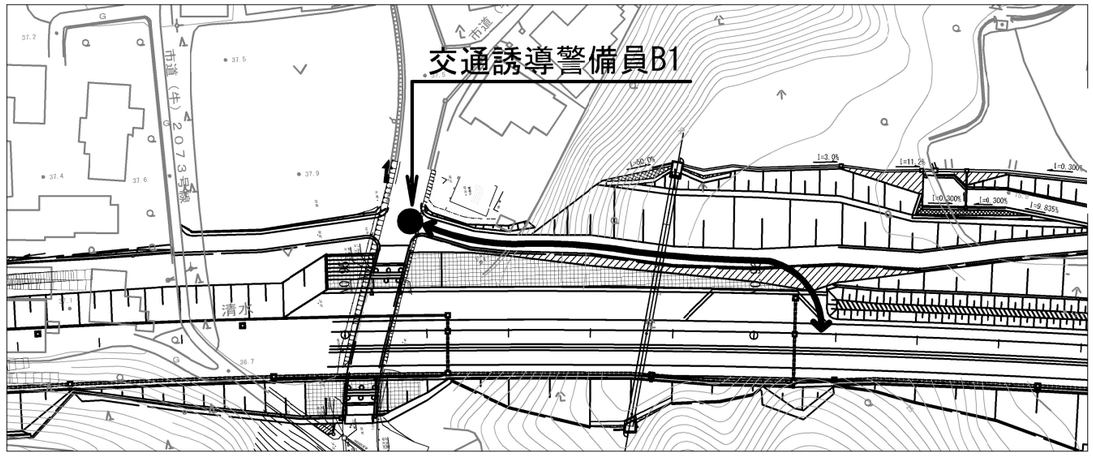
工事用進入路B



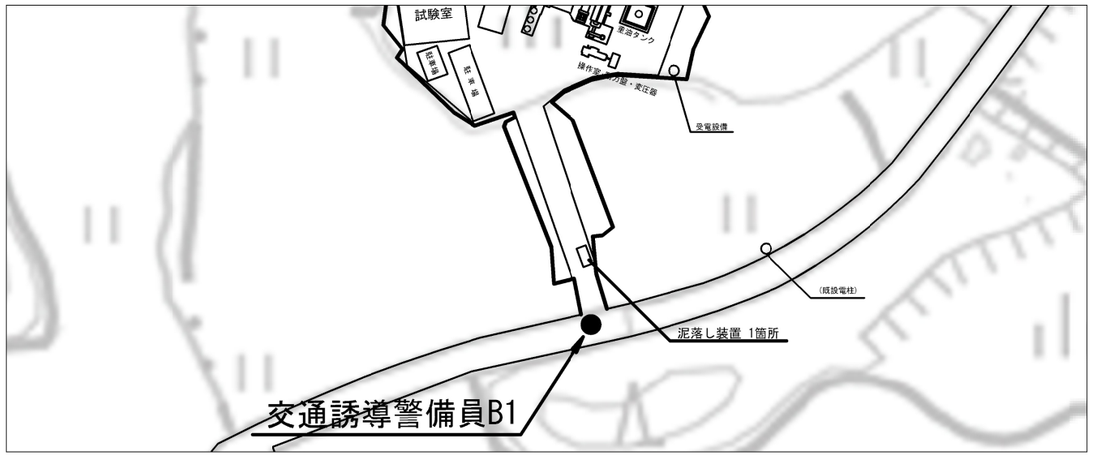
工事用進入路C



工事用進入路D



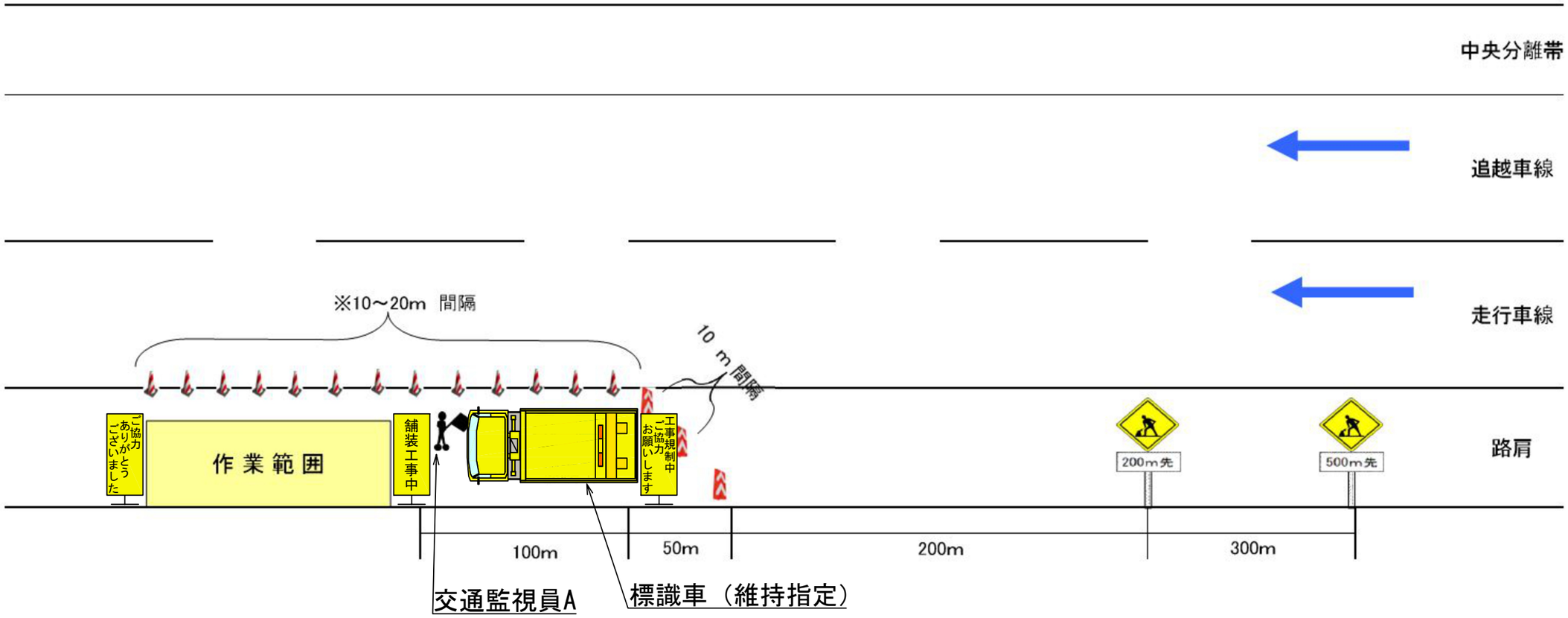
仮設プラント出入口



東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通誘導警備員配置図		
縮尺	－	図面番号	4 ／ 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（１）

路肩規制



【凡例】

警戒標識（高輝度）（貸与）900角

１基　１基

規制機材（高輝度）（貸与）

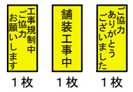
矢印板（高輝度）５枚

ラバコン（高輝度）規制延長による

規制車両（貸与）（道路維持作業指定車両）

標識車用トラック（2t）車載式LED標識搭載 １台

注意喚起等看板（高輝度）（受注者持ち） 550×1400mm



１枚　１枚　１枚

交通保安要員（別途検測）

交通監視員A（車両出入口部）

配置内訳　（人）

種　別	数量	配置時間
交通監視員A1	1	9時～17時

交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

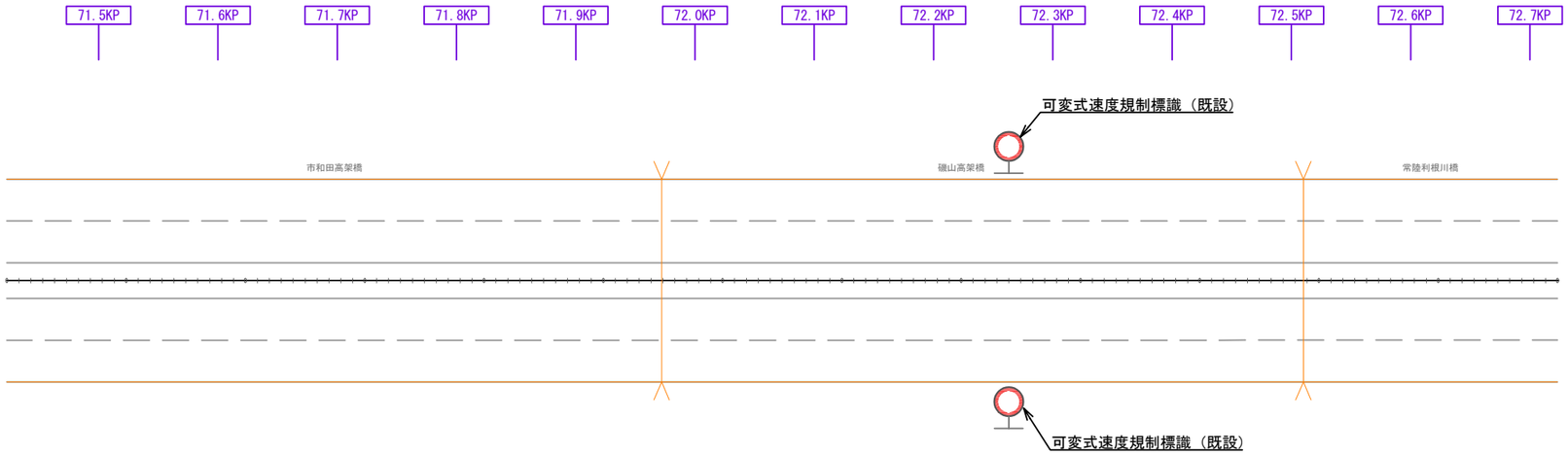
本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。

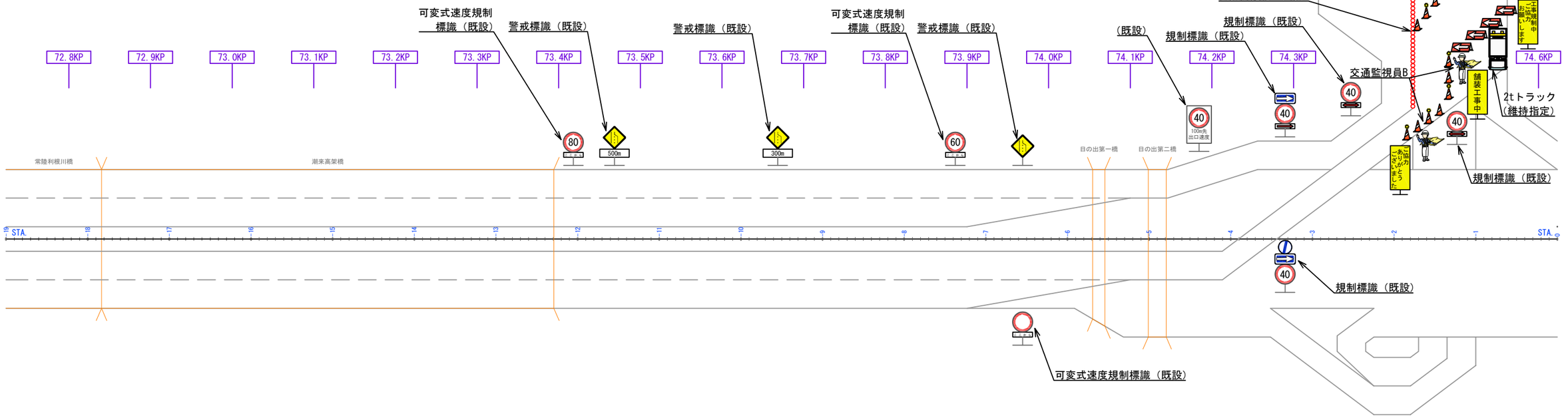
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

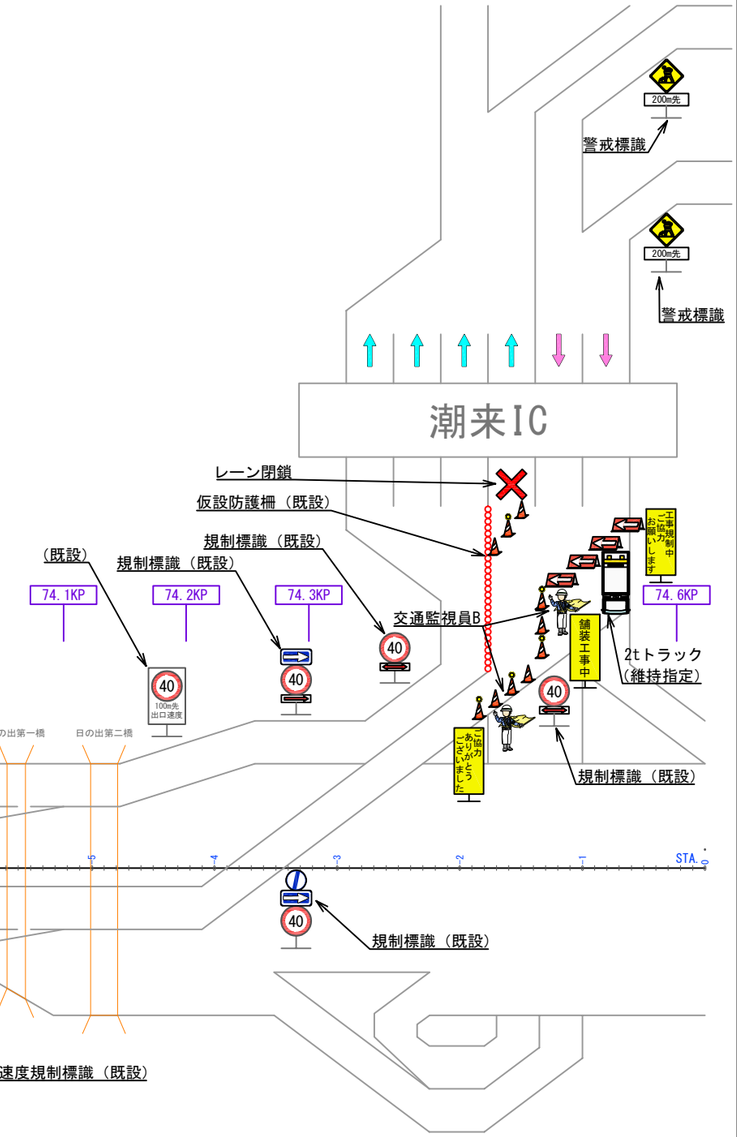
東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(1)		
縮　尺	－	図面番号	5 ／ 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（２）

固定規制A1（ステップ1）







【凡例】

警戒標識（高輝度）（貸与）900角	規制機材（高輝度）（貸与）	規制車両（受注者持ち）（道路維持作業指定車両）	注意喚起等看板（高輝度）（受注者持ち） 550×1400mm	交通保安要員（別途検測）
200m先	自発光式ﾃﾞﾘﾆｴｰﾀｰ		工事区間規制中ご協力お願いします	交通監視員B（規制保守）
２基	矢印板（高輝度） ４枚	2tトラック 車載式LED標識搭載 １台	１枚	
	ラバコン（高輝度） １５本		舗装工事中 １枚	
			ご協力ありがとうございました １枚	

配置内訳 （人）

種　別	数量	配置時間
交通監視員B1	2	9時～21時
交通監視員B2	2	21時～翌9時

※交代要員の人数は含まない

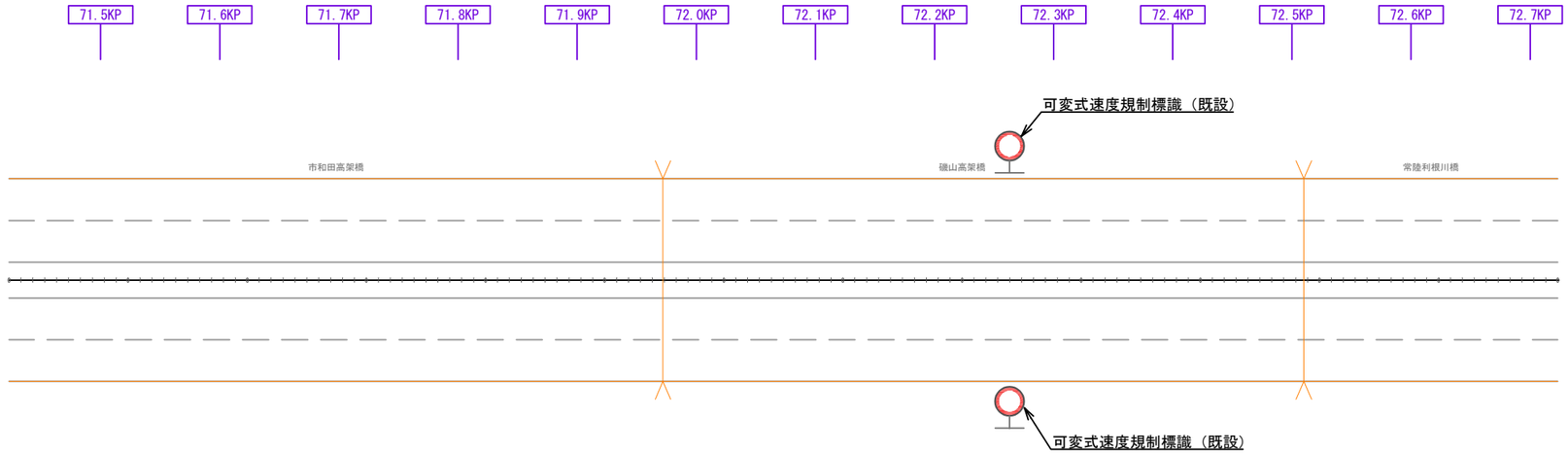
交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

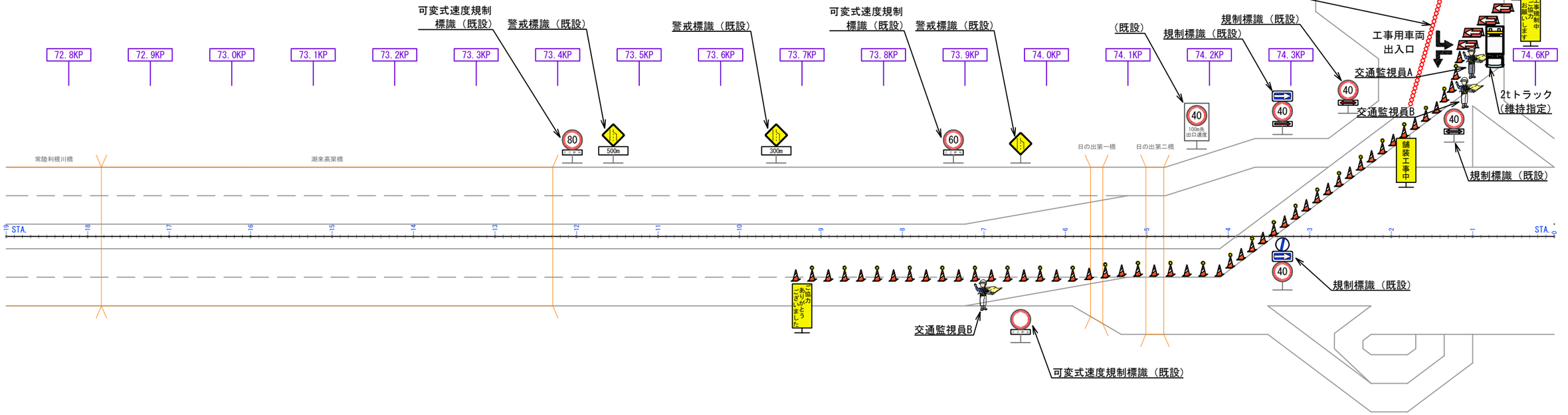
本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(2)		
縮　尺	－	図面番号	6 / 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（３）

固定規制A2（ステップ2）





【凡例】

警戒標識（高輝度）（貸与）	規制機材（高輝度）（貸与）	規制車両（受注者持ち）（道路維持作業指定車両）	注意喚起等看板（高輝度）（受注者持ち）
900角	自発光式ﾃﾞﾘﾆｴｰﾀｰ		550×1400mm　1000×1500mm
200m先	矢印板（高輝度）４枚	2tトラック 車載式LED標識搭載 １台	注意 １枚　注意 ２枚
２基	ラバコン（高輝度）４５本		工事規制中ご協力お願いします １枚　舗装工事中 １枚　ご協力ありがとうございました １枚

交通保安要員（別途検測）

交通監視員A（車両出入口部）　交通監視員B（規制保守）

配置内訳　（人）

種　別	数量	配置時間
交通監視員A1	1	9時～17時
交通監視員B1	2	9時～21時
交通監視員B2	2	21時～翌9時

※交代要員の人数は含まない

交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

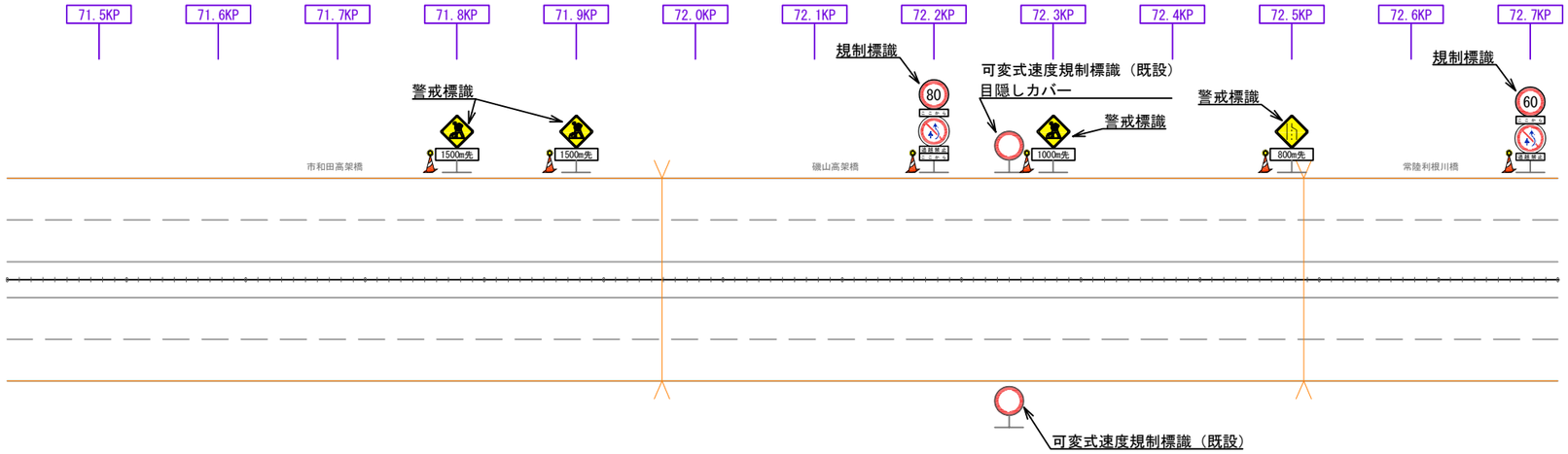
本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。

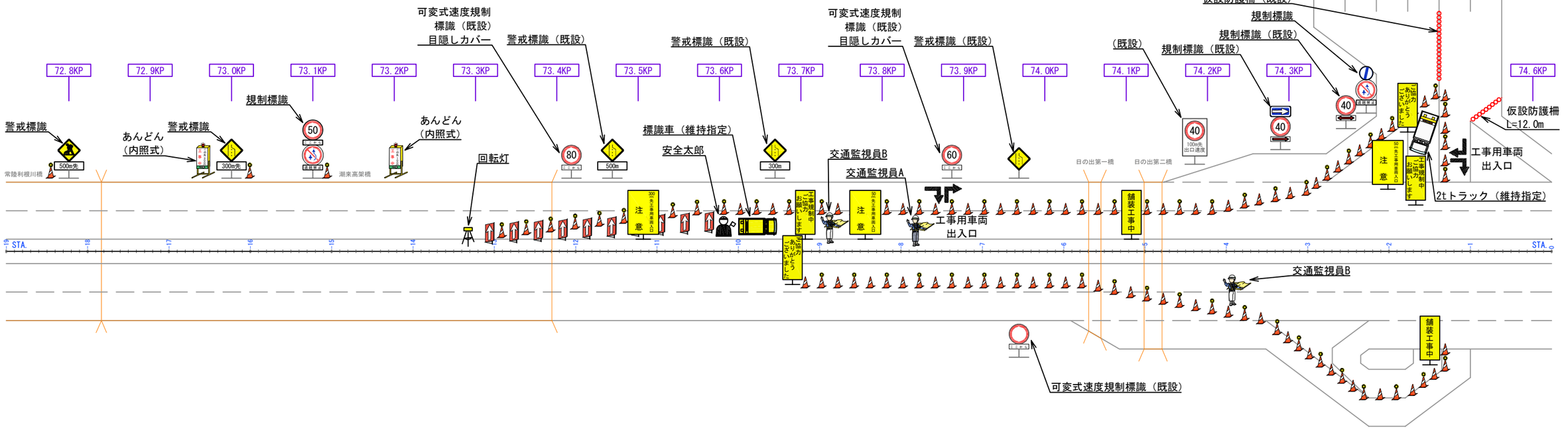
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(3)		
縮　尺	－	図面番号	7 / 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（４）

固定規制B1（ステップ4）





【凡例】

警戒標識（高輝度）（貸与）900角
1500m先 ２基 / 300m先 １基 / 800m先 １基
200m先 ２基 / 500m先 １基 / 1000m先 １基

規制標識（高輝度）（貸与）900Φ
１基 １基 １基 １基

規制機材（高輝度）（貸与）
自発光式ﾃﾞﾘﾆｴｰﾀｰ
矢印板（高輝度）１５枚
ラバコン（高輝度）１２５本
回転灯 １基
安全太郎 １基

規制機材（貸与）
あんどん（内照式）１基
あんどん（内照式）１基

規制車両（受注者持ち）（道路維持作業指定車両）
2tトラック 車載式LED標識搭載 １台
標識車用トラック（2t）車載式LED標識搭載 １台

注意喚起等看板（高輝度）（受注者持ち）
550×1400mm ２枚
1000×1500mm ３枚
２枚 ２枚 ２枚

交通保安要員（別途検測）
交通監視員A（車両出入口部）
交通監視員B（規制保守）

配置内訳 （人）

種　別	数量	配置時間
交通監視員A1	1	9時～17時
交通監視員B1	2	9時～21時
交通監視員B2	2	21時～翌9時

※交代要員の人数は含まない

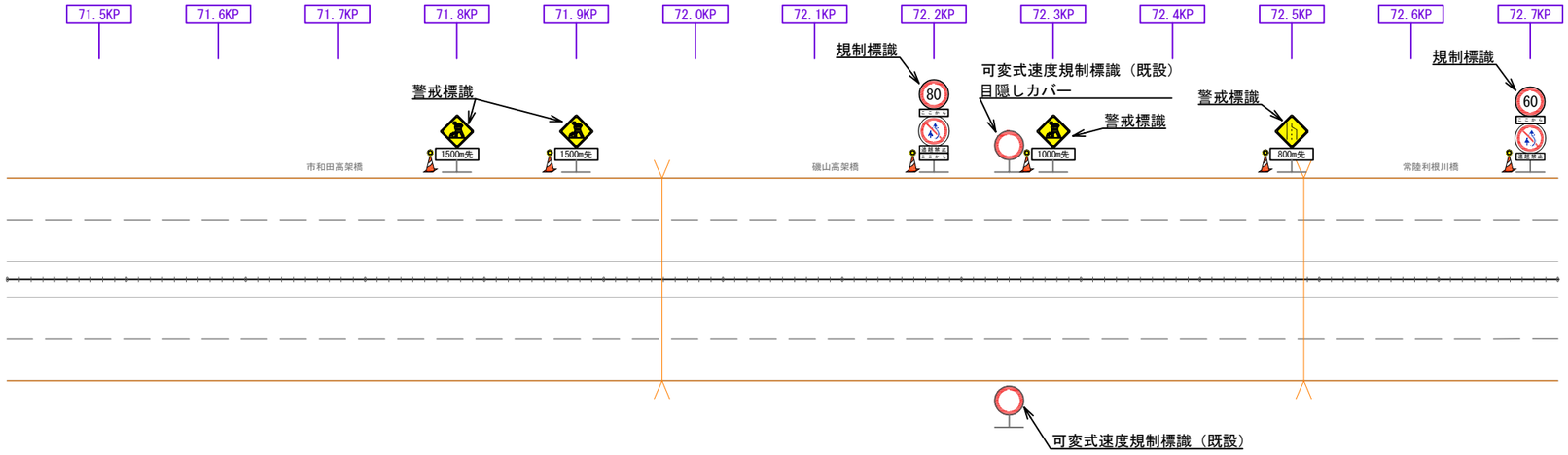
交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

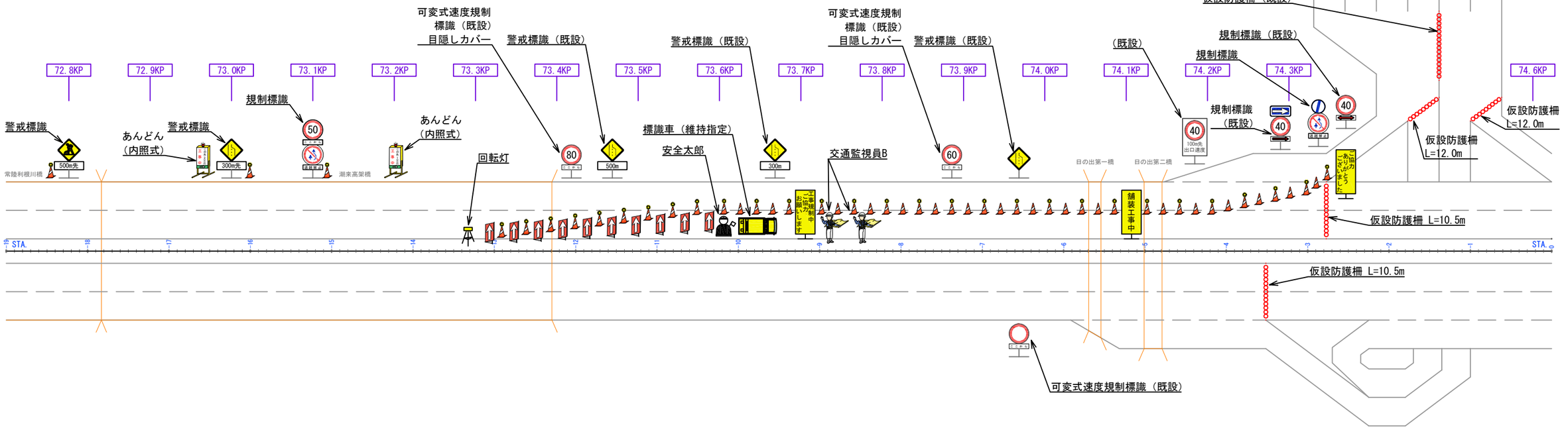
本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(4)		
縮　尺	－	図面番号	8 / 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（５）

固定規制B2（ステップ4 夜間通行止め終了後）





【凡例】

警戒標識（高輝度）（貸与）900角
- 300m先 1基
- 800m先 1基
- 500m先 1基
- 1000m先 1基
- 1500m先 2基

規制標識（高輝度）（貸与）900Φ
- 1基 1基 1基 1基

規制機材（高輝度）（貸与）
- 自発光式ﾃﾞﾘﾆｴｰﾀｰ 矢印板（高輝度）１５枚
- ラバコン（高輝度）６５本
- 回転灯 1基
- 安全太郎 1基

規制機材（貸与）
- あんどん（内照式） 1基
- あんどん（内照式） 1基

規制車両（受注者持ち）（道路維持作業指定車両）
- 標識車用トラック（2t）車載式LED標識搭載 1台

注意喚起等看板（高輝度）（受注者持ち） 550×1400mm
- 工事規制中 ご協力お願いします 1枚
- 舗装工事中 1枚
- ご協力ありがとうございました 1枚

交通保安要員（別途検測）
- 交通監視員B（規制保守）

配置内訳 （人）

種 別	数量	配置時間
交通監視員B1	2	9時～21時
交通監視員B2	2	21時～翌9時

※交代要員の人数は含まない

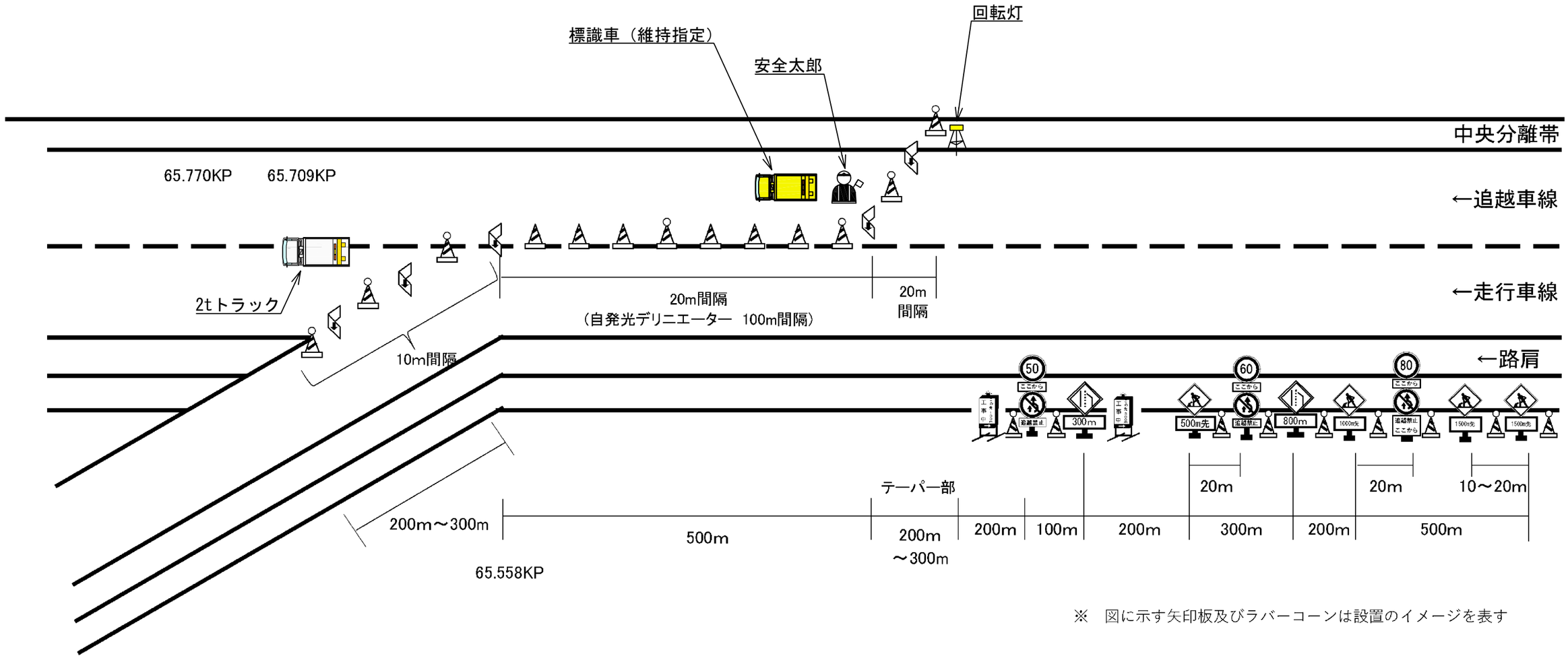
交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(5)		
縮 尺	－	図面番号	9 / 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

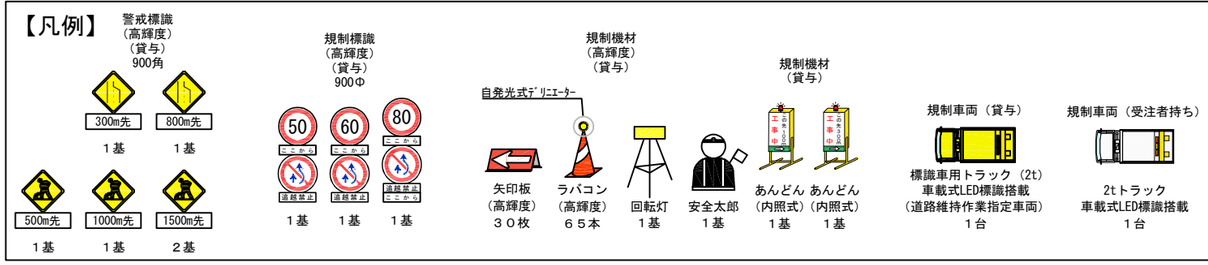
交通規制工詳細図（６）

本線通行止めⅠ×Ⅱ（夜）



※　図に示す矢印板及びラバーコーンは設置のイメージを表す

【凡例】



交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

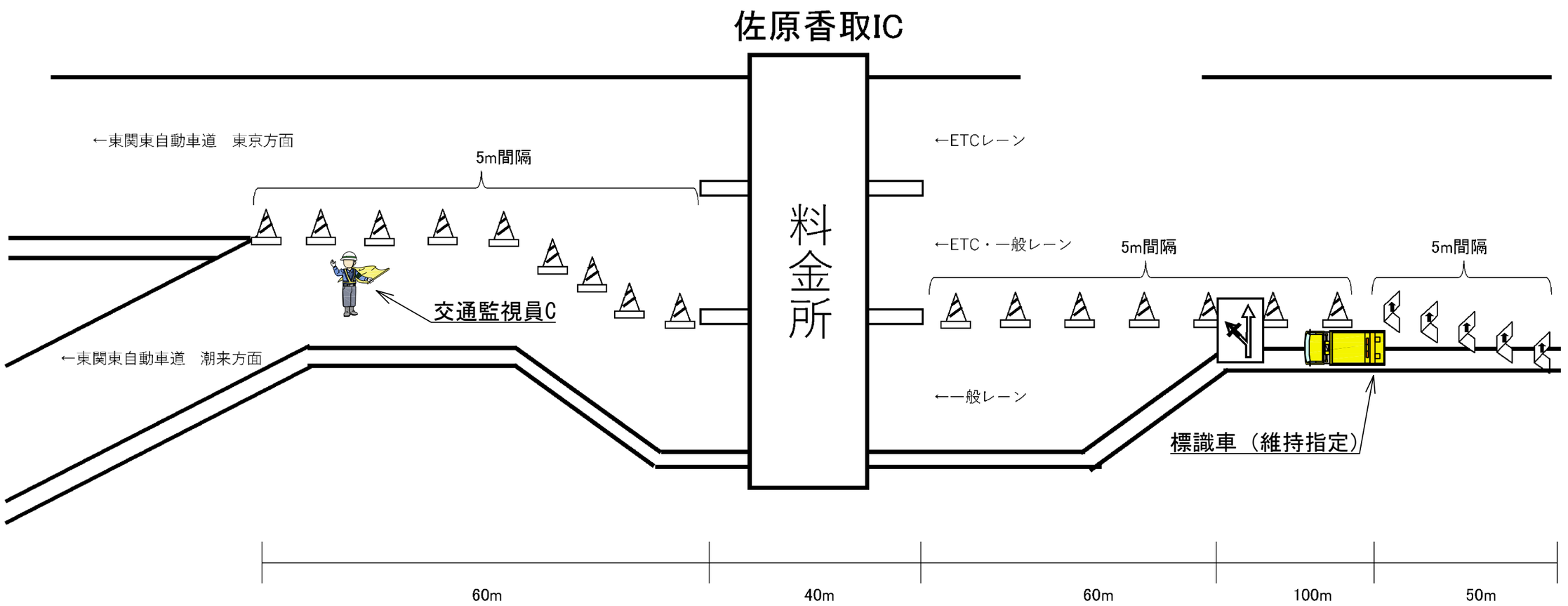
本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。

1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	交通規制工詳細図(6)
縮　尺	－
図面番号	10 / 66
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所

交通規制工詳細図（７）

ランプ閉鎖A2(夜)



※　図に示す矢印板及びラバーコーンは設置のイメージを表す

【凡例】

規制機材（高輝度）（貸与）	規制車両（貸与）（道路維持作業指定車両）	通行止め看板（高輝度）（貸与）	交通保安要員（別途検測）
矢印板（高輝度）１０枚 ラバコン（高輝度）４５本	標識車用トラック（2t）車載式LED標識搭載 １台	１枚	交通監視員C（通行止め部）

配置内訳　（人）

種　別	数量	配置時間
交通監視員C1	1	20時～翌6時

※交代要員の人数は含まない

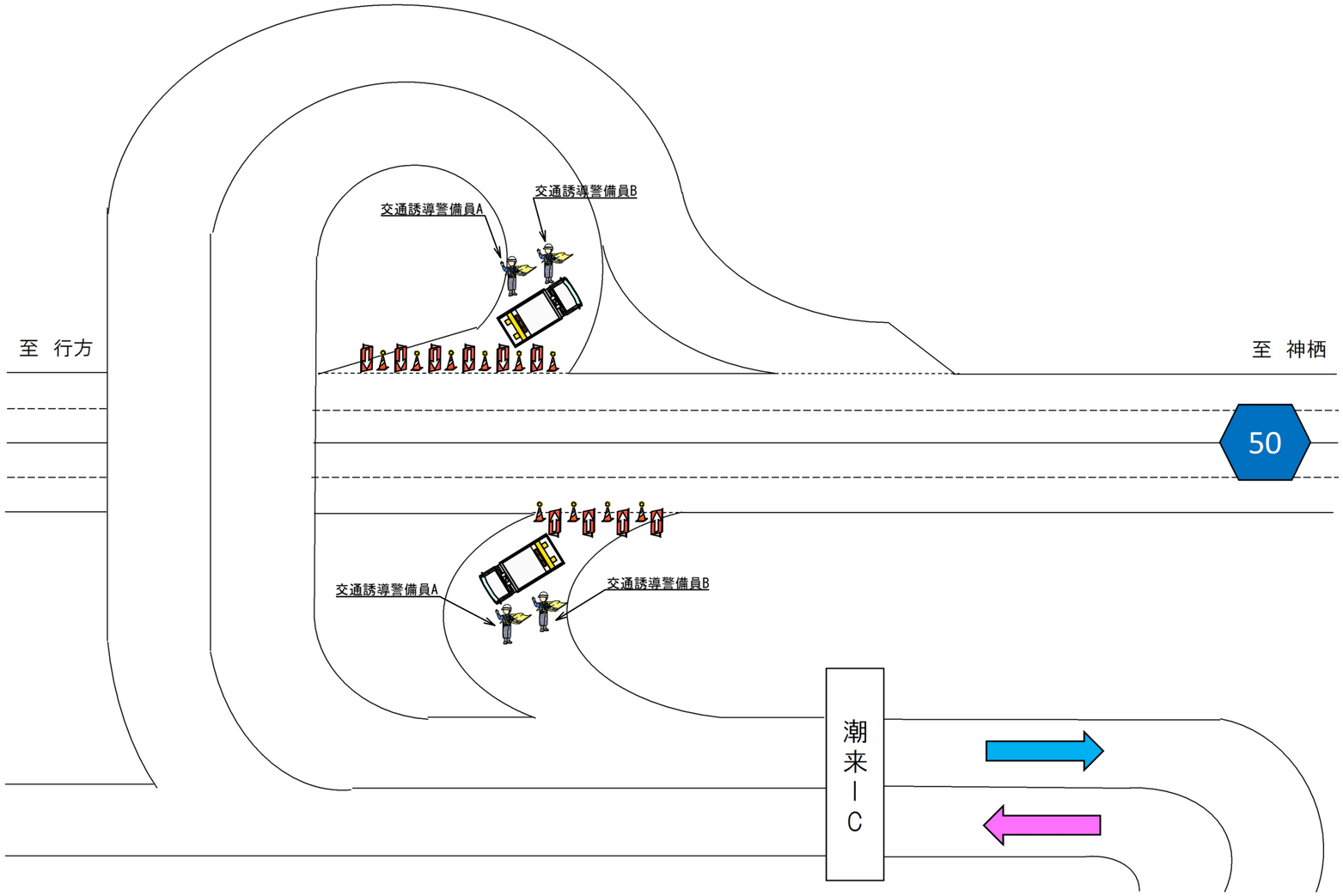
交通規制に関する事項のうち、仮設防護柵工に要する費用以外の費用については、特記仕様書「率計上工事に関する事項」に含むものとする。

本工事の他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。
1．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
2．危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
3．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバコンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
4．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。
5．規制箇所毎に用心棒を3本程度設置する。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(7)		
縮　尺	－	図面番号	11 ／ 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

交通規制工詳細図（８）

潮来ICランプ閉鎖図（参考）



【凡例】

規制機材（高輝度）

矢印板（高輝度）１０枚

ラバコン（高輝度）１０個

規制車両

2tトラック
車載式LED標識搭載
２台

交通保安要員（別途検測）

交通誘導警備員A
交通誘導警備員B
（通行止め部）

配置内訳（ステップ3）　（人）

種　別	数量	配置時間
交通誘導警備員A2	2	9時～21時
交通誘導警備員A3	2	21時～翌9時
交通誘導警備員B2	2	9時～21時
交通誘導警備員B3	2	21時～翌9時

配置内訳（ステップ4）　（人）

種　別	数量	配置時間
交通誘導警備員A4	2	20時～翌6時
交通誘導警備員B4	2	20時～翌6時

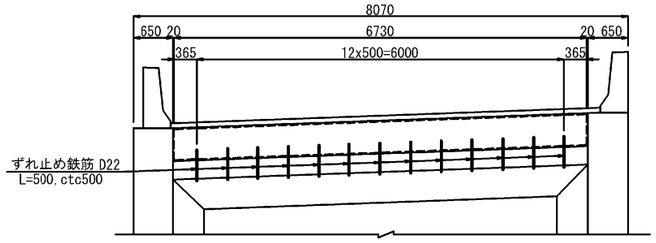
※一般道上での規制作業のため、検測は交通保安要員のみ

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	交通規制工詳細図(8)		
縮　尺	－	図面番号	12 ／ 66
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社　つくば工事事務所		

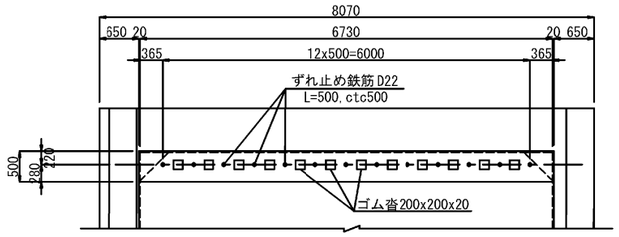
踏掛版詳細図(1)

潮来ICランプ橋 A1橋台踏掛版配筋図 S=1:100

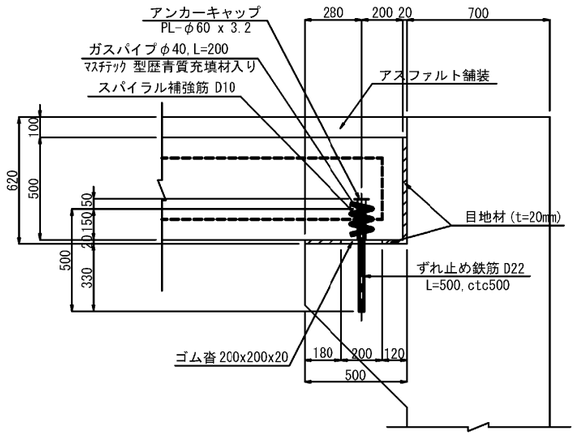
正面図



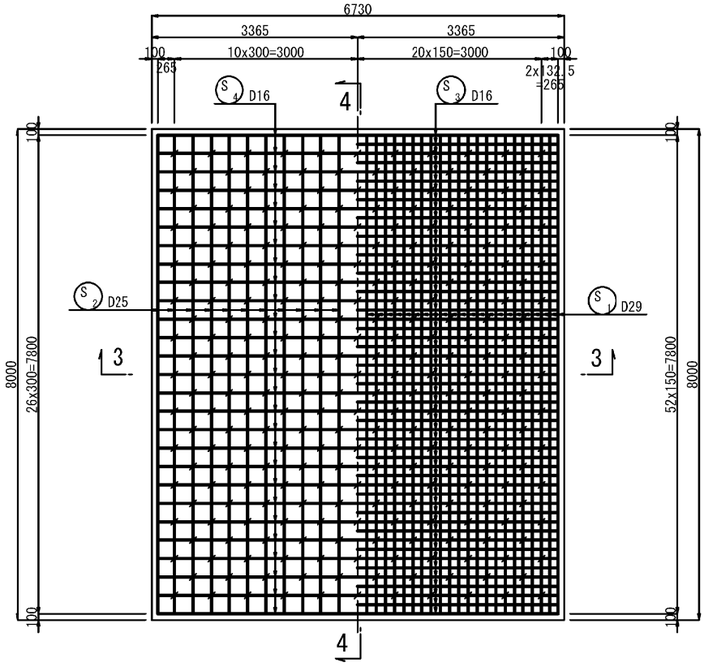
平面図



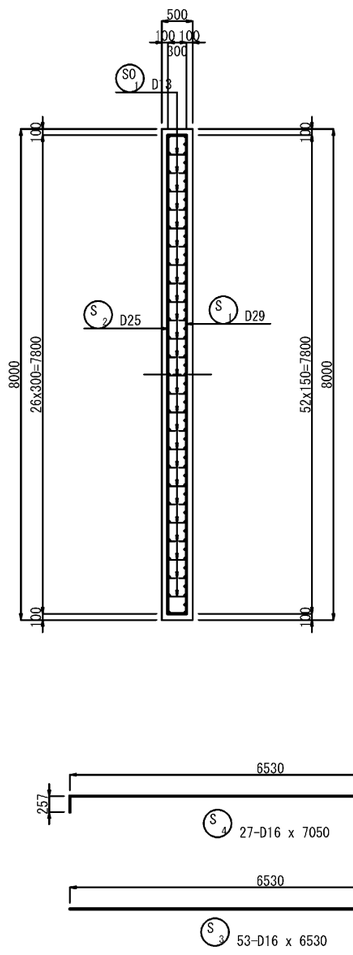
受台部詳細図 S=1:30



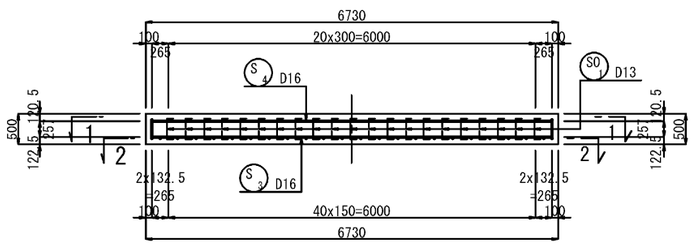
1-1(上面)　2-2(下面)

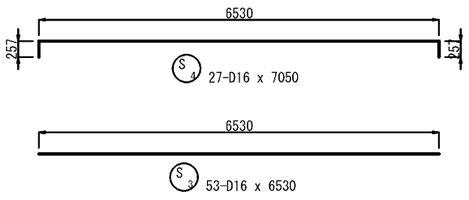


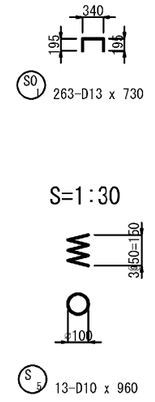
4-4



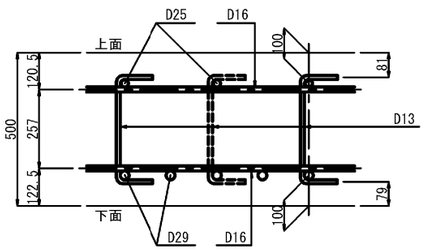
3-3







かぶり詳細図 S=1:20



鉄筋表

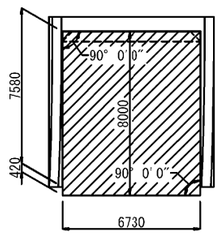
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D29	7 800	45	5.04	39.31	1 769	
				小計		1 769	kg
S 2	D25	8 400	23	3.98	33.43	769	
				小計		769	kg
S 3	D16	6 530	53	1.56	10.19	540	
4	D16	7 050	27	1.56	11.00	297	
				小計		837	kg
S 5	D10	960	13	0.560	0.54	7	
				小計		7	kg
S0 1	D13	730	263	0.995	0.73	192	
				小計		192	kg

鉄筋質量合計		
D29	1 769	kg
D25	769	kg
D16	837	kg
D13	192	kg
D10	7	kg
総合計	3 574	kg

材料表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	13	3.89	0.78	10	SGP
プレート	φ60	t=3.2	13	22.20	0.07	1	キャップ
				合計		11 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200-0.022²x0.015)x13x1530kg/m³					4.89 kg	ﾏｽﾃﾁｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=12					0.48 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					2.91 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					3.39 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					7.58 m2	歴青繊維質

位置図 S=1:300

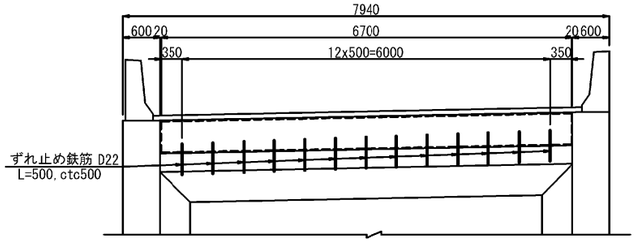


東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(1)
縮尺	図示
図面番号	13 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

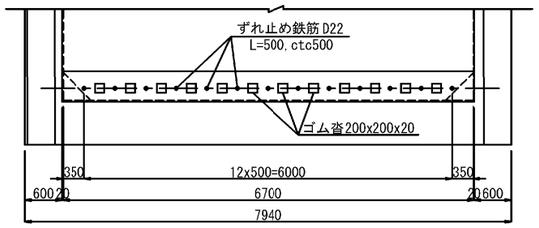
踏掛版詳細図(2)

潮来ICランプ橋 A2橋台踏掛版配筋図 S=1:100

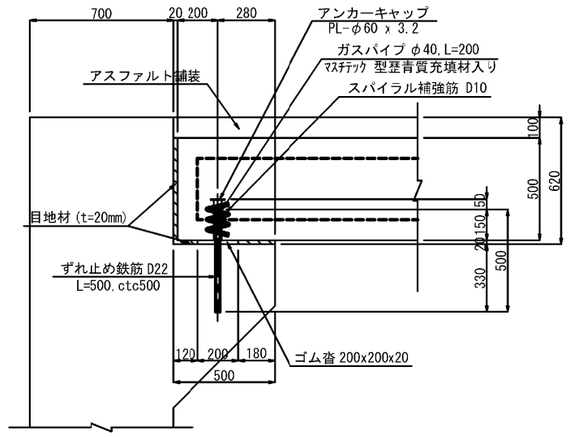
正面図



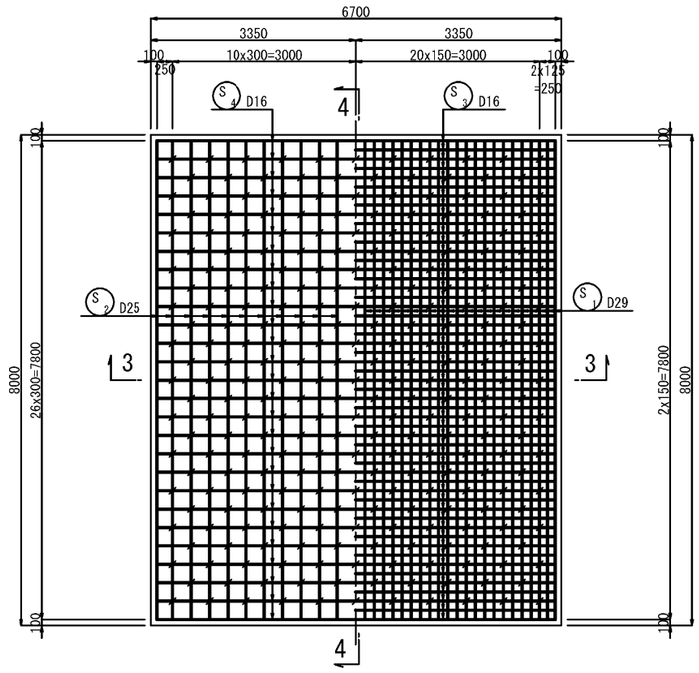
平面図



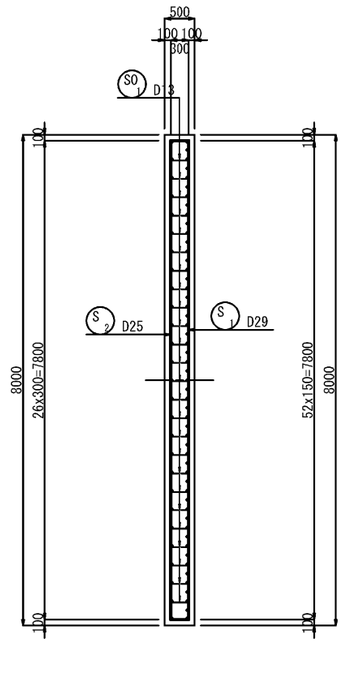
受台部詳細図 S=1:30

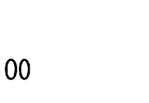


1-1(上面)　2-2(下面)



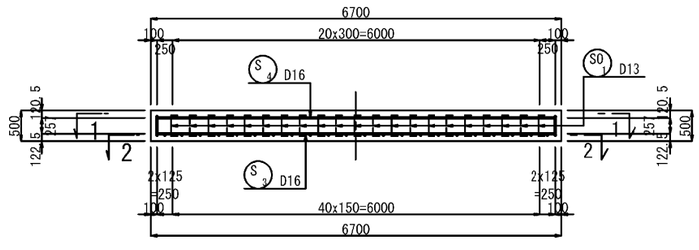
4-4

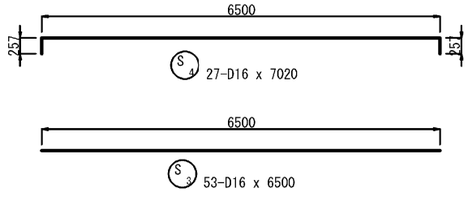




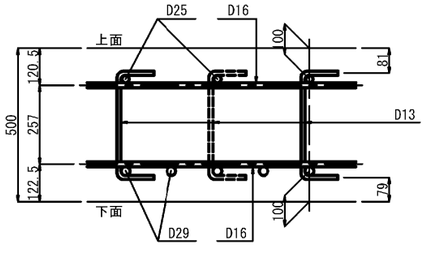
S=1:30

3-3





かぶり詳細図 S=1:20



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D29	7 800	45	5.04	39.31	1 769	
					小計	1 769	kg
S 2	D25	8 400	23	3.98	33.43	769	
					小計	769	kg
S 3	D16	6 500	53	1.56	10.14	537	
4	D16	7 020	27	1.56	10.95	296	
					小計	833	kg
S 5	D10	960	13	0.560	0.54	7	
					小計	7	kg
SO 1	D13	730	263	0.995	0.73	192	
					小計	192	kg

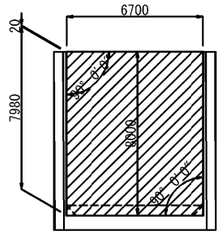
鉄筋質量合計

D29	1 769	kg
D25	769	kg
D16	833	kg
D13	192	kg
D10	7	kg
総合計	3 570	kg

材料表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質量	摘要
パイプ	φ40	200	13	3.89	0.78	10	SGP
プレート	φ60	t=3.2	13	22.20	0.07	1	キャップ
					合計	11 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200-0.022²x0.015)x13x1530kg/m³					4.89 kg	ﾏｽﾃﾃｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=12					0.48 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					2.89 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					3.37 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					7.98 m2	歴青繊維質

位置図 S=1:300

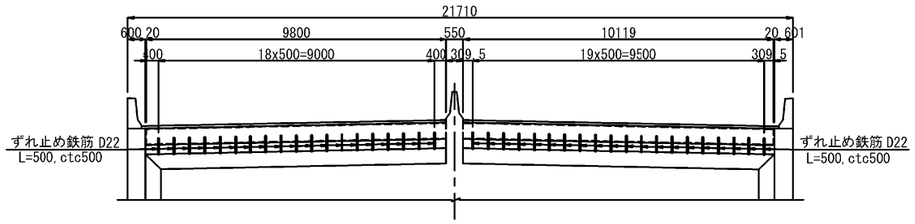


東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(2)
縮尺	図示
図面番号	14 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

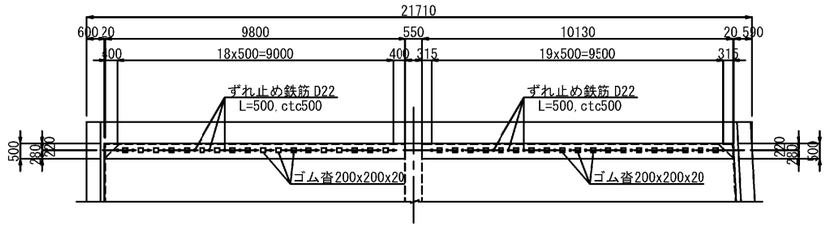
踏掛版詳細図(3)

潮来IC本線橋 A1橋台踏掛版配筋図(その1) S=1:200

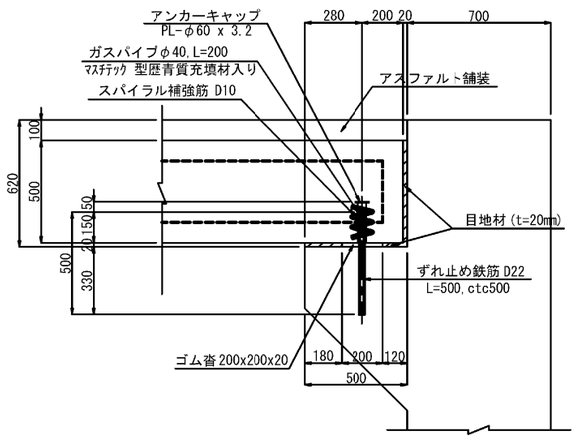
正面図



平面図



受台部詳細図 S=1:30



鉄筋表

左側

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D29	7 800	65	5.04	39.31	2 555	—
					小計	2 555 kg	
S 2	D25	8 400	33	3.98	33.43	1 103	⌐¬
					小計	1 103 kg	
S 3	D16	9 600	53	1.56	14.98	794	—
4	D16	10 120	27	1.56	15.79	426	⌐¬
					小計	1 220 kg	
S 5	D10	960	19	0.560	0.54	10	≷
					小計	10 kg	
SO 1	D13	730	387	0.995	0.73	283	⌐¬
					小計	283 kg	

鉄筋質量合計

D29	2 555	kg
D25	1 103	kg
D16	1 220	kg
D13	283	kg
D10	10	kg
総合計	5 171	kg

右側

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
K 1-1	D29	7 800	66	5.04	39.31	2 594	—
1-2	D29	7 810	4	5.04	39.36	157	—
					小計	2 751 kg	
K 2-1	D25	8 400	33	3.98	33.43	1 103	⌐¬
2-2	D25	8 410	3	3.98	33.47	100	⌐¬
					小計	1 203 kg	
K 3	D16	10 120	53	1.56	15.79	837	— (平均長)
4	D16	10 640	27	1.56	16.60	448	⌐¬ (平均長)
					小計	1 285 kg	
K 5	D10	960	20	0.560	0.54	11	≷
					小計	11 kg	
KO 1	D13	730	409	0.995	0.73	299	⌐¬
					小計	299 kg	

鉄筋質量合計

D29	2 751	kg
D25	1 203	kg
D16	1 285	kg
D13	299	kg
D10	11	kg
総合計	5 549	kg

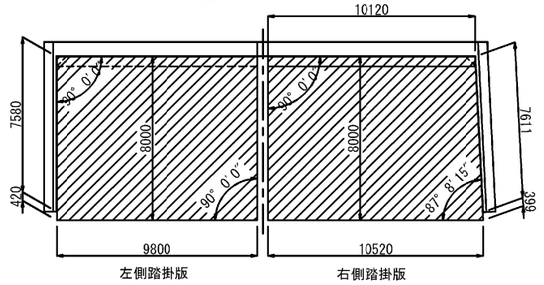
材料表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	19	3.89	0.78	15	SGP
プレート	φ60	t=3.2	19	22.20	0.07	1	キャップ
					合計	16 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200−0.022²x0.015)x19x1530kg/m³					5.65 kg	ﾏｽﾃﾃｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=18					0.72 m2	ゴム(S3R)
目地	t=20(受台部)					4.19 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					4.91 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					3.79 m2	歴青繊維質

材料表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	20	3.89	0.78	16	SGP
プレート	φ60	t=3.2	20	22.20	0.07	1	キャップ
					合計	17 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200−0.022²x0.015)x20x1530kg/m³					5.95 kg	ﾏｽﾃﾃｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=19					0.76 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					4.32 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					5.07 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					3.81 m2	歴青繊維質

位置図 S=1:300



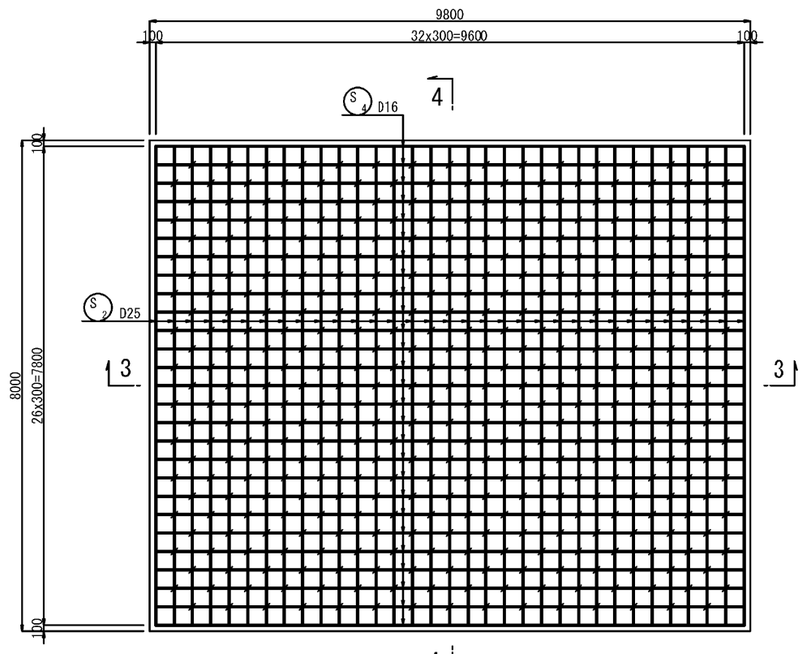
東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(3)		
縮尺	図示	図面番号	15 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

踏掛版詳細図(4)

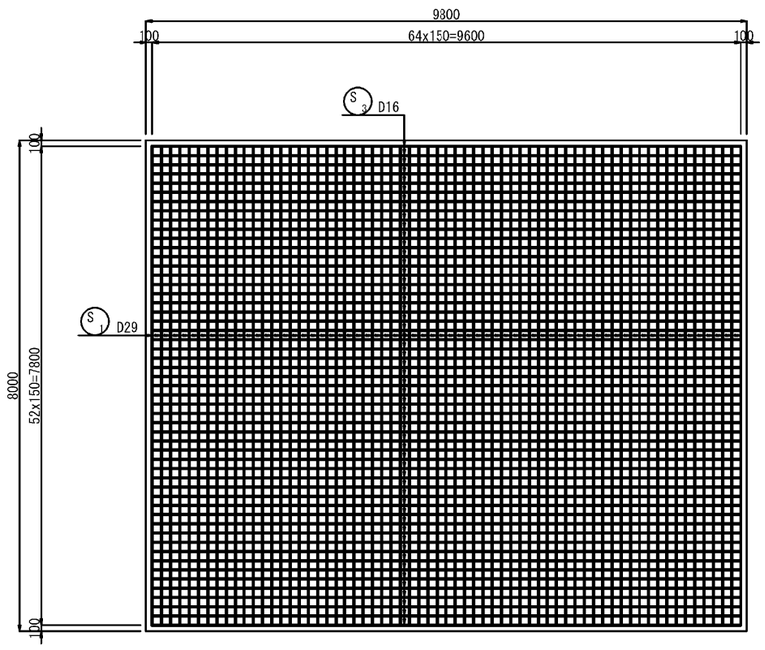
潮来IC本線橋 A1橋台踏掛版配筋図(その2) S=1:100

左側踏掛版

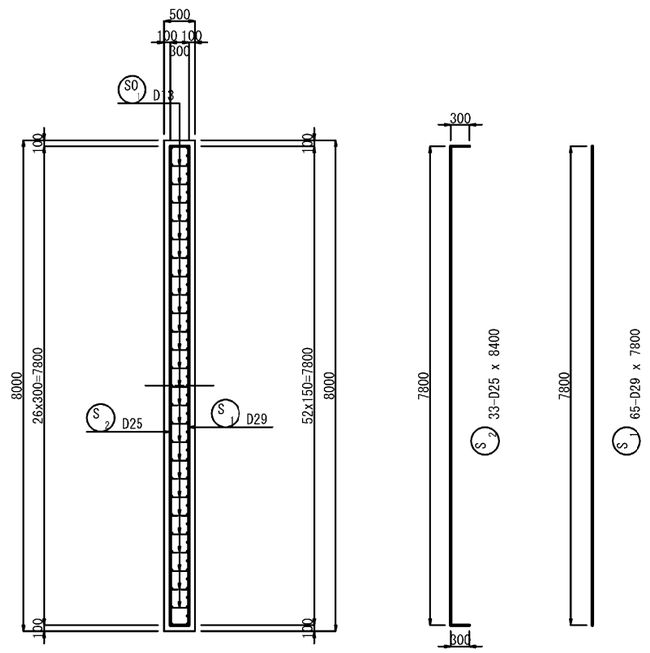
1-1（上面）



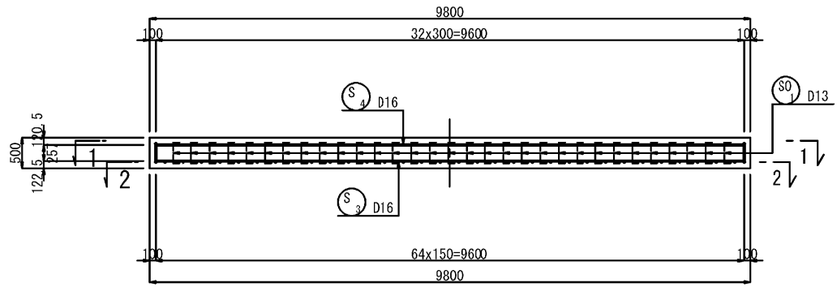
2-2（上面）

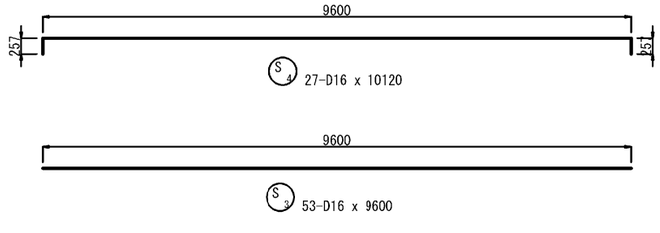


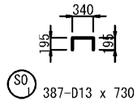
4-4



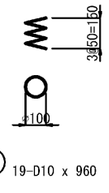
3-3



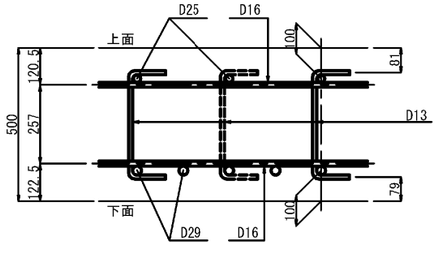




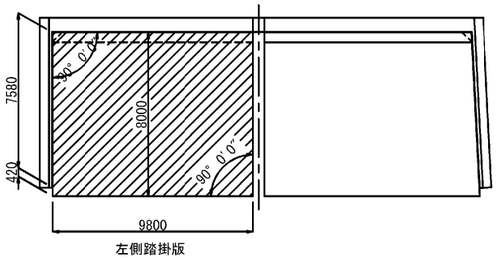
S=1:30



かぶり詳細図 S=1:20



位置図 S=1:300



左側踏掛版

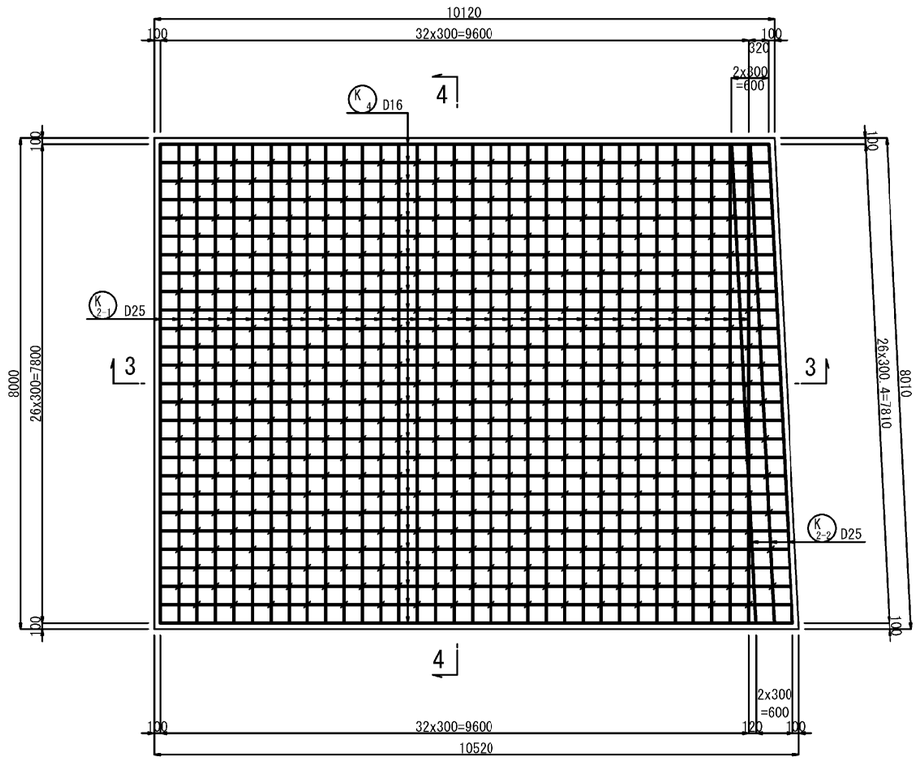
東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(4)		
縮尺	図示	図面番号	16 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

踏掛版詳細図(5)

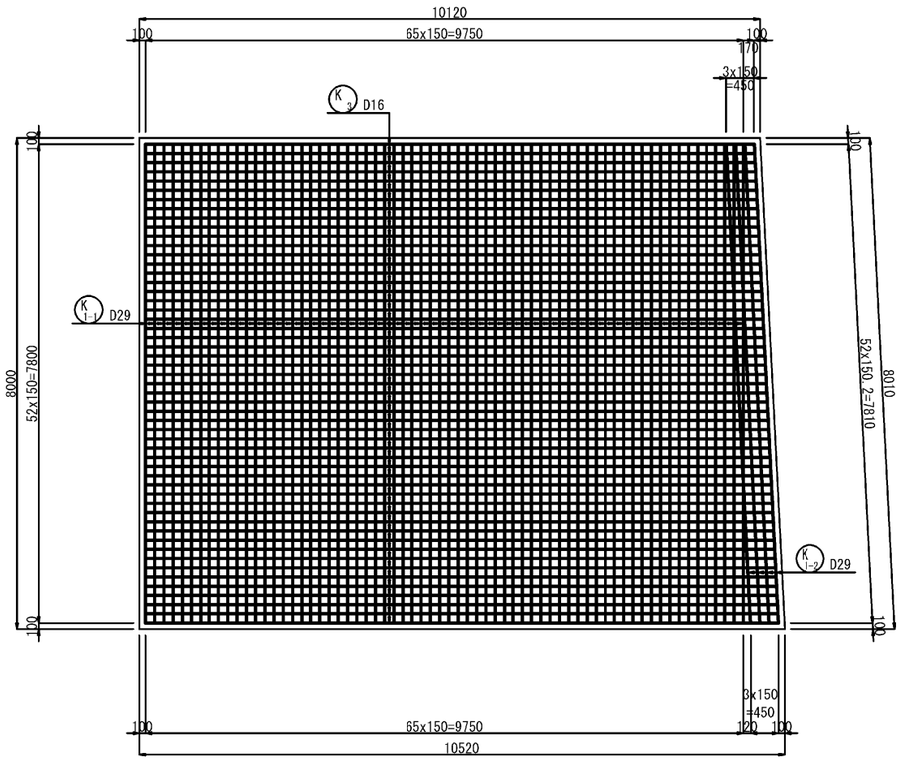
潮来IC本線橋 A1橋台踏掛版配筋図(その3) S=1:100

右側踏掛版

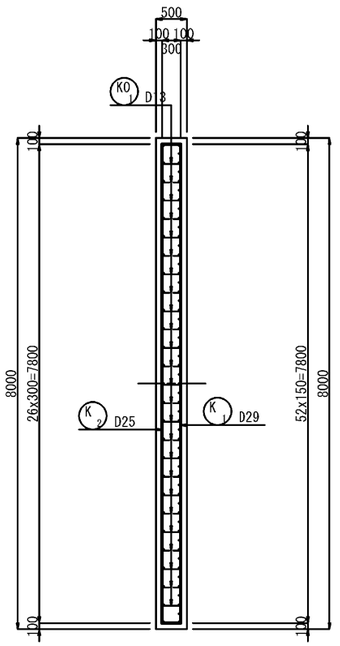
1-1（上面）



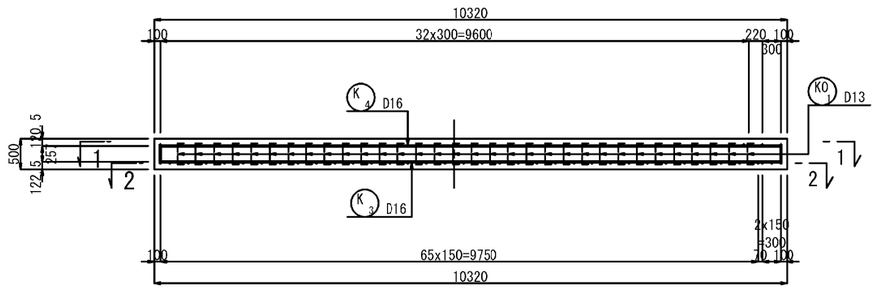
2-2（下面）

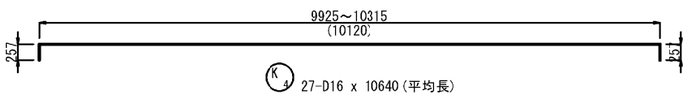


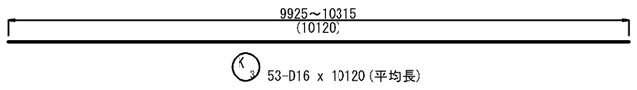
4-4

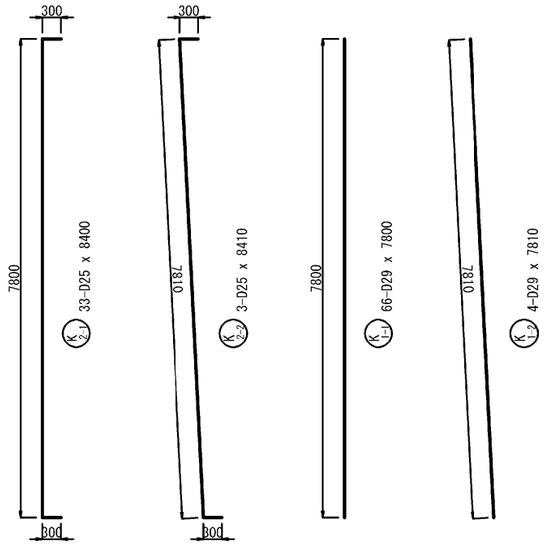


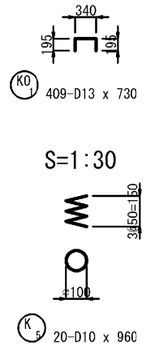
3-3



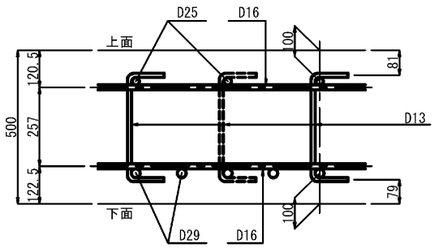




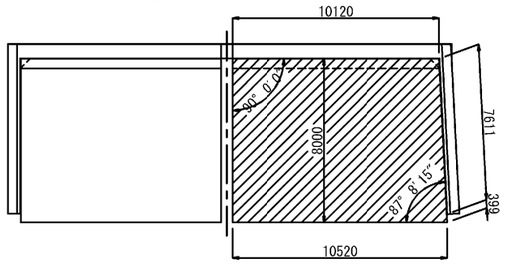




かぶり詳細図 S=1:20



位置図 S=1:300



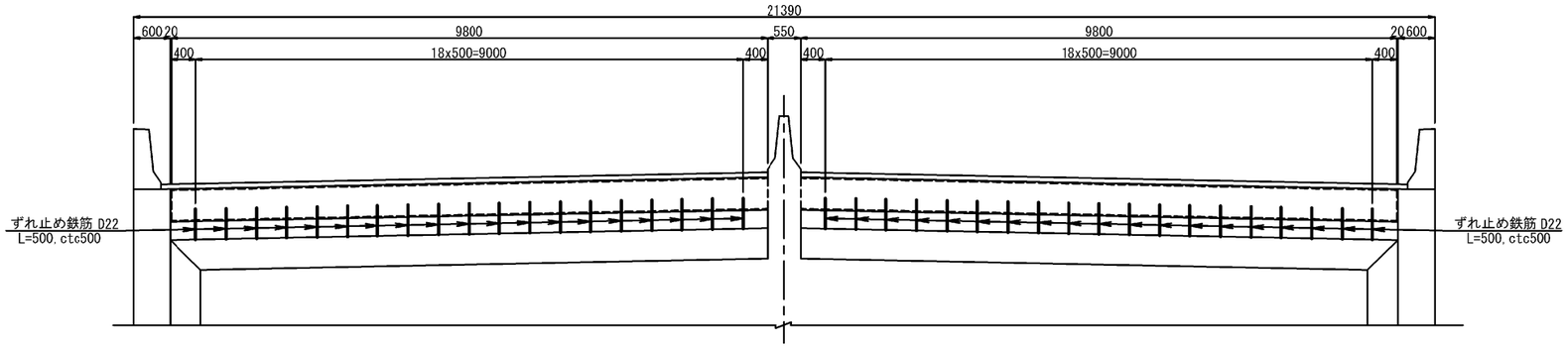
右側踏掛版

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(5)		
縮尺	図示	図面番号	17 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

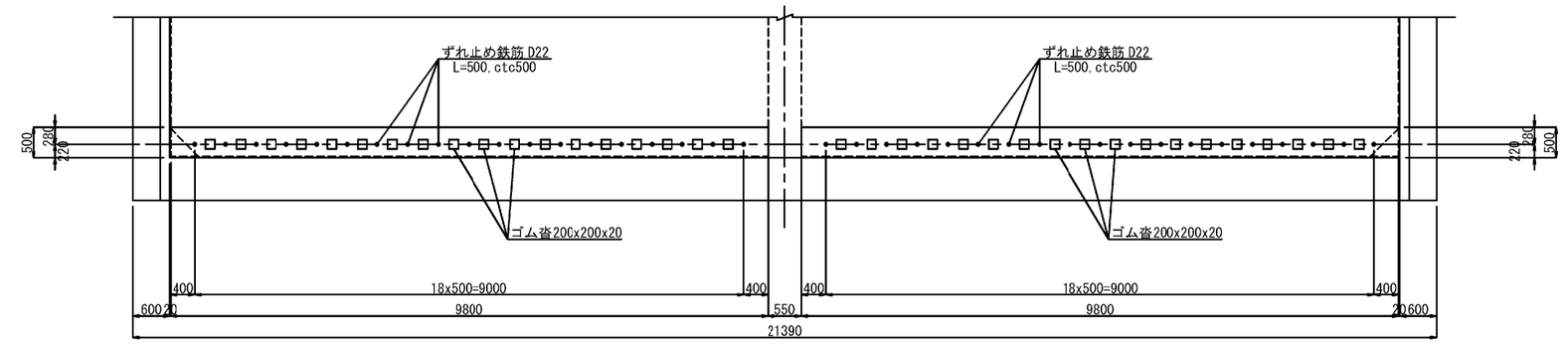
踏掛版詳細図(6)

潮来IC本線橋 A2橋台踏掛版配筋図(その1)　S=1:100

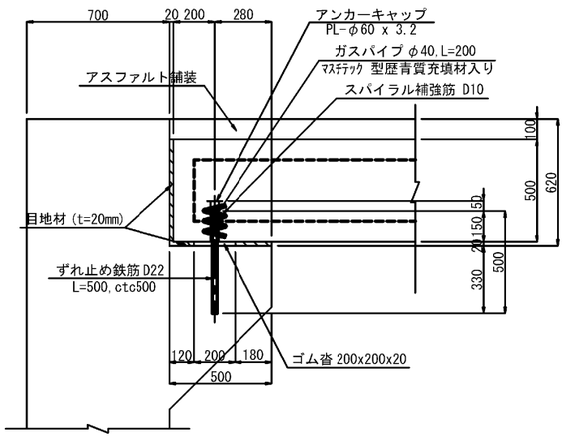
正面図



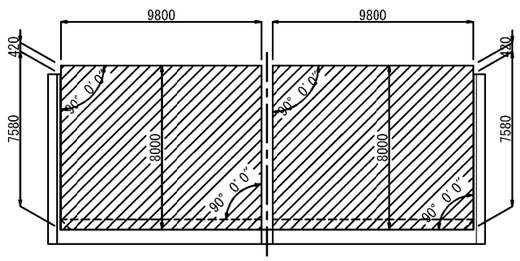
平面図



受台部詳細図　S=1:30



位置図　S=1:300



鉄筋表

１枚当り

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D29	7 800	65	5.04	39.31	2 555	—
					小計	2 555 kg	
S 2	D25	8 400	33	3.98	33.43	1 103	⌐¬
					小計	1 103 kg	
S 3	D16	9 600	53	1.56	14.98	794	—
4	D16	10 120	27	1.56	15.79	426	⌐¬
					小計	1 220 kg	
S 5	D10	960	19	0.560	0.54	10	≷
					小計	10 kg	
SO 1	D13	730	387	0.995	0.73	283	⌐¬
					小計	283 kg	

鉄筋質量合計

	１枚当り			２枚当り
D29	2 555 kg	×	2	= 5 110 kg
D25	1 103 kg	×	2	= 2 206 kg
D16	1 220 kg	×	2	= 2 440 kg
D13	283 kg	×	2	= 566 kg
D10	10 kg	×	2	= 20 kg
総合計	5 171 kg	×	2	= 10 342 kg

材料表　（１枚当り）

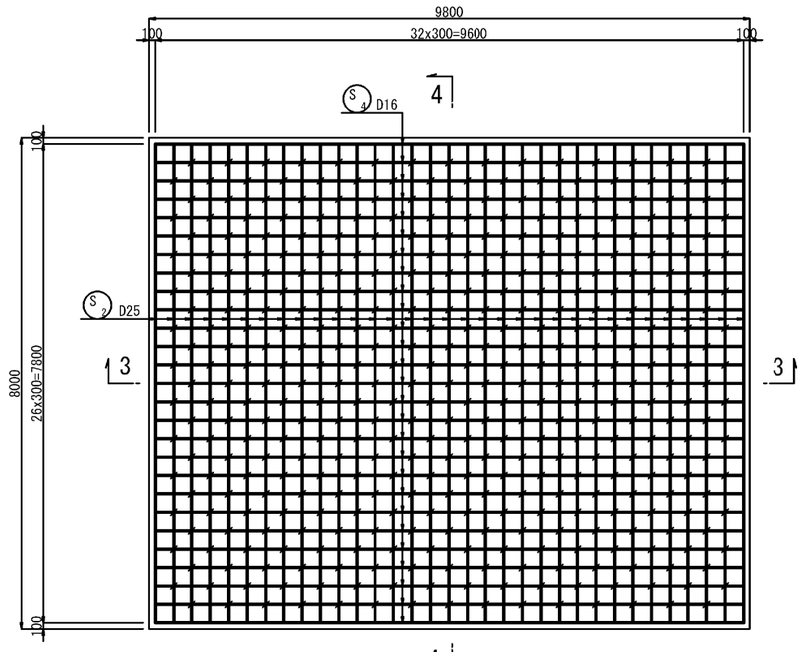
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	19	3.89	0.78	15	SGP
プレート	φ60	t=3.2	19	22.20	0.07	1	キャップ
					合計	16 kg	
充填材	π/4x(0.040^{2}x0.200-0.022^{2}x0.015)x19x1530kg/m^3					5.65 kg	ﾏｽﾃﾃｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=18					0.72 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					4.19 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					4.91 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					3.79 m2	歴青繊維質

東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(6)
縮尺	図示
図面番号	18 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

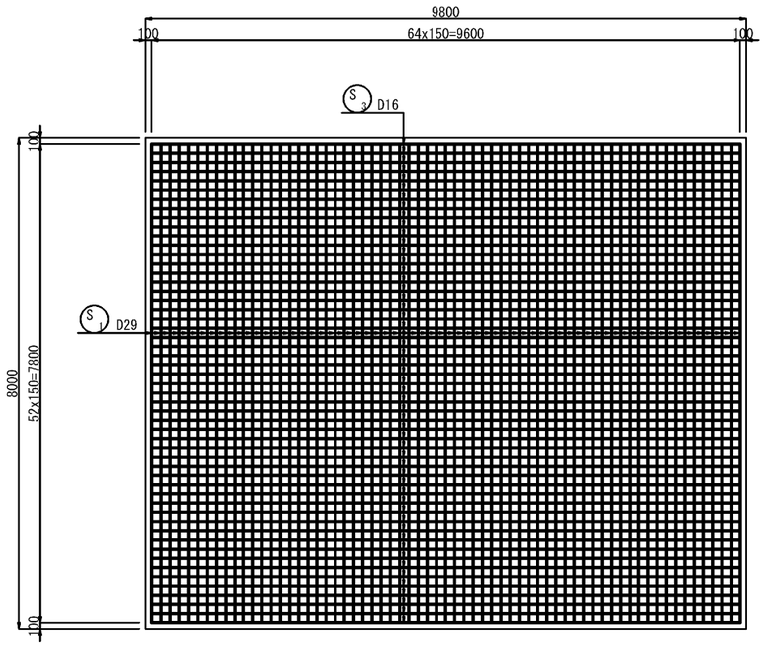
踏掛版詳細図(7)

潮来IC本線橋 A2橋台踏掛版配筋図(その2)　S=1:100

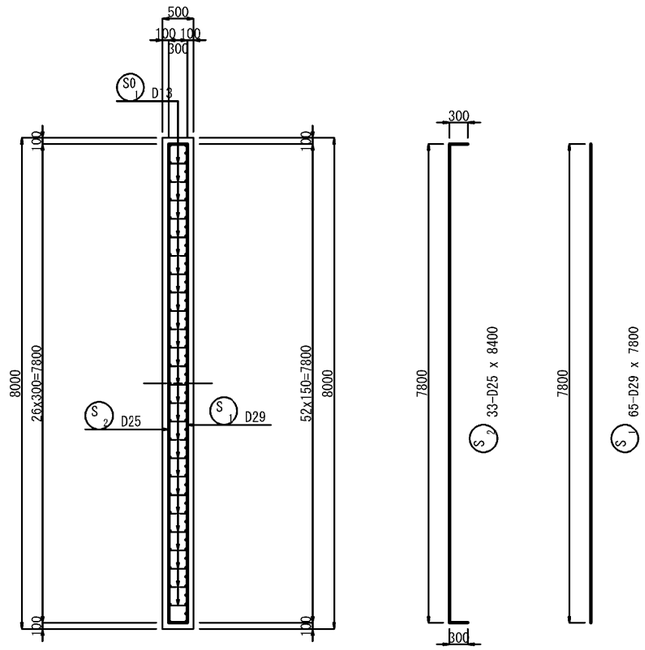
1-1（上面）



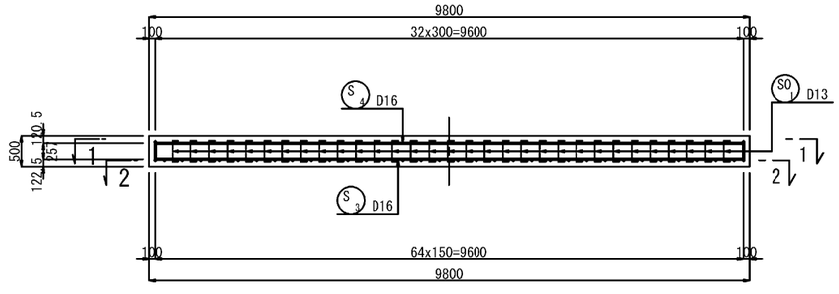
2-2（上面）

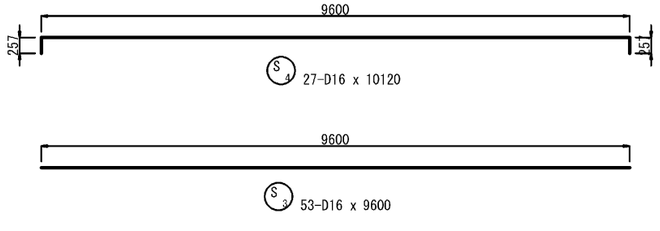


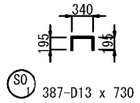
4-4



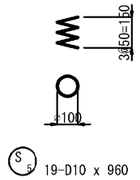
3-3



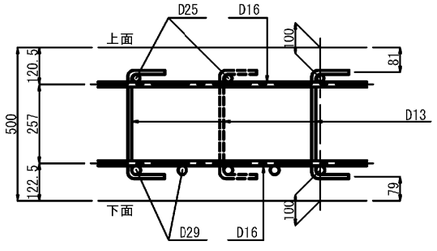




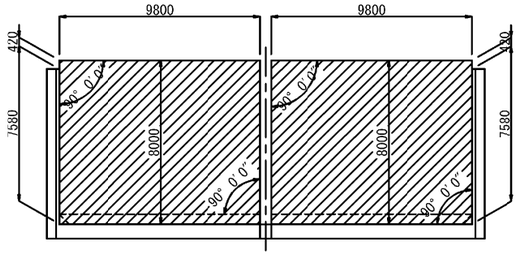
S=1:30



かぶり詳細図　S=1:20



位置図　S=1:300

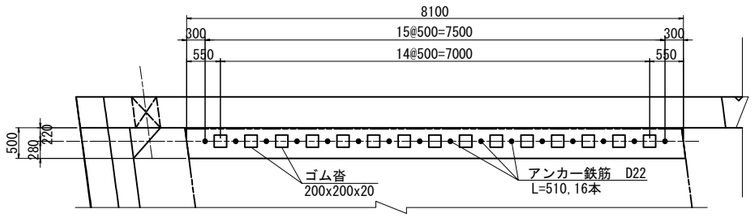


東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(7)		
縮　尺	図示	図面番号	19 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

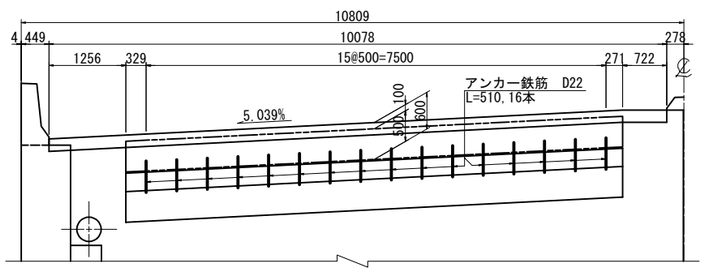
踏掛版詳細図(8)

前川橋　A1橋台踏掛版配筋図（その1）　S=1:100

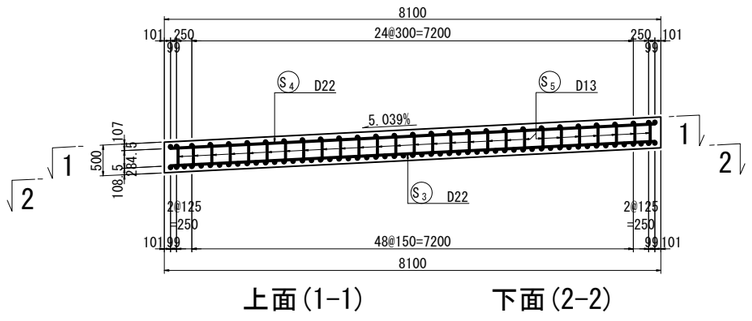
受台平面図



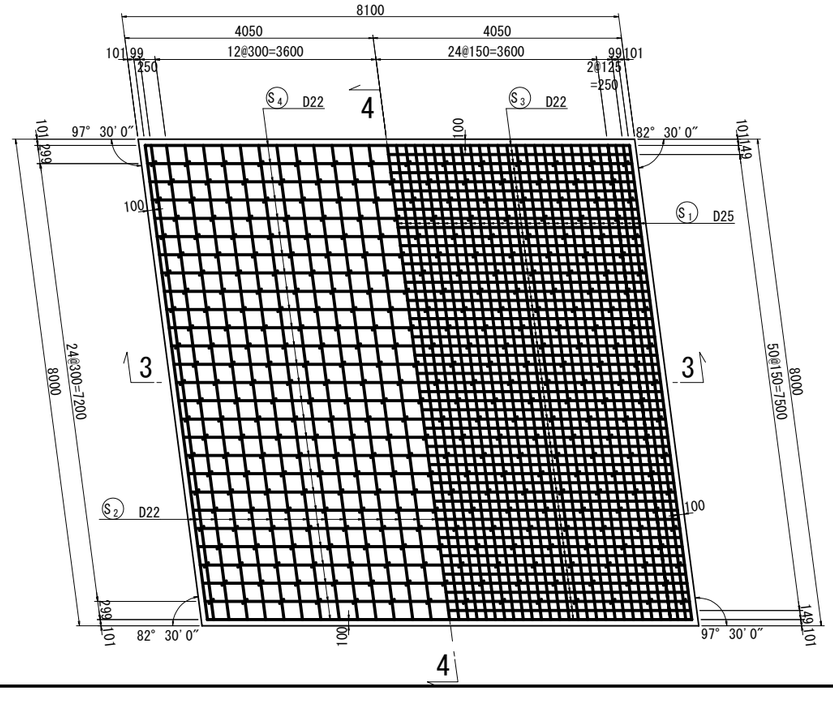
背面図



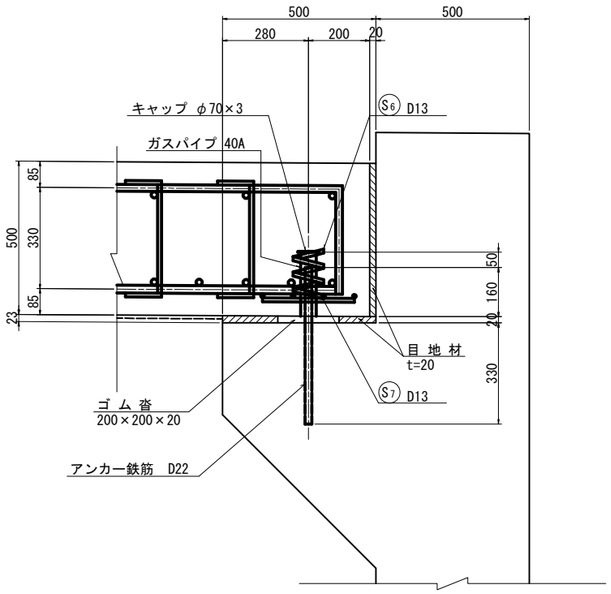
3-3

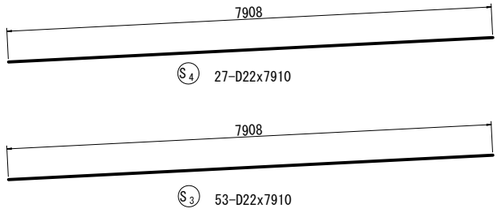


上面(1-1)　　下面(2-2)

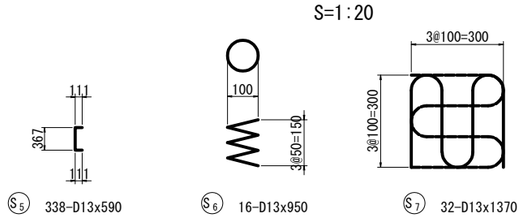


支承部詳細図　S=1:20

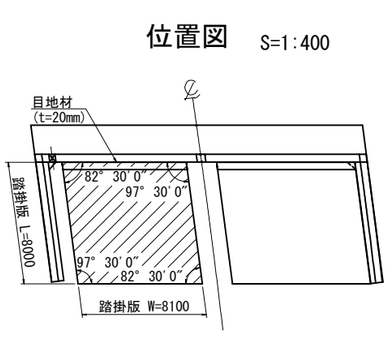




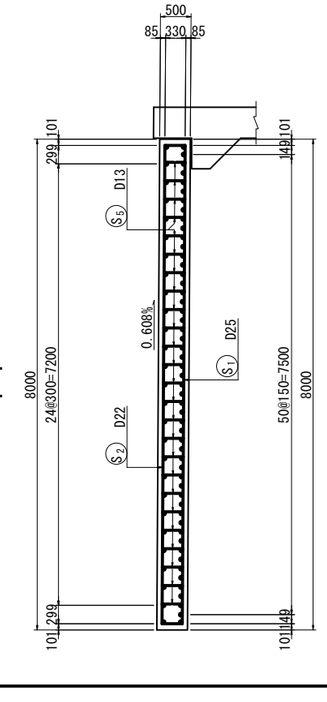
S=1:20

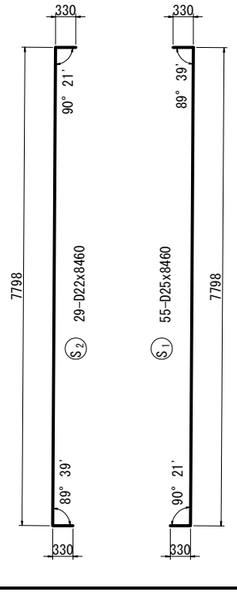


位置図　S=1:400

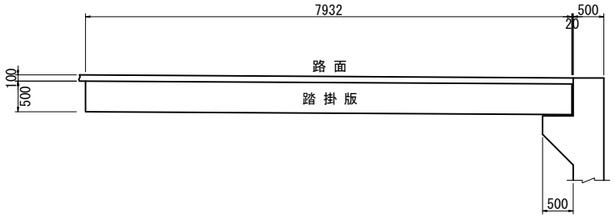


4-4





側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	8460	55	3.98	33.67	1852	]
S2	D22	8460	29	3.04	25.72	746	[
S3	D22	7910	53	3.04	24.05	1275	―
S4	D22	7910	27	3.04	24.05	649	―
S5	D13	590	338	0.995	0.59	199	[
S6	D13	950	16	0.995	0.95	15	ξ
S7	D13	1370	32	0.995	1.36	44	ᗰ
						4780	
				SD345	D13	258 kg	
					D22	2670 kg	
					D25	1852 kg	
					合計	4780 kg	
パイプ 40A		210	16	3.89	0.817	13.07	ガスパイプ
プレート t=3 φ70			16		0.091	1.46	キャップ
						14.53	kg
ゴム沓 (t=20,n=15)							
A = 0.200 × 0.200 × 15					=	0.600	m^2
目地材 (t=20)							
A1 = 8.100 × 0.500 − 0.600					=	3.450	m^2
A2 = 8.100 × 0.500					=	4.050	m^2
					合 計	7.500	m^2

材料強度・材質

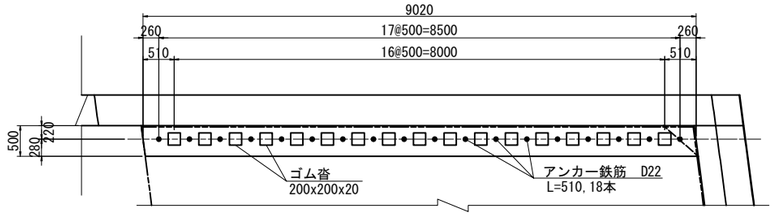
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事				
図面の種類	踏掛版詳細図(8)			
縮　尺	図示	図面番号	20 ／ 66	
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所			

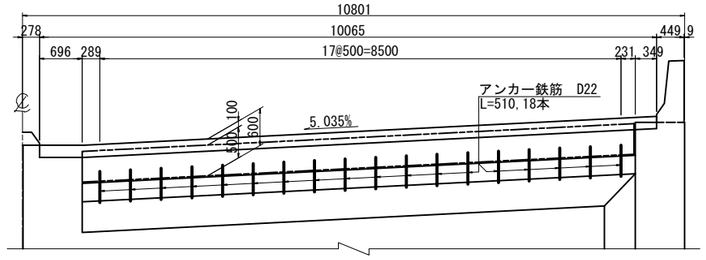
踏掛版詳細図(9)

前川橋　A1橋台踏掛版配筋図（その2）　S=1:100

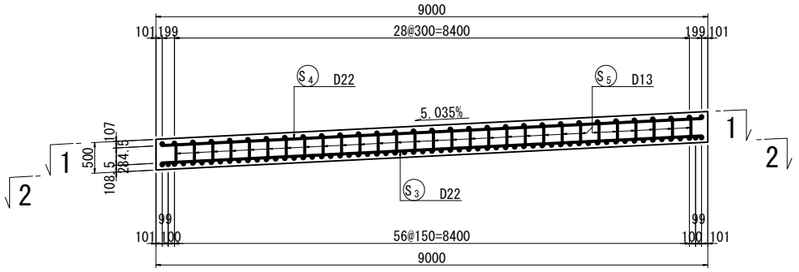
受台平面図



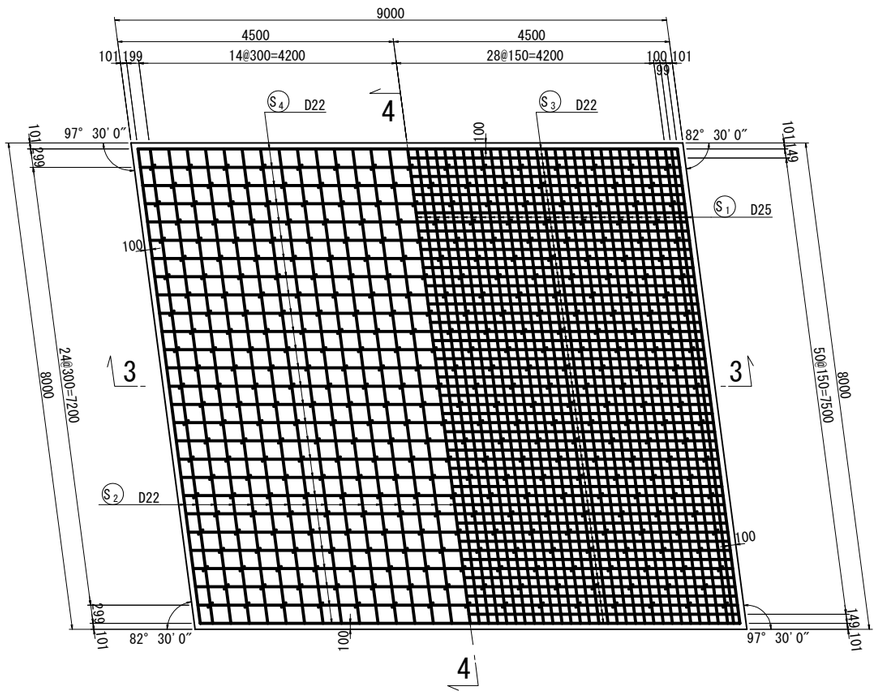
背面図



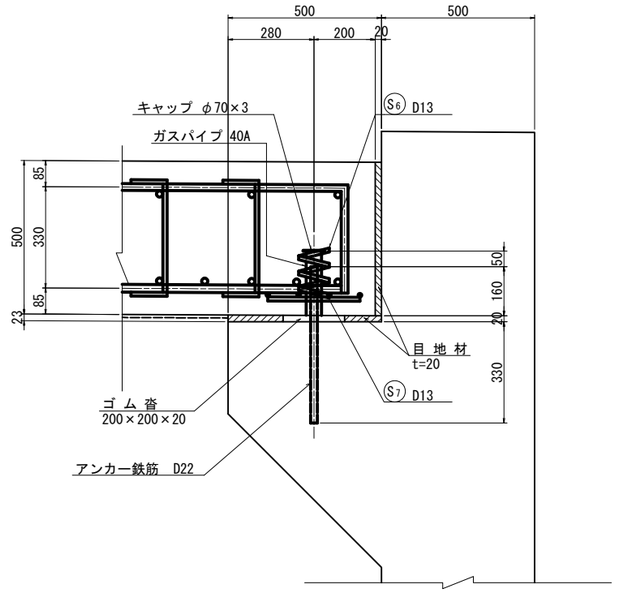
3-3



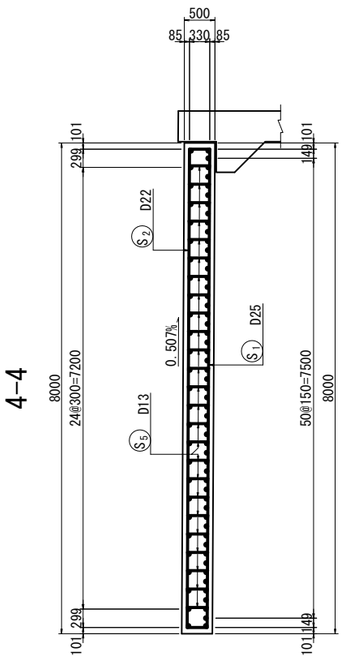
上面(1-1)　　下面(2-2)



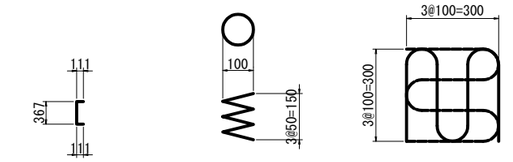
支承部詳細図　S=1:20

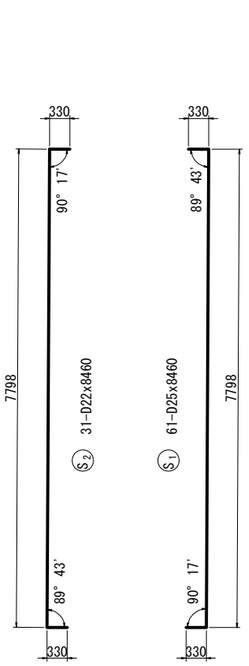


4-4

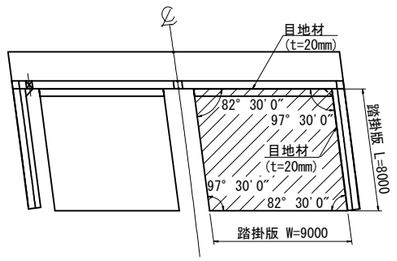


S=1:20

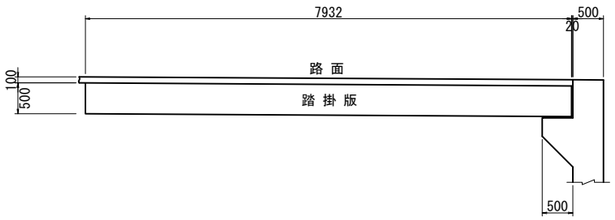




位置図　S=1:400



側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	8460	61	3.98	33.67	2054	
S2	D22	8460	31	3.04	25.72	797	
S3	D22	8810	53	3.04	26.78	1419	
S4	D22	8810	27	3.04	26.78	723	
S5	D13	590	363	0.995	0.59	214	
S6	D13	950	18	0.995	0.95	17	
S7	D13	1370	36	0.995	1.36	49	
						5273	
				SD345	D13	280 kg	
					D22	2939 kg	
					D25	2054 kg	
					合計	5273 kg	
パイプ 40A		210	18	3.89	0.817	14.71	ガスパイプ
プレート t=3 φ70			18		0.091	1.64	キャップ
						16.35 kg	

ゴム沓 (t=20,n=17)

A = 0.200 × 0.200 × 17 = 0.680 m²

目地材 (t=20)

A1 = 9.020 × 0.500 - 0.680 = 3.830 m²

A2 = 9.000 × 0.500 = 4.500 m²

A3 = 8.000 × 0.500 = 4.000 m²

合 計 12.330 m²

材料強度・材質

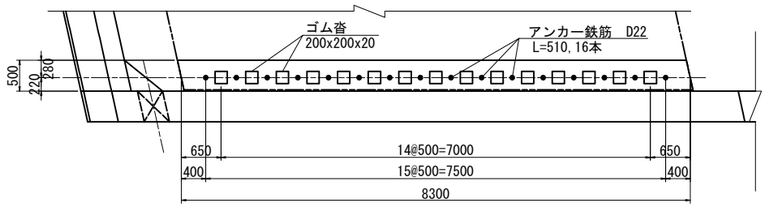
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(9)		
縮尺	図示	図面番号	21 / 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

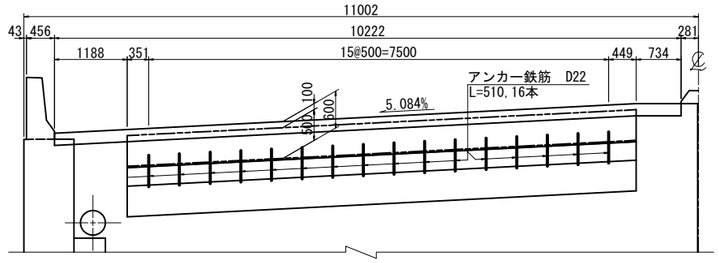
踏掛版詳細図(10)

前川橋　A2橋台踏掛版配筋図（その1）　S=1:100

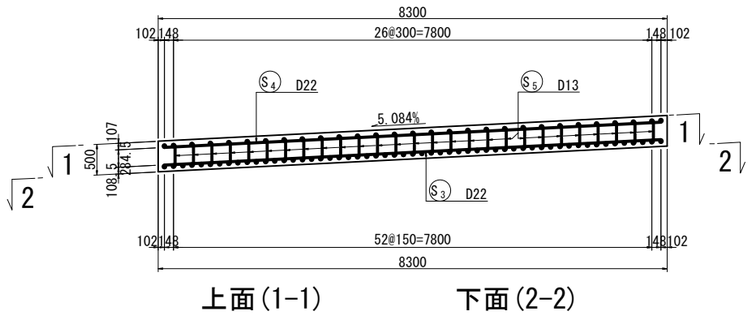
受台平面図



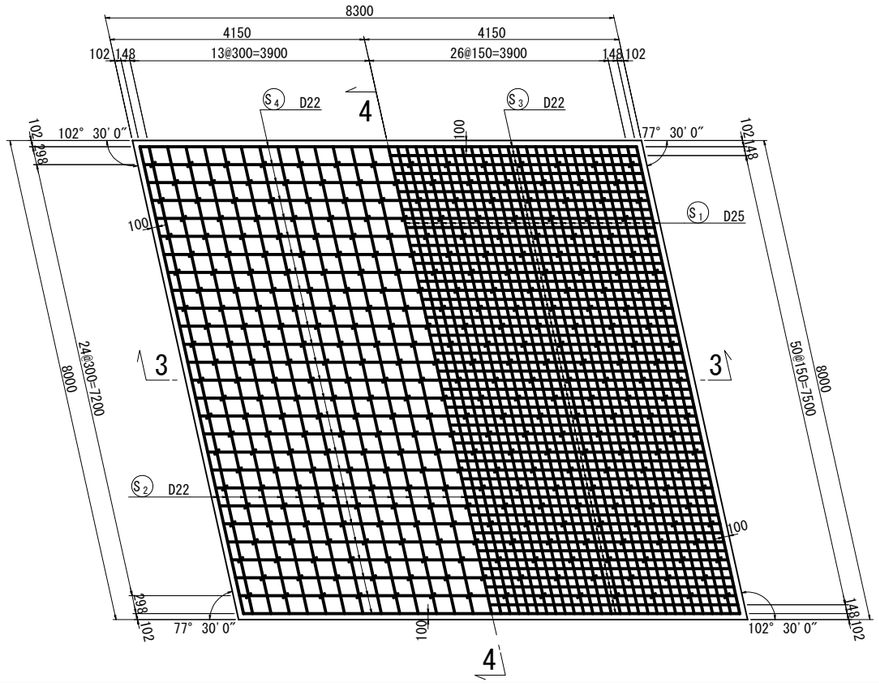
背面図



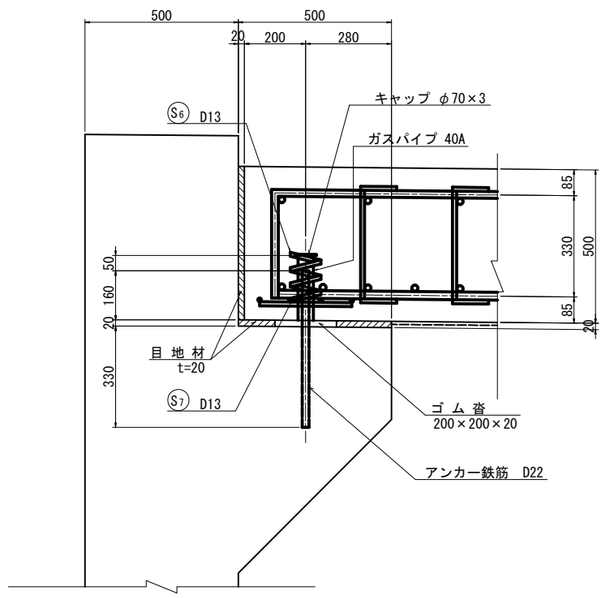
3-3



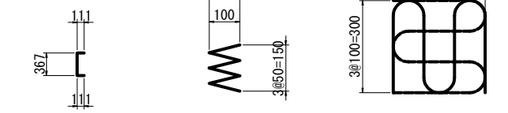
上面(1-1)　　下面(2-2)



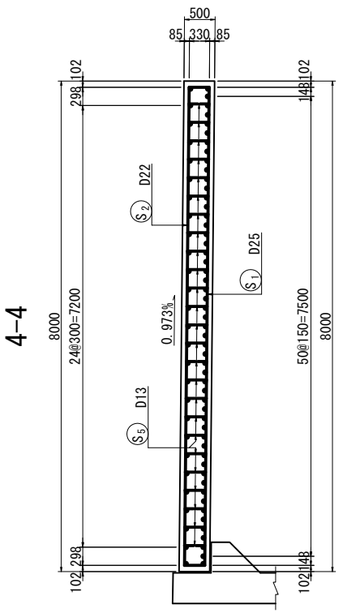
支承部詳細図　S=1:20

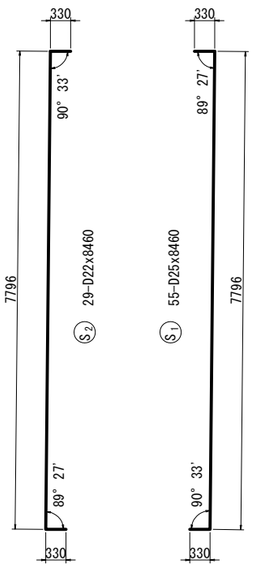


S=1:20

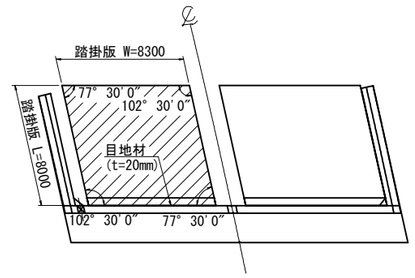


4-4

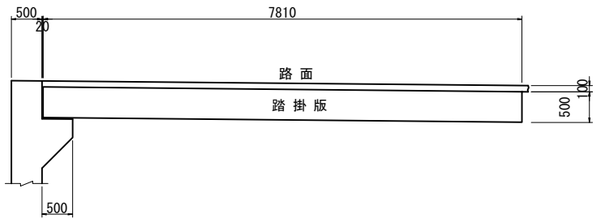




位置図　S=1:400



側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S 1	D25	8460	55	3.98	33.67	1852	⌋
S 2	D22	8460	29	3.04	25.72	746	⌊
S 3	D22	8110	53	3.04	24.65	1306	―
S 4	D22	8110	27	3.04	24.65	666	―
S 5	D13	590	338	0.995	0.59	199	⊏
S 6	D13	950	16	0.995	0.95	15	ξ
S 7	D13	1370	32	0.995	1.36	44	ᔓ
						4828	
				SD345	D13	258 kg	
					D22	2718 kg	
					D25	1852 kg	
					合計	4828 kg	
パイプ 40A		210	16	3.89	0.817	13.07	ガスパイプ
プレート t=3 φ70			16		0.091	1.46	キャップ
						14.53	kg
ゴム沓 (t=20,n=15)							
A = 0.200 × 0.200 × 15					=	0.600	m²
目地材 (t=20)							
A1 = 8.300 × 0.500 - 0.600					=	3.550	m²
A2 = 8.300 × 0.500					=	4.150	m²
					合 計	7.700	m²

材料強度・材質

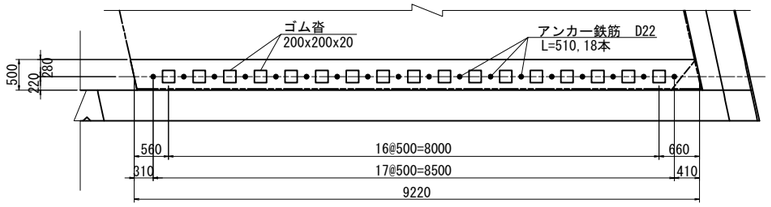
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(10)		
縮　尺	図示	図面番号	22 ／ 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

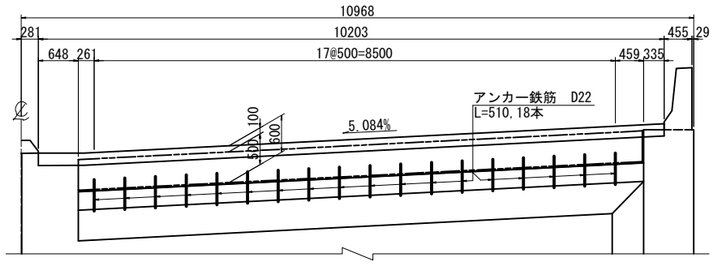
踏掛版詳細図(11)

前川橋　A2橋台踏掛版配筋図（その2）　S=1:100

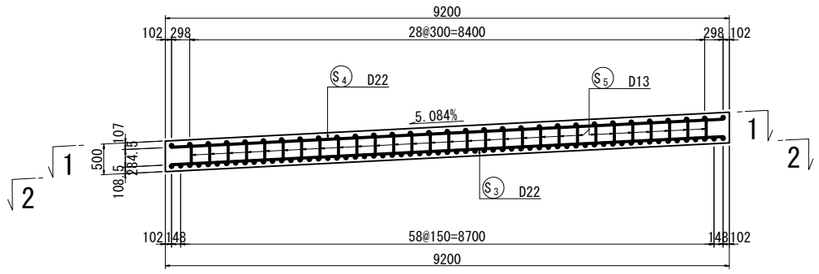
受台平面図



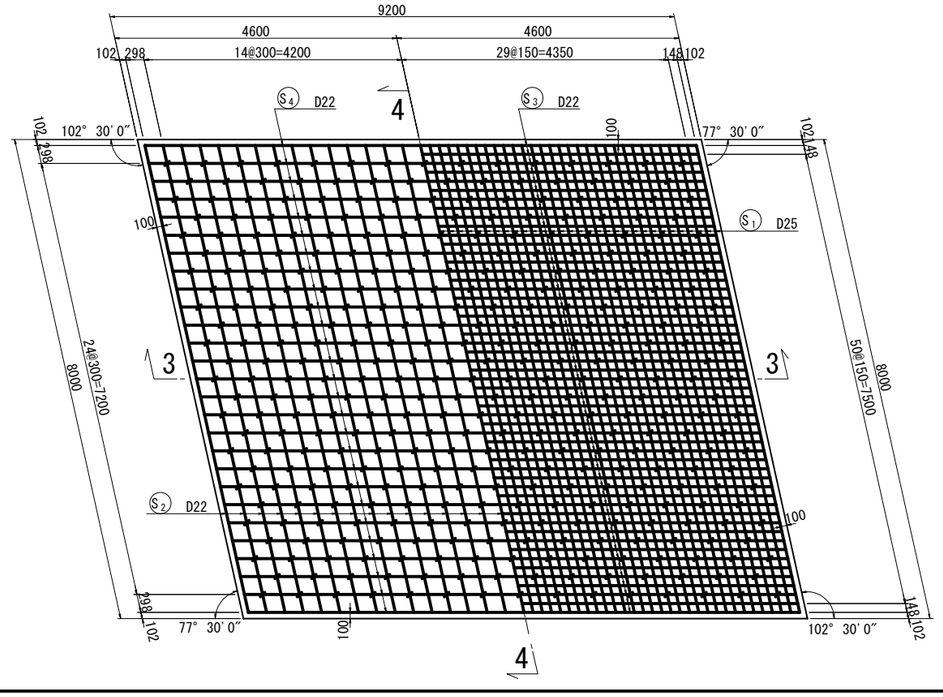
背面図



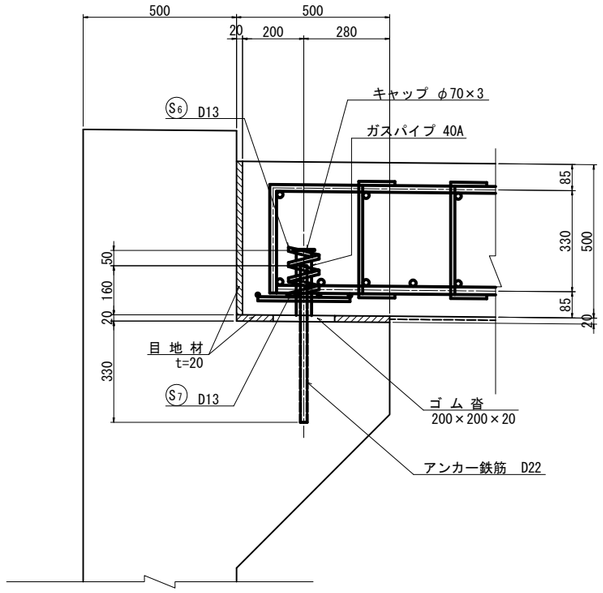
3-3

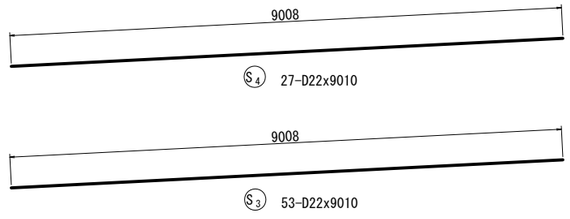


上面(1-1)　下面(2-2)

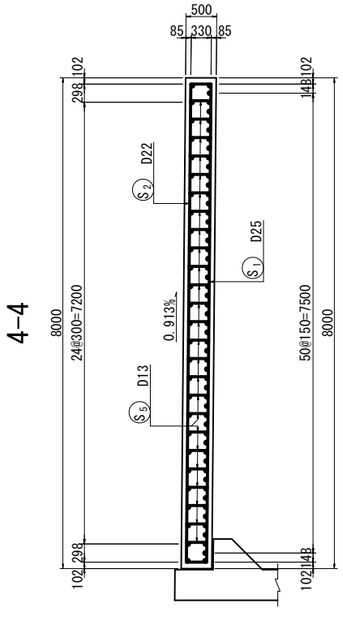


支承部詳細図　S=1:20

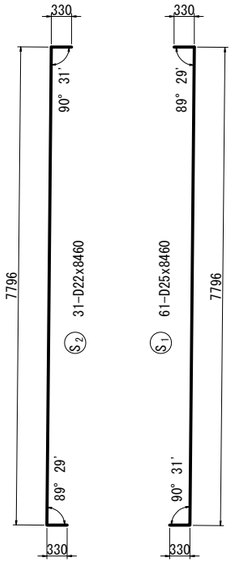


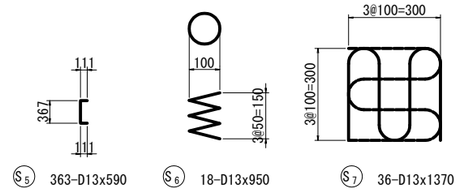


4-4

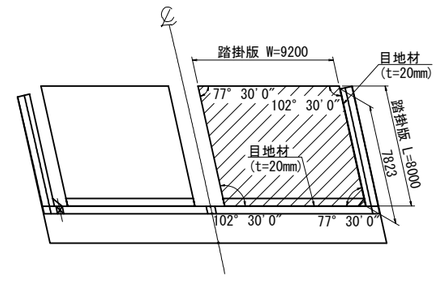


S=1:20

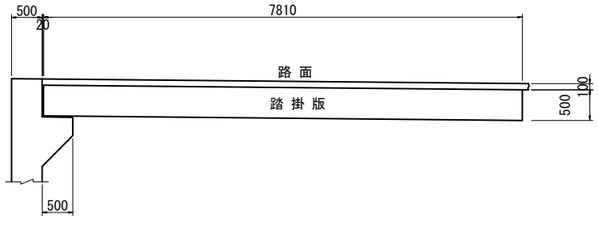




位置図　S=1:400



側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	8460	61	3.98	33.67	2054	⌋
S2	D22	8460	31	3.04	25.72	797	⌊
S3	D22	9010	53	3.04	27.39	1452	―
S4	D22	9010	27	3.04	27.39	740	―
S5	D13	590	363	0.995	0.59	214	⌊
S6	D13	950	18	0.995	0.95	17	≷
S7	D13	1370	36	0.995	1.36	49	∽
						5323	
				SD345	D13	280 kg	
					D22	2989 kg	
					D25	2054 kg	
					合計	5323 kg	
パイプ 40A		210	18	3.89	0.817	14.71	ガスパイプ
プレート t=3 φ70			18		0.091	1.64	キャップ
						16.35	kg

ゴム沓 (t=20, n=17)

A = 0.200 × 0.200 × 17 = 0.680 m²

目地材 (t=20)

A1 = 9.220 × 0.500 − 0.680 = 3.930 m²

A2 = 9.200 × 0.500 = 4.600 m²

A3 = 7.823 × 0.500 = 3.912 m²

合 計 12.442 m²

材料強度・材質

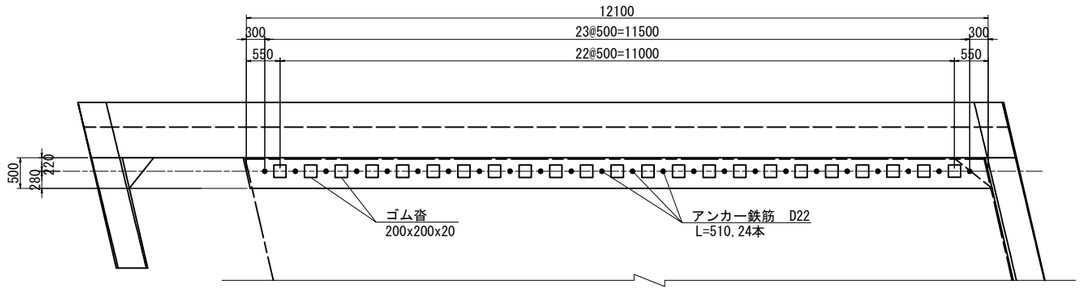
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事				
図面の種類	踏掛版詳細図(11)			
縮　尺	図示	図面番号	23 / 66	
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所			

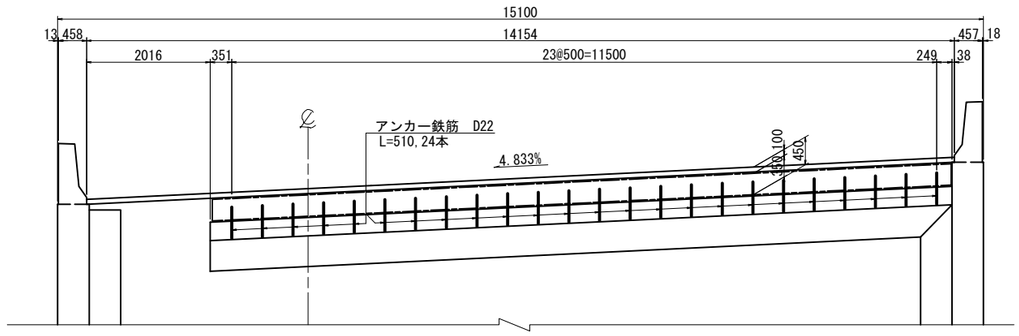
踏掛版詳細図(12)

北排水路橋 A1橋台踏掛版配筋図 S=1:100

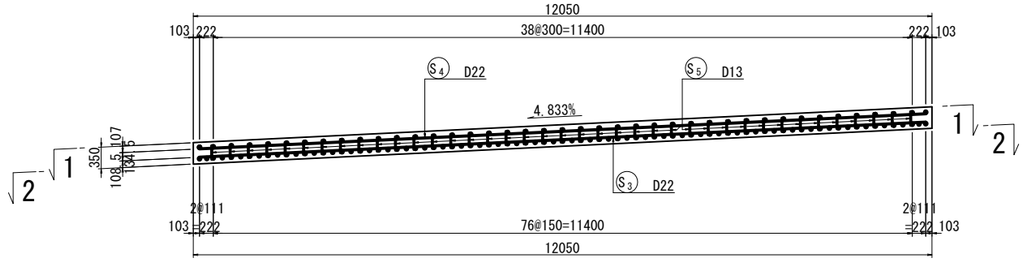
受台平面図



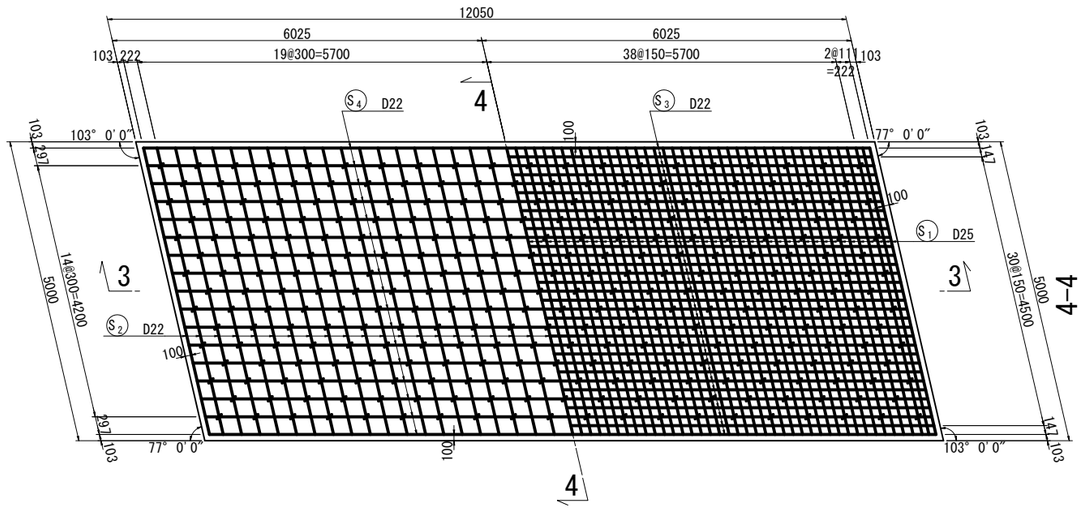
背面図



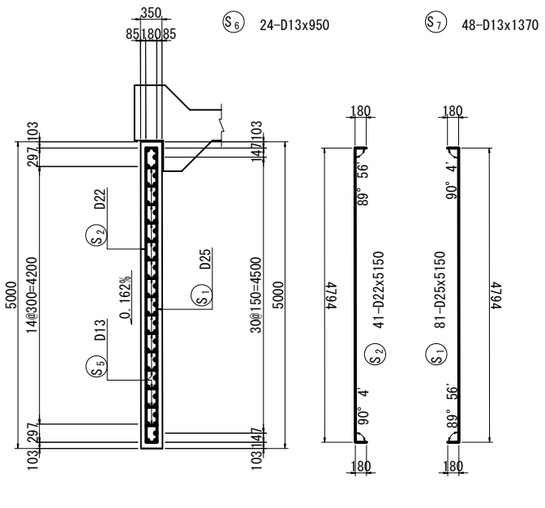
3-3



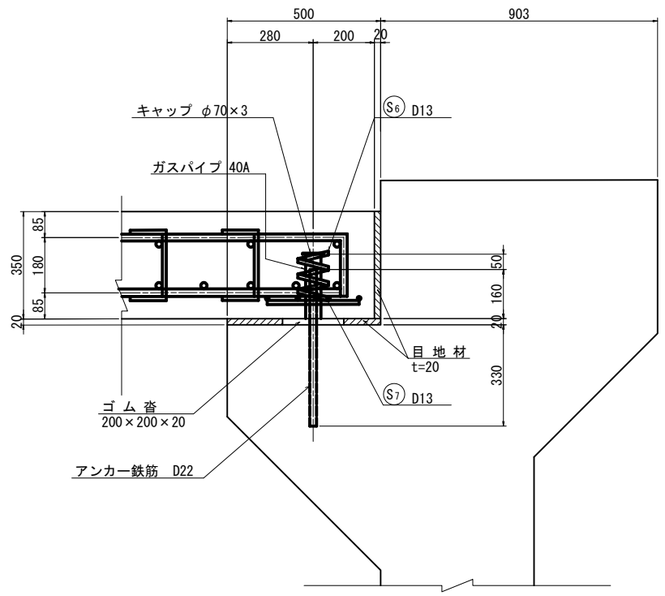
上面(1-1)　　下面(2-2)

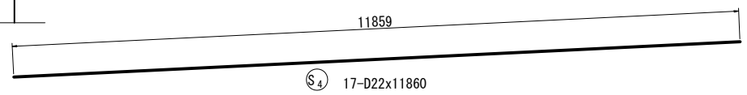


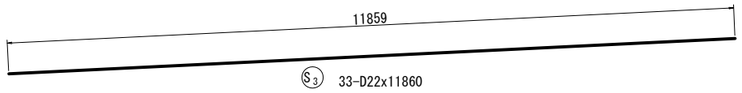
4-4



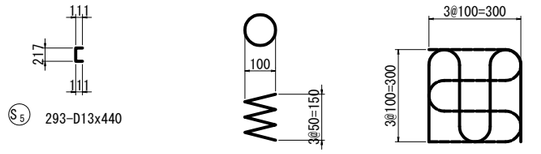
支承部詳細図 S=1:20







S=1:20



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	5150	81	3.98	20.50	1661	]
S2	D22	5150	41	3.04	15.66	642	[
S3	D22	11860	33	3.04	36.05	1190	―
S4	D22	11860	17	3.04	36.05	613	―
S5	D13	440	293	0.995	0.44	129	[
S6	D13	950	24	0.995	0.95	23	ミ
S7	D13	1370	48	0.995	1.36	65	ᔓ
						4323	
				SD345	D13	217 kg	
					D22	2445 kg	
					D25	1661 kg	
					合計	4323 kg	

パイプ 40A	210	24	3.89	0.817	19.6	ガスパイプ
プレート t=3 φ70		24		0.091	2.2	キャップ
					21.8 kg	

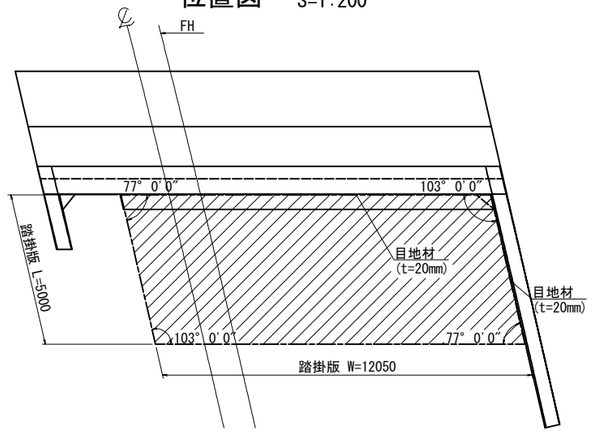
ゴム沓 (t=20, n=23)

A = 0.200 × 0.200 × 23 = 0.920 m²

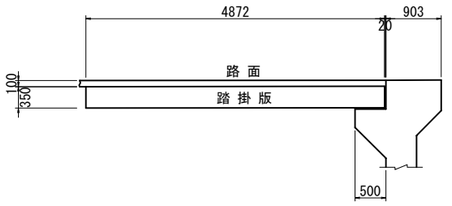
目地材 (t=20)

A1 = 12.100 × 0.500 − 0.920	=	5.130	m²
A2 = 12.100 × 0.350	=	4.235	m²
A3 = 5.000 × 0.350	=	1.750	m²
合 計		11.115	m²

位置図 S=1:200



側面図



材料強度・材質

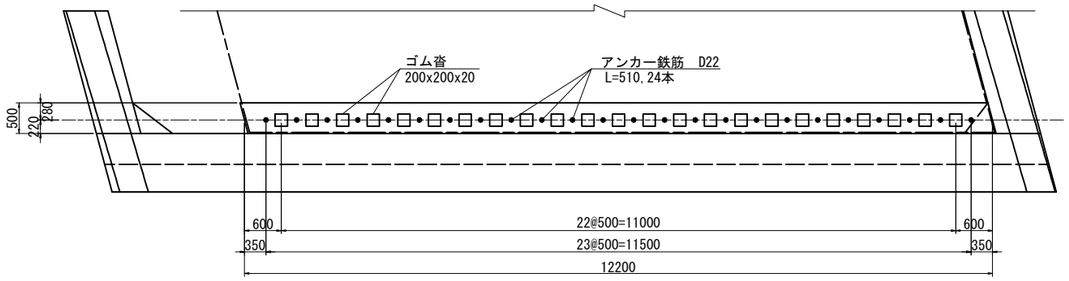
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(12)		
縮 尺	図示	図面番号	24 / 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

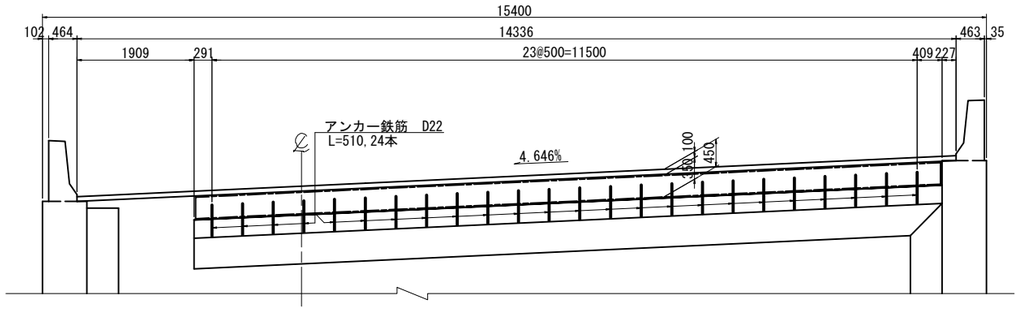
踏掛版詳細図(13)

北排水路橋 A2橋台踏掛版配筋図 S=1:100

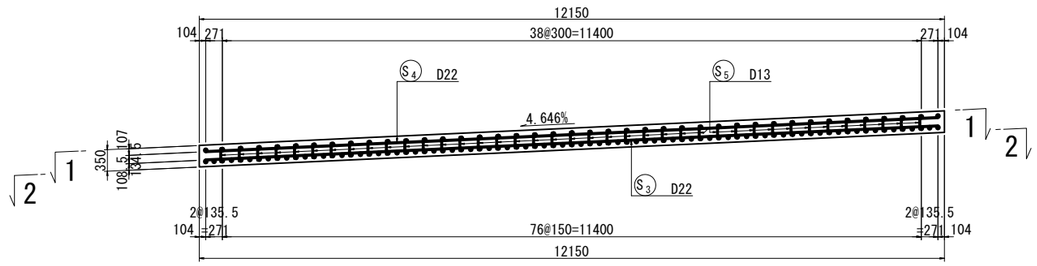
受台平面図



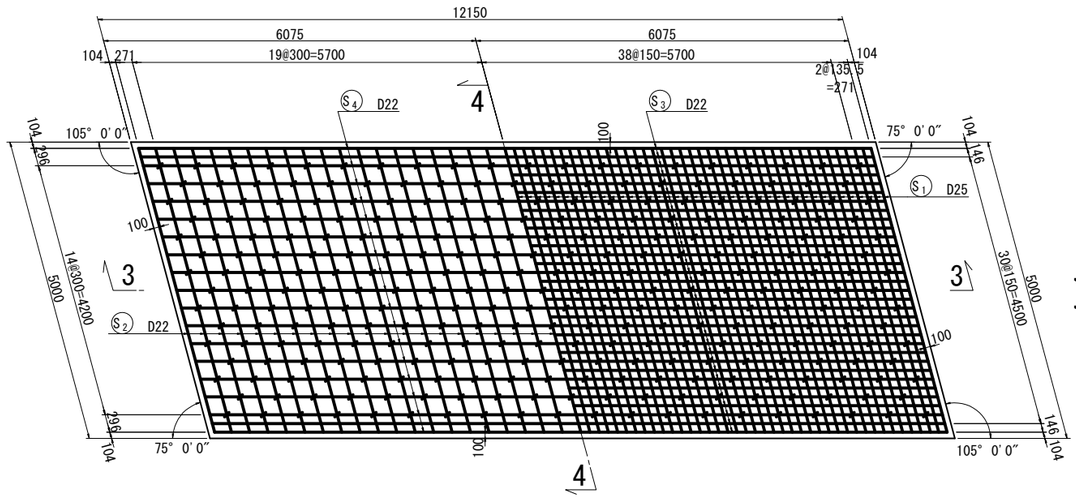
背面図



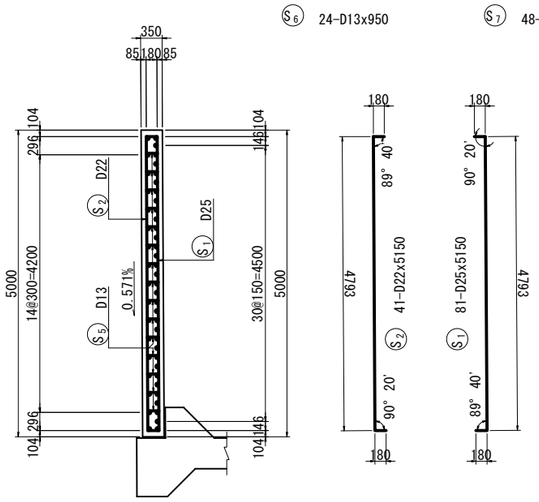
3-3



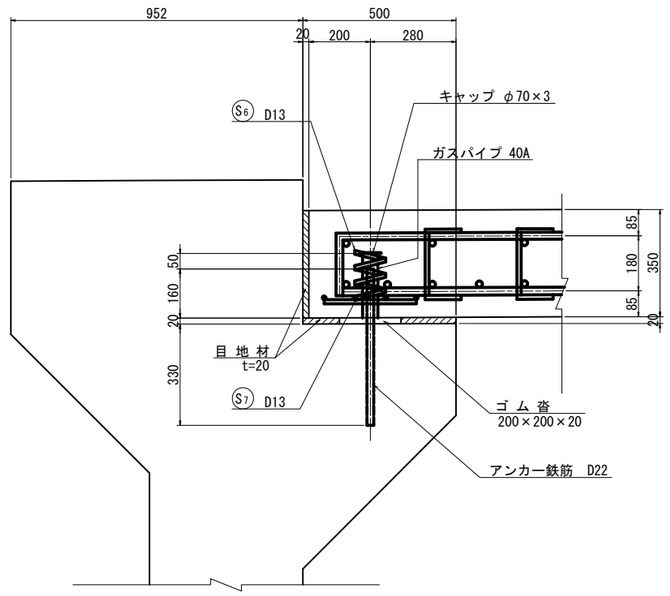
上面(1-1)　　下面(2-2)

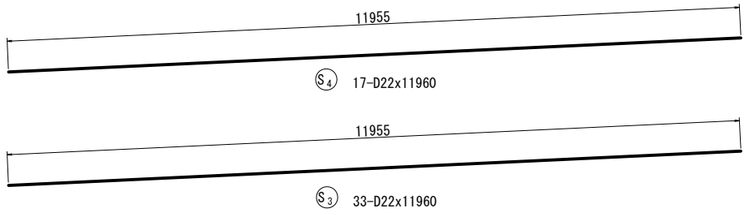


4-4

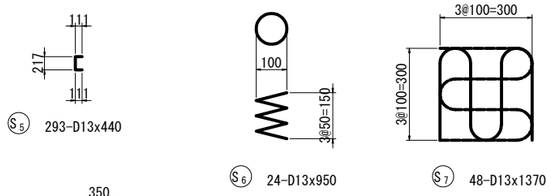


支承部詳細図 S=1:20

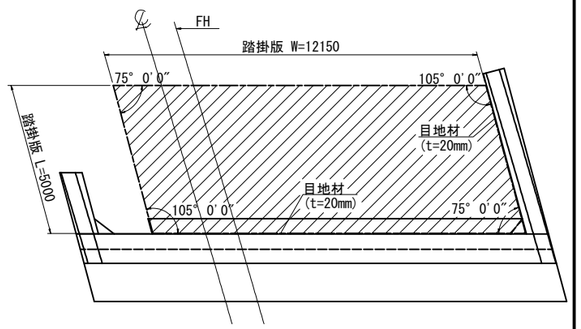




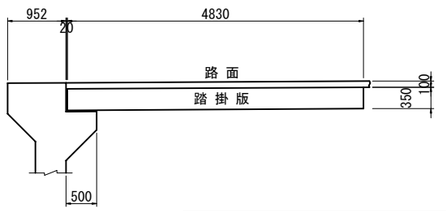
S=1:20



位置図 S=1:200



側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	5150	81	3.98	20.50	1661	]
S2	D22	5150	41	3.04	15.66	642	[
S3	D22	11960	33	3.04	36.36	1200	―
S4	D22	11960	17	3.04	36.36	618	―
S5	D13	440	293	0.995	0.44	129	[
S6	D13	950	24	0.995	0.95	23	ξ
S7	D13	1370	48	0.995	1.36	65	ᔓ
						4338	
				SD345	D13	217 kg	
					D22	2460 kg	
					D25	1661 kg	
					合計	4338 kg	
パイプ 40A		210	24	3.89	0.817	19.6	ガスパイプ
プレート t=3 φ70			24		0.091	2.2	キャップ
						21.8	kg

ゴム沓 (t=20, n=23)

A = 0.200 × 0.200 × 23 = 0.920 m²

目地材 (t=20)

A1 = 12.200 × 0.500 − 0.920 = 5.180 m²

A2 = 12.200 × 0.350 = 4.270 m²

A3 = 5.000 × 0.350 = 1.750 m²

合 計 11.200 m²

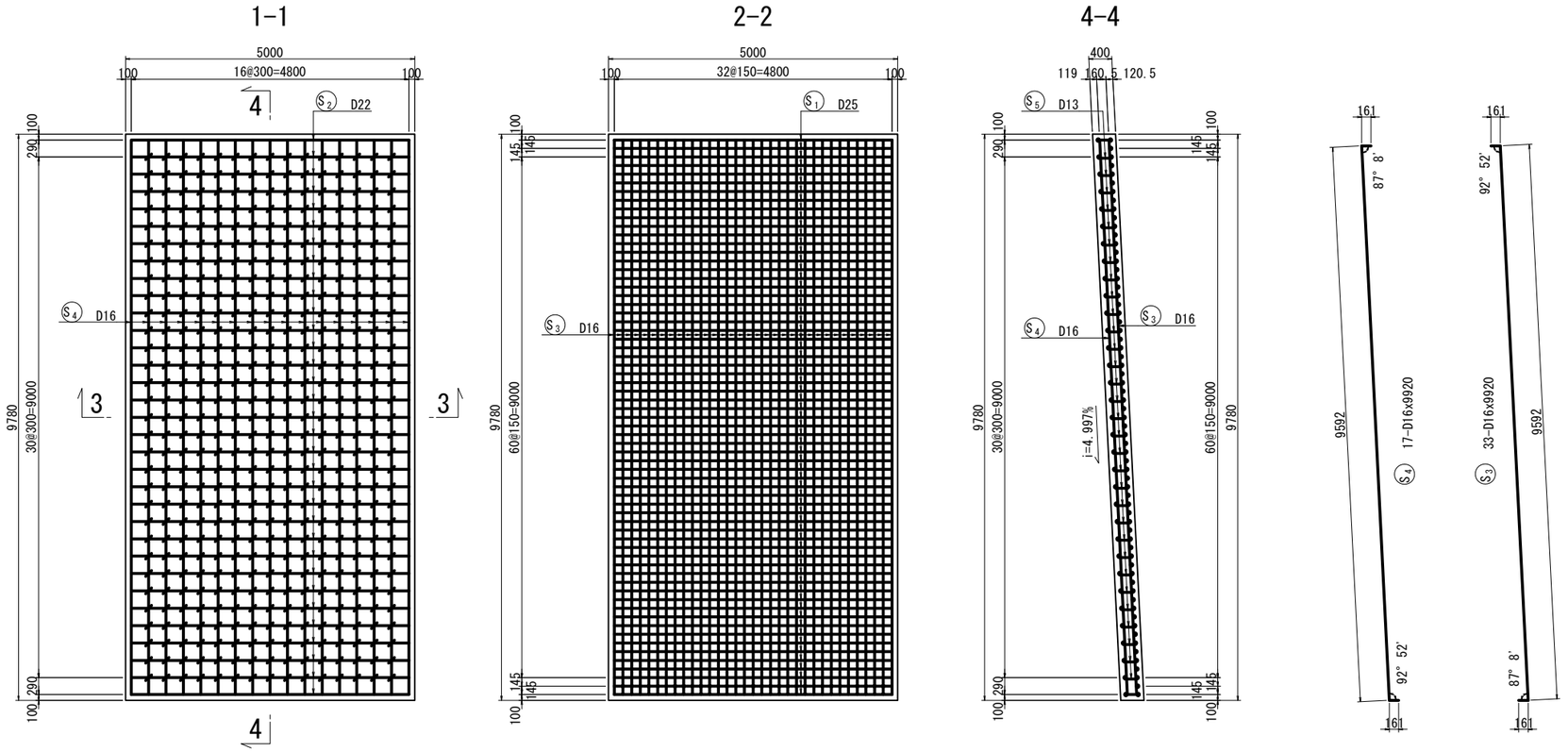
材料強度・材質

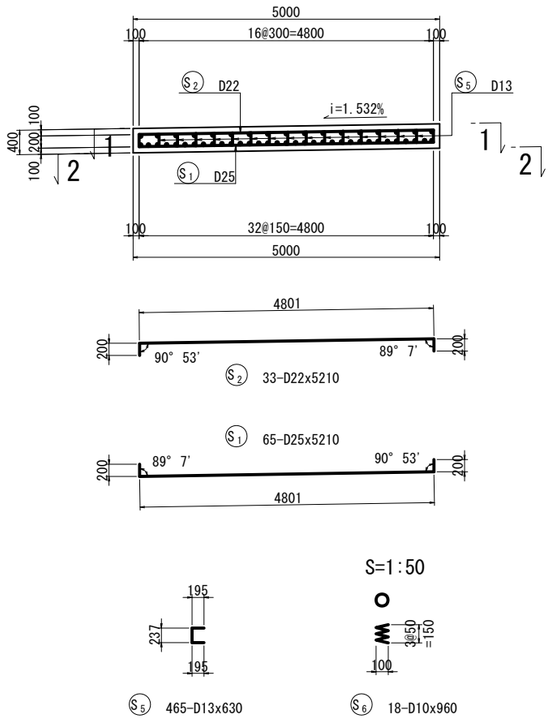
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(13)		
縮 尺	図示	図面番号	25 / 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

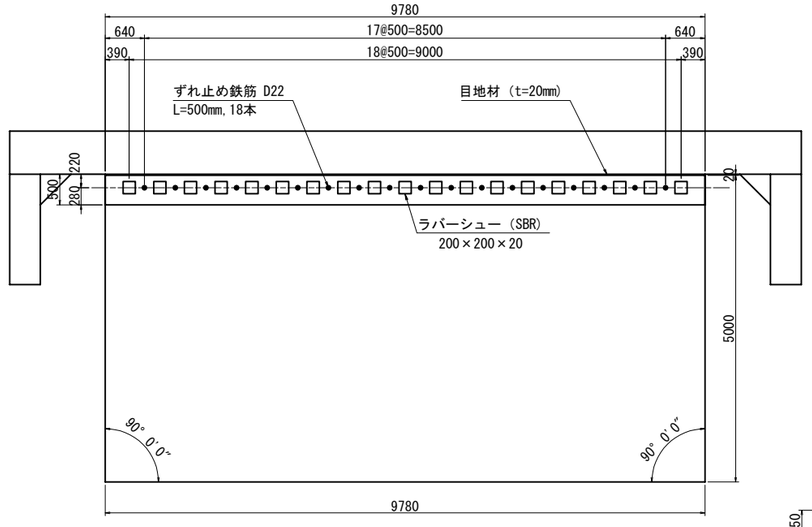
踏掛版詳細図(14)

潮来佐原線橋(上り線) A1橋台踏掛版配筋図 S=1:100

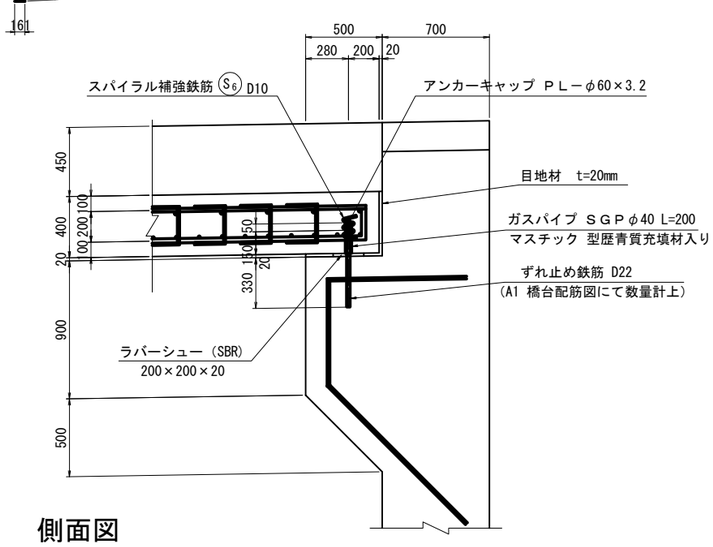




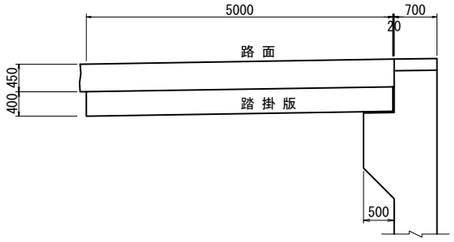
平面図



受台詳細図 S=1:40



側面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D25	5210	65	3.98	20.74	1348	
S2	D22	5210	33	3.04	15.84	523	
S3	D16	9920	33	1.56	15.48	511	
S4	D16	9920	17	1.56	15.48	263	
S5	D13	630	465	0.995	0.63	293	
S6	D10	960	18	0.56	0.54	10	
						2948	

SD345	D10	10 kg
	D13	293 kg
	D16	774 kg
	D22	523 kg
	D25	1348 kg
	合計	2948 kg

材料表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
プレート	φ60	t=3.2	18	22.20	0.07	1.26	キャップ
パイプ	φ40	200	18	3.89	0.78	14.04	SGP
						15.30 kg	

充填材	π/4x(0.040²x0.200−0.022²x0.150)x18x1530kg/m³	5.35 kg マスチック型歴青質
支 承	200×200×20 n=19	0.76 m2 ゴム(SBR)
目地	t=20 (受台部)	4.13 m2 歴青繊維質
目地	t=20 (パラペット部)	3.91 m2 歴青繊維質

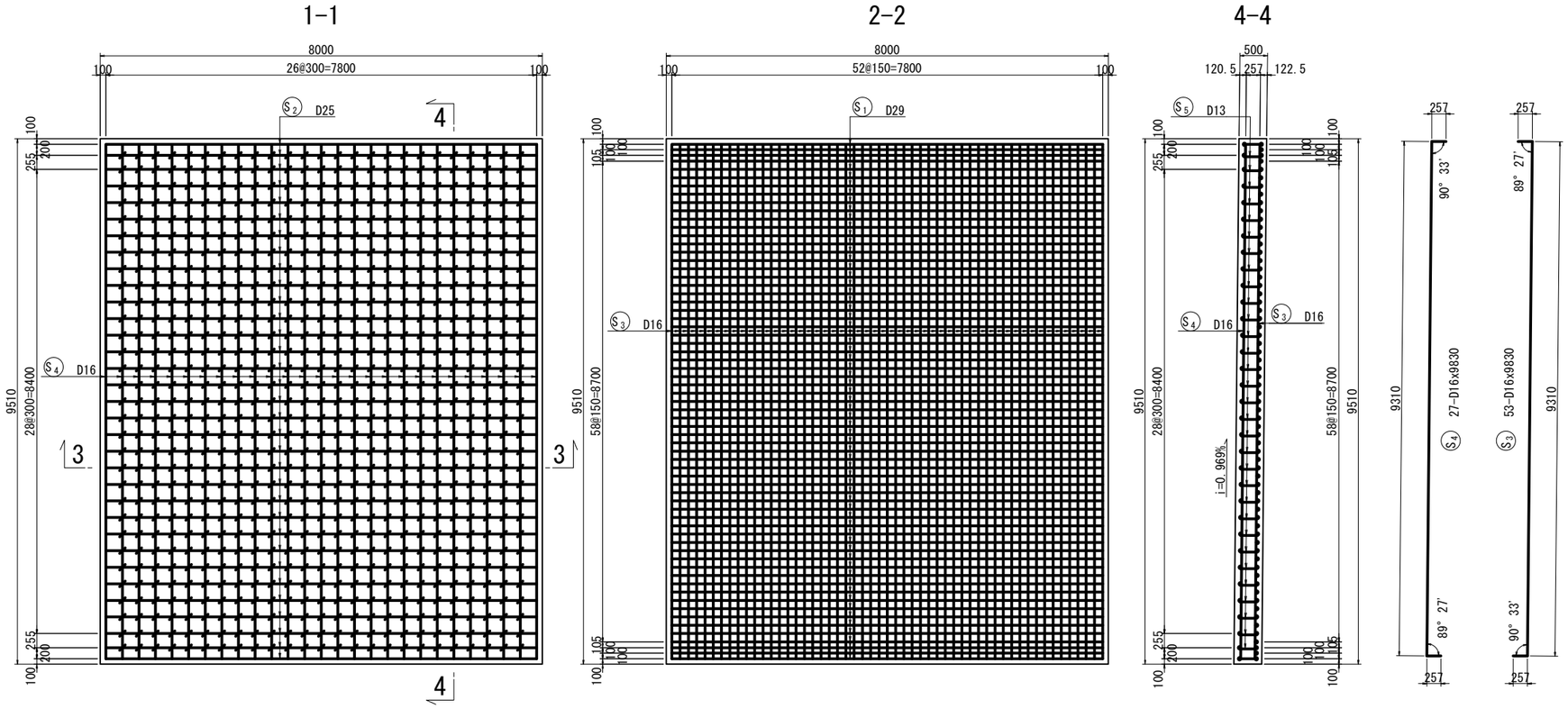
材料表

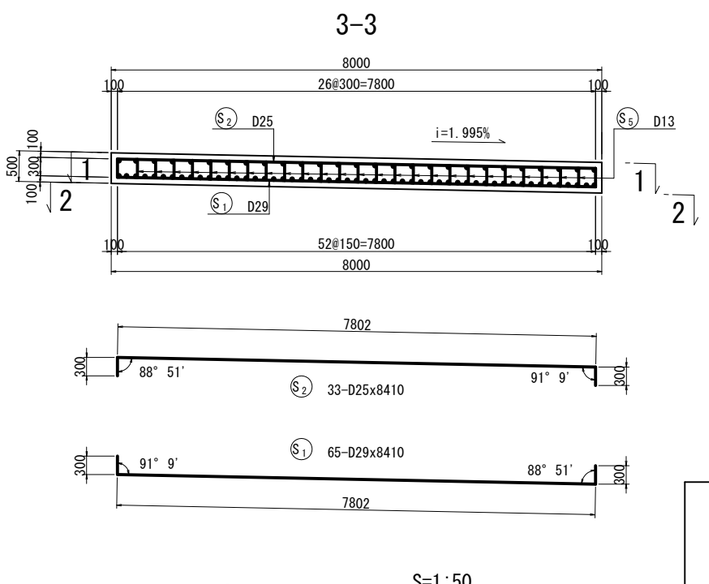
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

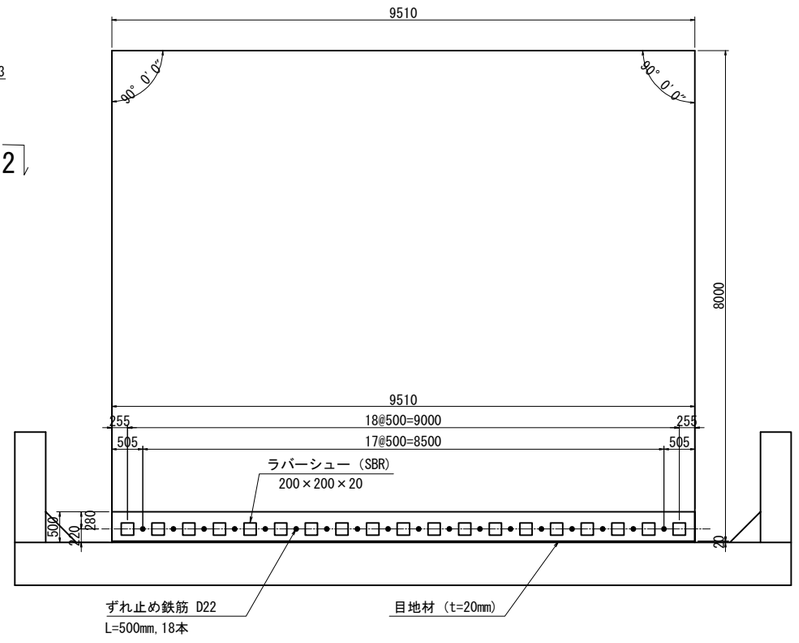
東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(14)
縮 尺	図示
図面番号	26 ／ 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

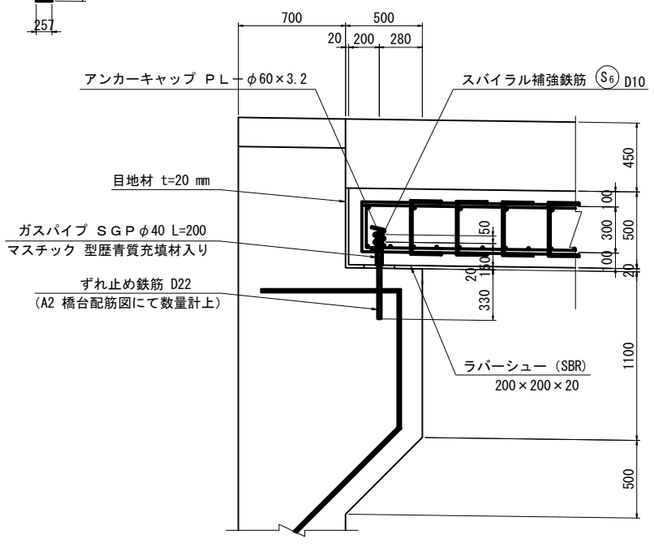
踏掛版詳細図(15)

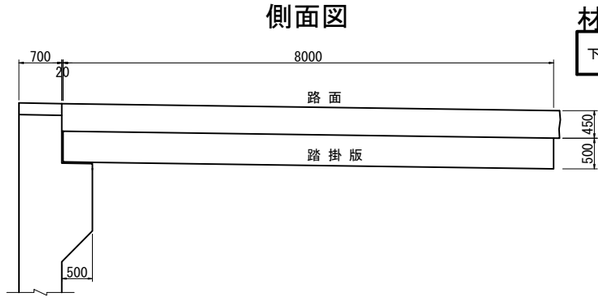
潮来佐原線橋(上り線) A2橋台踏掛版配筋図 S=1:100











鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D29	8410	65	5.04	42.39	2755	
S2	D25	8410	33	3.98	33.47	1105	
S3	D16	9830	53	1.56	15.33	812	
S4	D16	9830	27	1.56	15.33	414	
S5	D13	730	775	0.995	0.73	566	
S6	D10	960	18	0.56	0.54	10	
						5662	

SD345	D10	10 kg
	D13	566 kg
	D16	1226 kg
	D25	1105 kg
	D29	2755 kg
	合計	5662 kg

材料表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
プレート	φ60	t=3.2	18	22.20	0.07	1.26	キャップ
パイプ	φ40	200	18	3.89	0.78	14.04	SGP
						15.30 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200-0.022²x0.150)x18x1530kg/m³					5.35 kg	マスチック型歴青質
支 承	200×200×20 n=19					0.76 m²	ゴム(SBR)
目地	t=20 (受台部)					4.00 m²	歴青繊維質
目地	t=20 (パラペット部)					4.76 m²	歴青繊維質

材料表

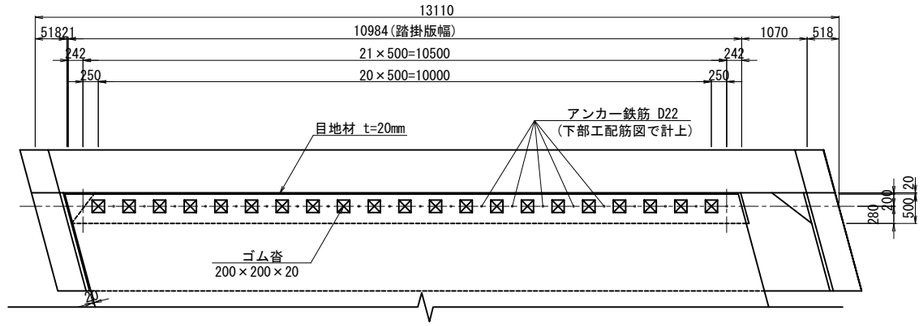
下部工	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(15)
縮 尺	図示
図面番号	27 ／ 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

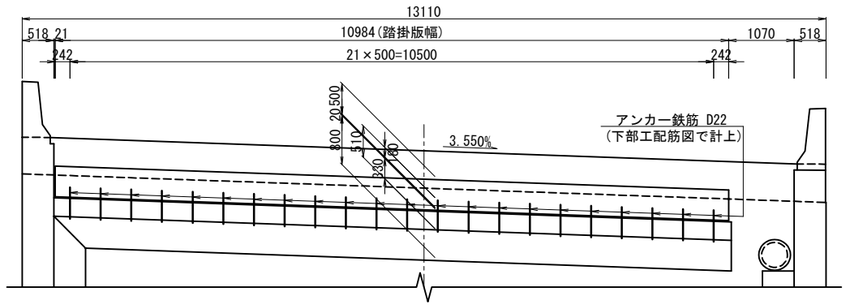
踏掛版詳細図(16)

小泉第一高架橋（上り線）A1橋台踏掛版配筋図　S=1:100

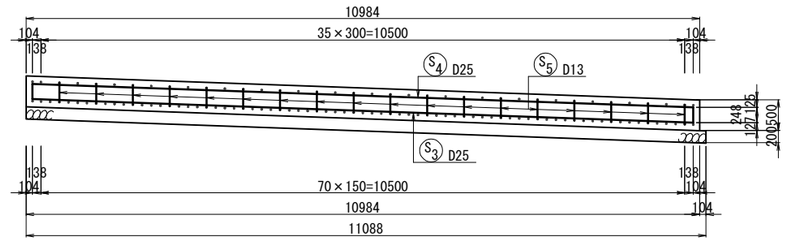
受台平面図



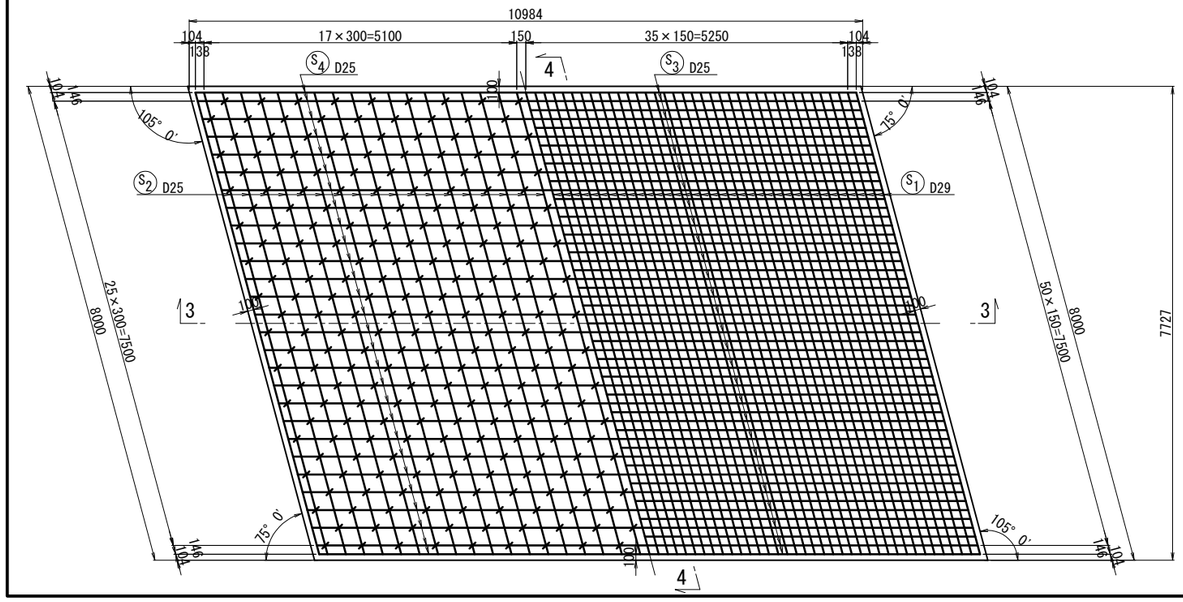
アンカー鉄筋配置



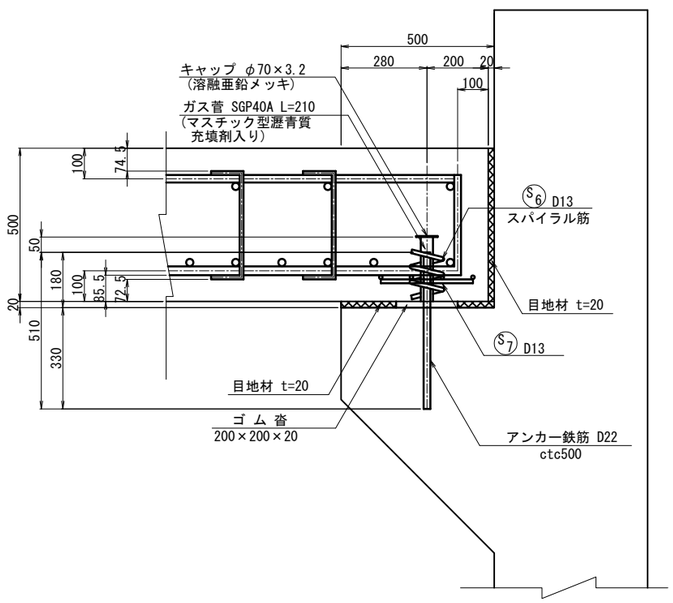
3 － 3



1 － 1(上面)　　2 － 2(下面)



踏掛版受台詳細図 S=1:20



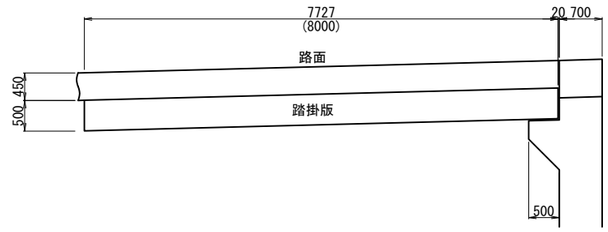
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
SD345							
S 1	D29	8400	73	5.04	42.3	3088	
2	D25	7800	38	3.98	31.0	1178	
3	D25	10790	53	3.98	42.9	2274	
4	D25	10790	28	3.98	42.9	1201	
5	D13	730	468	0.995	0.73	342	
6	D13	950	22	0.995	0.95	21	
7	D13	1370	22	0.995	1.36	30	
						8134 kg	

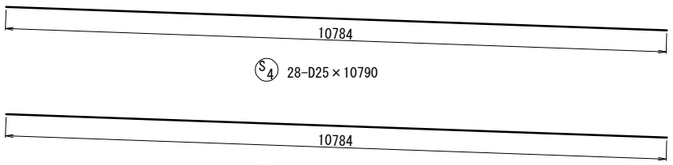
鉄筋質量集計（SD345）

D29	3088 kg
D25	4653 kg
D13	393 kg
合　計	8134 kg

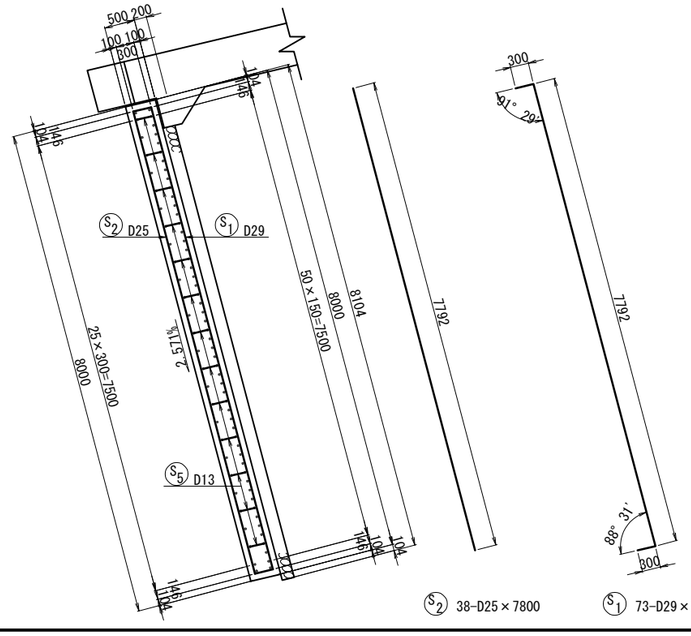
側面図



※（ ）内は橋軸方向寸法



4 － 4



S=1:40

S6 22-D10×950　　S7 22-D10×1370

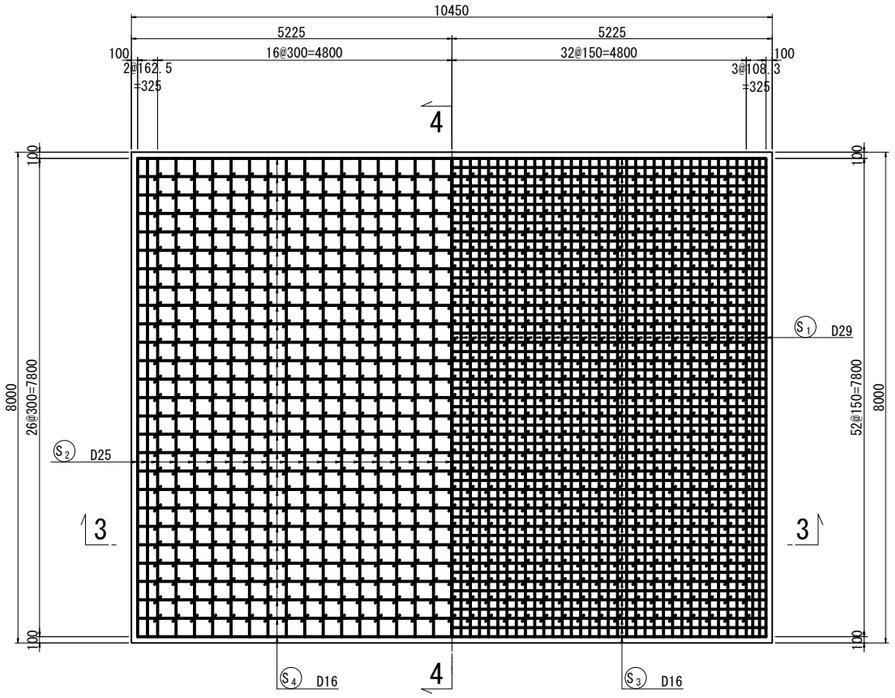
S2 38-D25×7800　　S1 73-D29×8400

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(16)		
縮尺	図示	図面番号	28 ／ 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

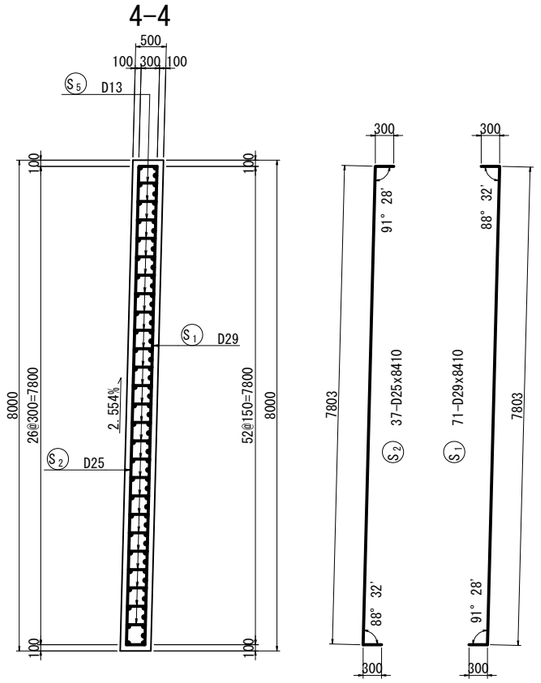
踏掛版詳細図(17)

古高高架橋（上り線） A2橋台踏掛版配筋図 S=1:100

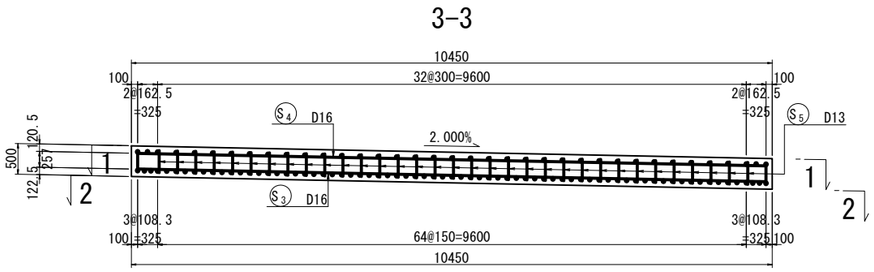
上面(1-1)　　下面(2-2)

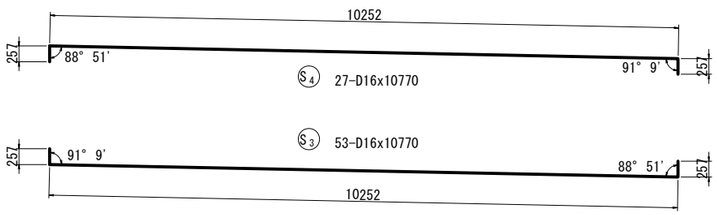


4-4



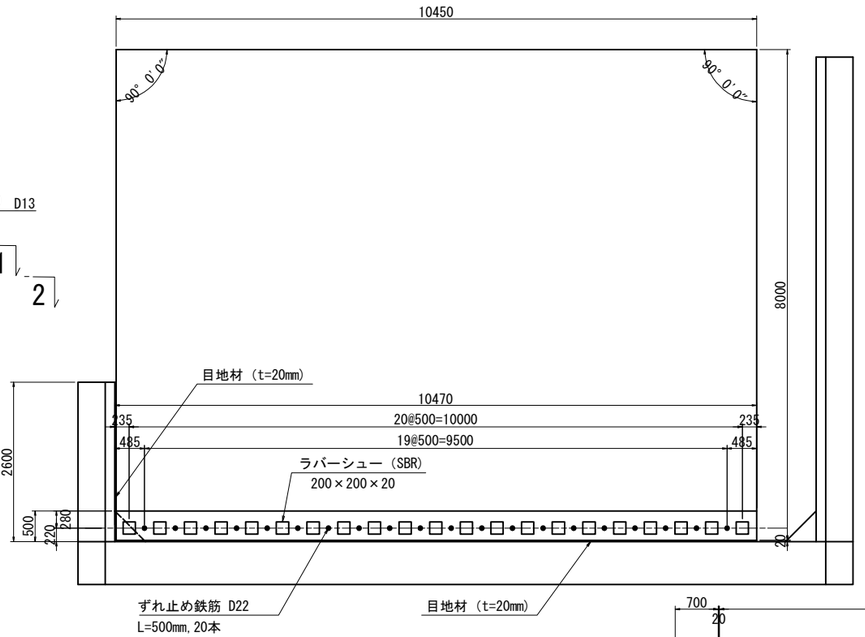
3-3



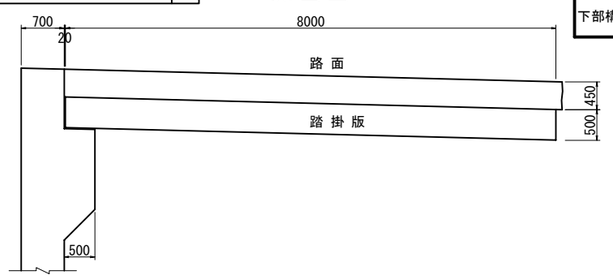


S=1:50

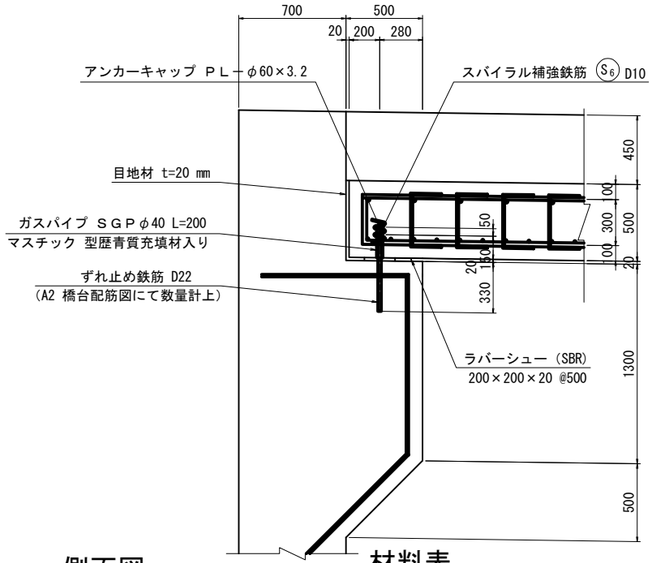
平面図



側面図



受台詳細図 S=1:40



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D29	8410	71	5.04	42.39	3010	
S2	D25	8410	37	3.98	33.47	1238	
S3	D16	10770	53	1.56	16.80	890	
S4	D16	10770	27	1.56	16.80	454	
S5	D13	730	825	0.995	0.73	602	
S6	D10	960	20	0.56	0.54	11	
						6205	

SD345	D10	11 kg
	D13	602 kg
	D16	1344 kg
	D25	1238 kg
	D29	3010 kg
	合計	6205 kg

材料表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
プレート	φ60	t=3.2	20	22.20	0.07	1.40	キャップ
パイプ	φ40	200	20	3.89	0.78	15.60	SGP
						17.00	kg

充填材	π/4x(0.040²x0.200-0.022²x0.150)x20x1530kg/m³	5.95 kg	マスチック型歴青質
支 承	200×200×20 n=21	0.84 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20 （受台部）	4.40 m2	歴青繊維質
目地	t=20 （パラペット部）	5.24 m2	歴青繊維質
目地	t=20 （ウイング部）	1.29 m2	歴青繊維質

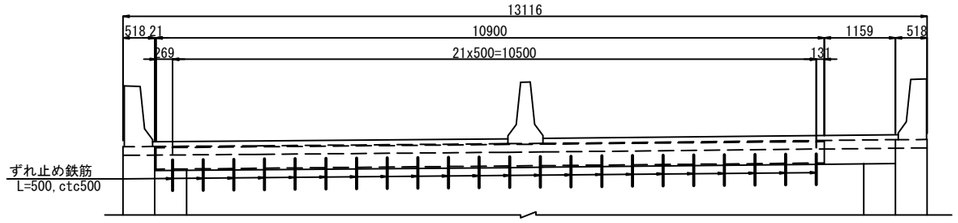
材料表

下部構造	踏掛版コンクリート	σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345

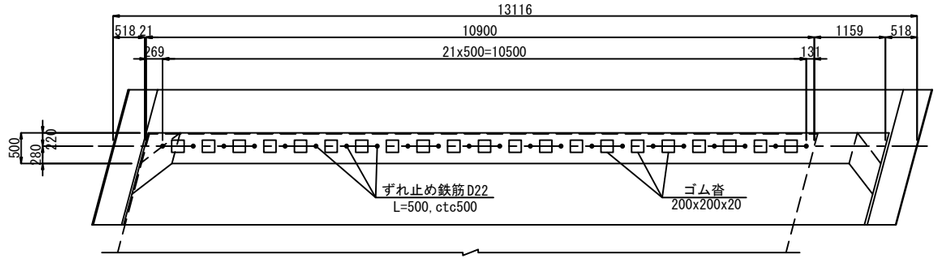
東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	踏掛版詳細図(17)		
縮 尺	図示	図面番号	29 ／ 66
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

踏掛版詳細図(18)
水戸神栖線橋 A1橋台踏掛版配筋図　S=1:100

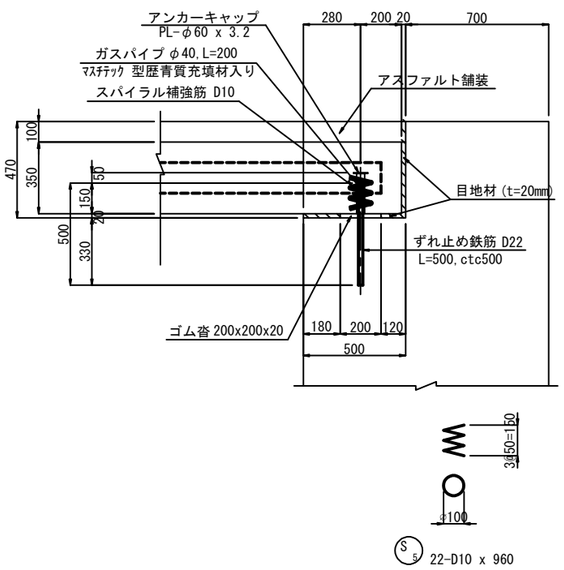
正面図



平面図



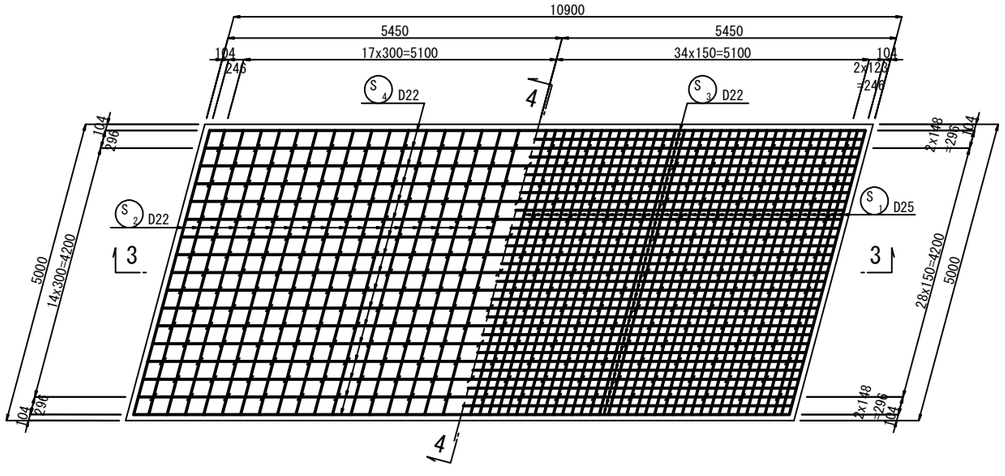
受台部詳細図　S=1:30



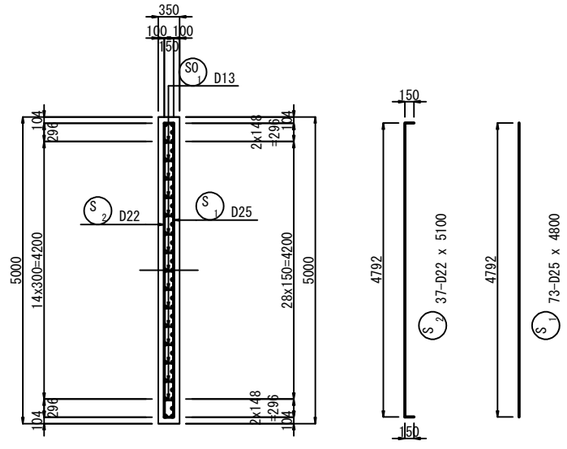
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D25	4 800	73	3.98	19.10	1 394	—
					小計	1 394 kg	
S 2	D22	5 100	37	3.04	15.50	574	⌐
3	D22	10 700	33	3.04	32.53	1 073	—
4	D22	10 910	17	3.04	33.17	564	⌐
					小計	2 211 kg	
S 5	D10	960	22	0.560	0.54	12	≈
					小計	12 kg	
SO 1	D13	580	263	0.995	0.58	153	⌐
					小計	153 kg	
鉄筋質量合計							
			D25		1 394 kg		
			D22		2 211 kg		
			D13		153 kg		
			D10		12 kg		
			総合計		3 770 kg		

1-1(上面)　2-2(下面)



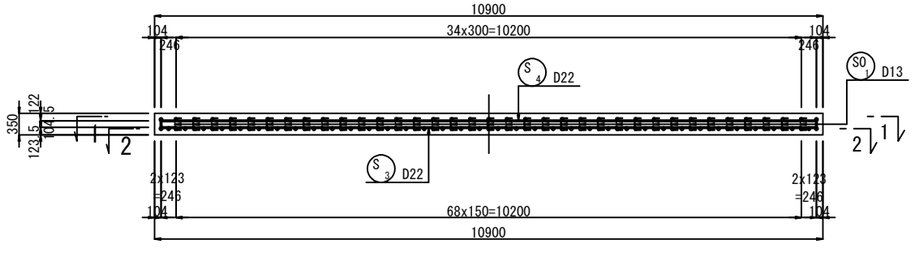
4-4

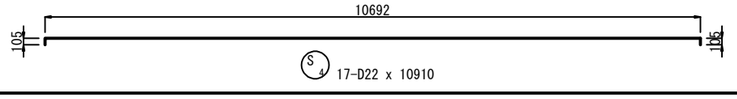


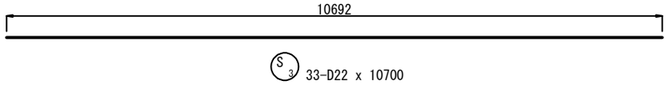
材料表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	22	3.89	0.78	17	SGP
プレート	φ60	t=3.2	22	22.20	0.07	2	キャップ
					合計	19 kg	
充填材	$\pi/4x(0.040^2x0.200-0.022^2x0.015)x22x1530kg/m^3$					8.27 kg	ﾏｽﾃﾁｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=21					0.84 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					4.62 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					3.82 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					0.54 m2	歴青繊維質

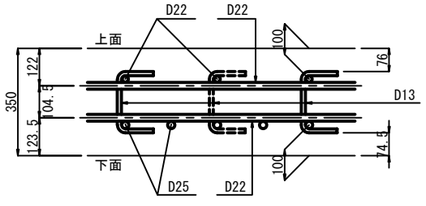
3-3

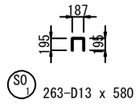




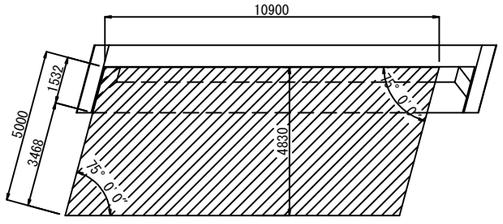


かぶり詳細図　S=1:20





位置図　S=1:200

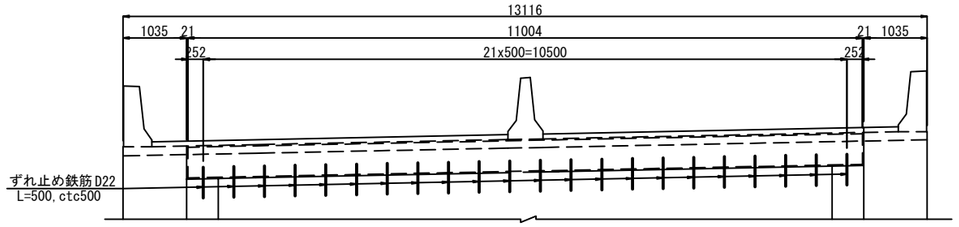


東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(18)
縮尺	図示
図面番号	30 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

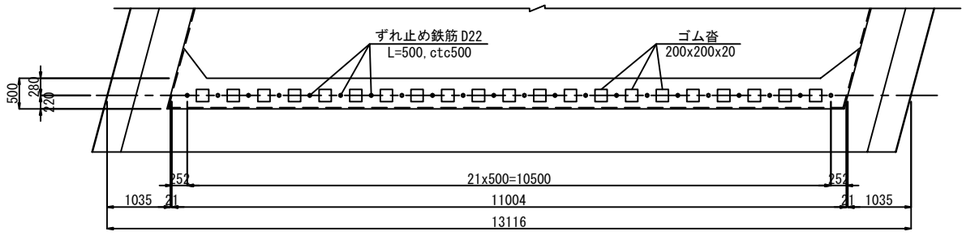
踏掛版詳細図(19)

水戸神栖線橋 A2橋台踏掛版配筋図 S=1:100

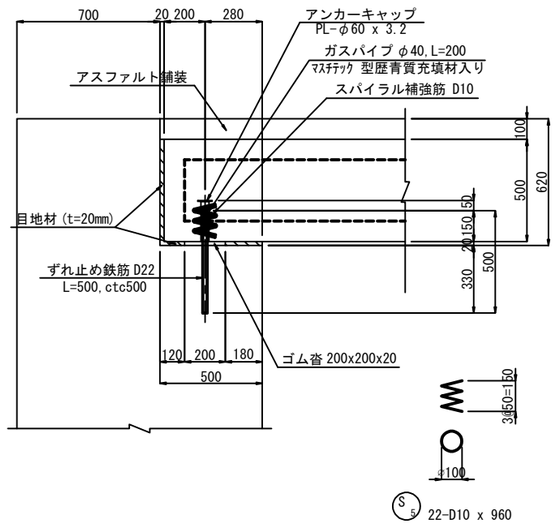
正面図



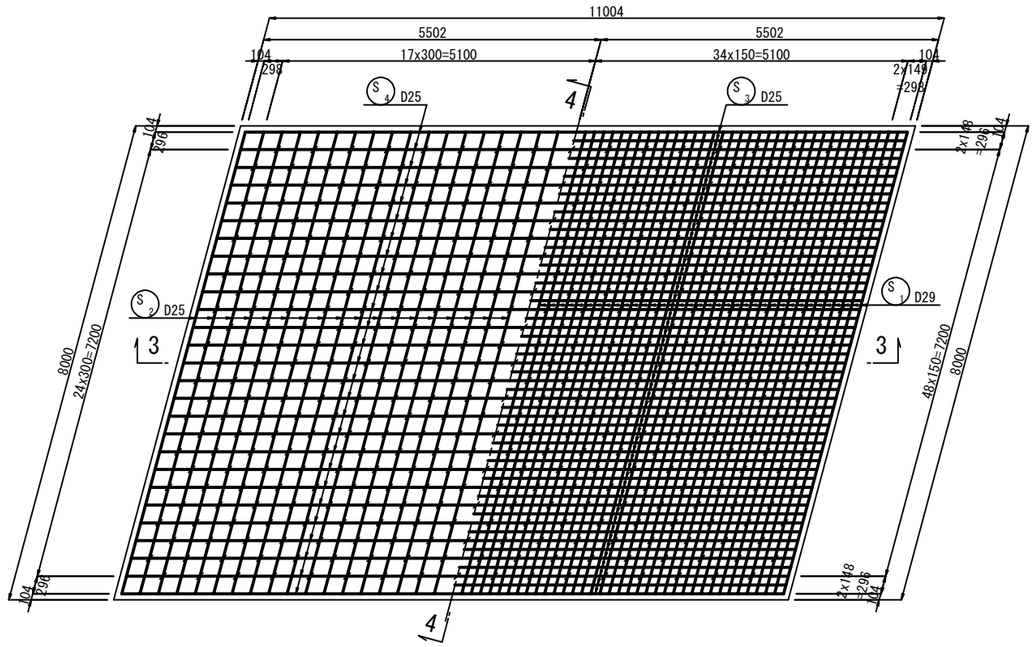
平面図



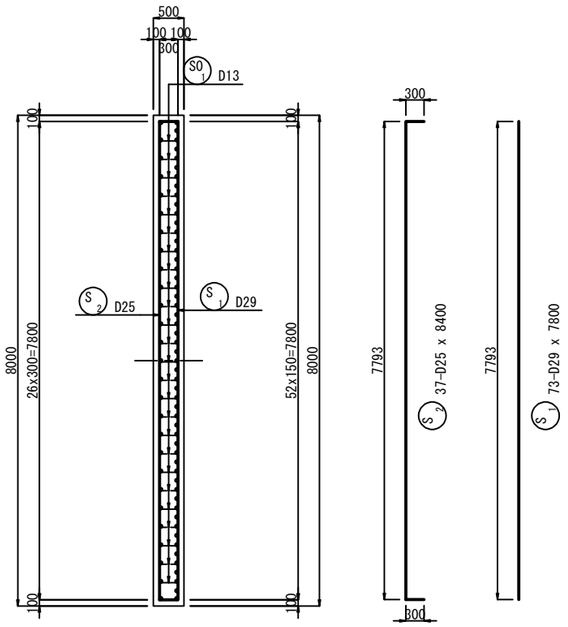
受台部詳細図 S=1:30



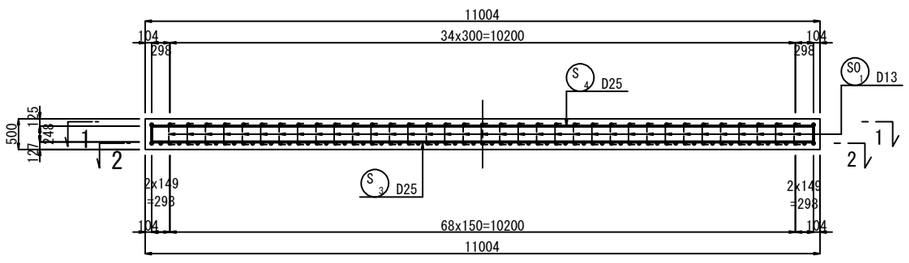
1-1(上面)　　2-2(下面)

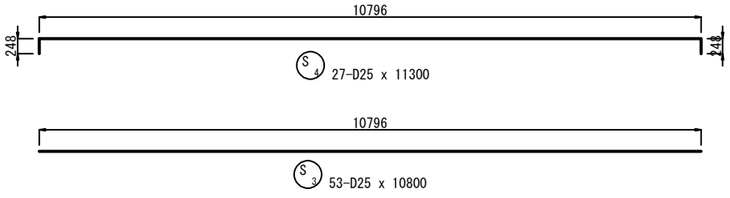


4-4



3-3





鉄筋表

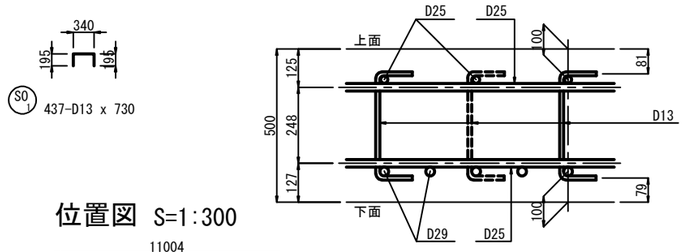
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
S 1	D29	7 800	73	5.04	39.31	2 870	—
					小計	2 870 kg	
S 2	D25	8 400	37	3.98	33.43	1 237	⌐
3	D25	10 800	53	3.98	42.98	2 278	—
4	D25	11 300	27	3.98	44.97	1 214	⌐
					小計	4 729 kg	
S 5	D10	960	22	0.560	0.54	12	≈
					小計	12 kg	
S0 1	D13	730	437	0.995	0.73	319	⌐
					小計	319 kg	

鉄筋質量合計		
D29	2 870	kg
D25	4 729	kg
D13	319	kg
D10	12	kg
総合計	7 930	kg

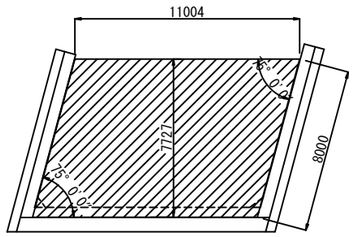
材料表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/m)	質量 (kg/m)	摘要
パイプ	φ40	200	22	3.89	0.78	17	SGP
プレート	φ60	t=3.2	22	22.20	0.07	2	キャップ
					合計	19 kg	
充填材	π/4x(0.040²x0.200-0.022²x0.015)x22x1530kg/m³					8.27 kg	ﾏｽﾃﾃｯｸ型歴青質
支承	200x200x20, n=21					0.84 m2	ゴム(SBR)
目地	t=20(受台部)					4.68 m2	歴青繊維質
目地	t=20(パラペット部)					5.52 m2	歴青繊維質
目地	t=20(ウィング部)					8.00 m2	歴青繊維質

かぶり詳細図 S=1:20



位置図 S=1:300

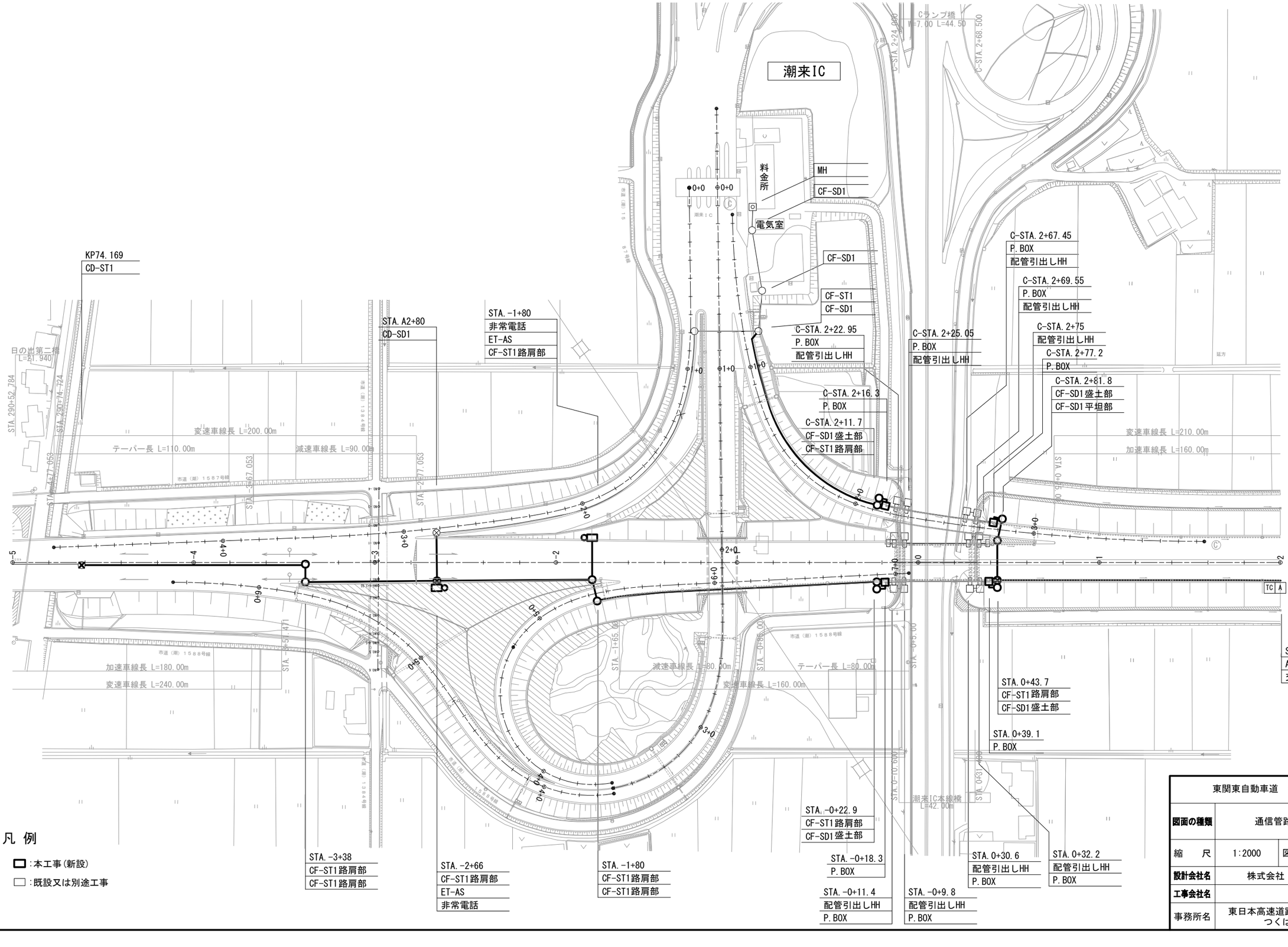


東関東自動車道 潮来舗装工事	
図面の種類	踏掛版詳細図(19)
縮尺	図示
図面番号	31 ／ 66
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図 (1-1) S=1:2000

潮来インターチェンジ L=876.471m



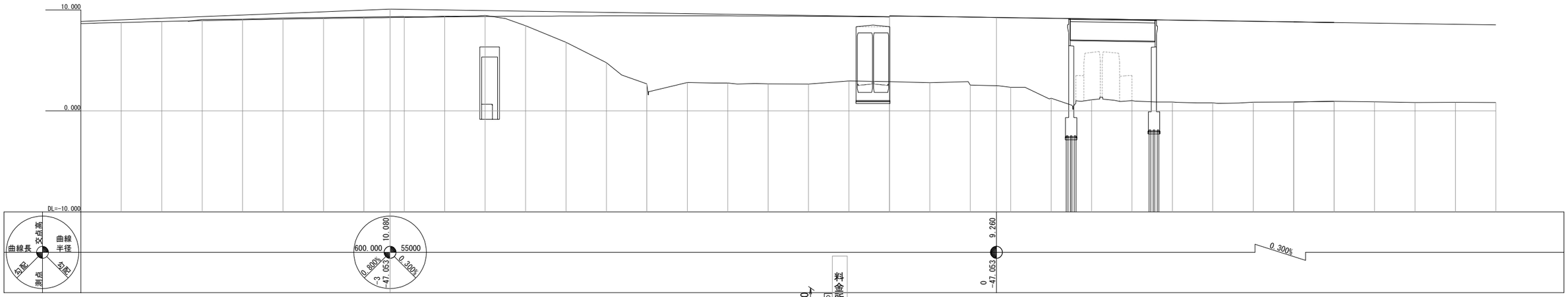
凡 例

- ■ :本工事(新設)
- □ :既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図 (1-1)		
縮　尺	1:2000	図面番号	32 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図 (1-2) S=1:2000



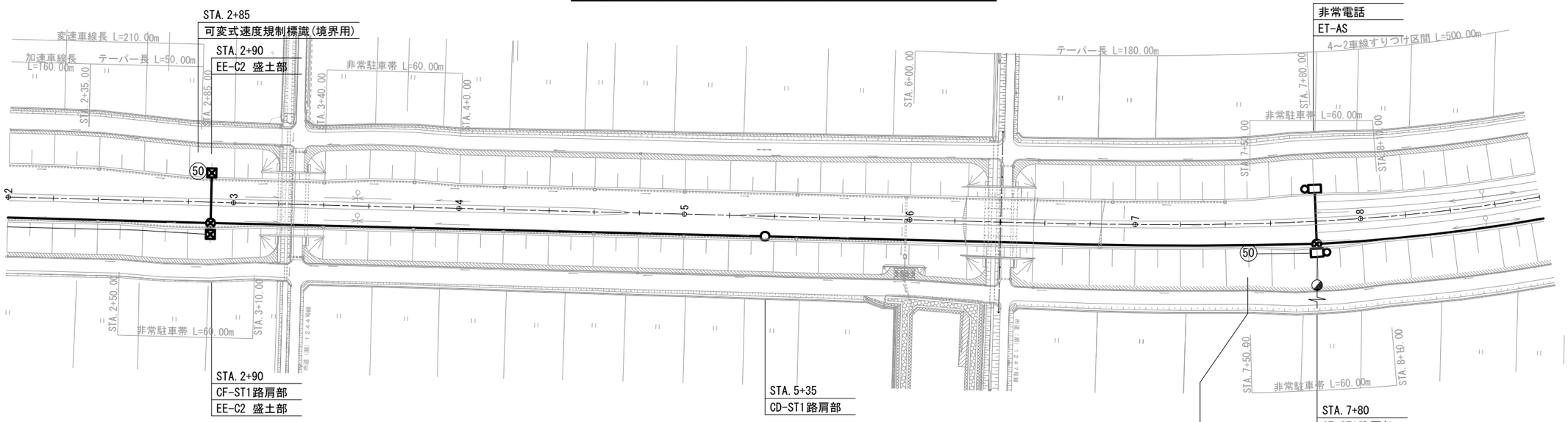
凡 例

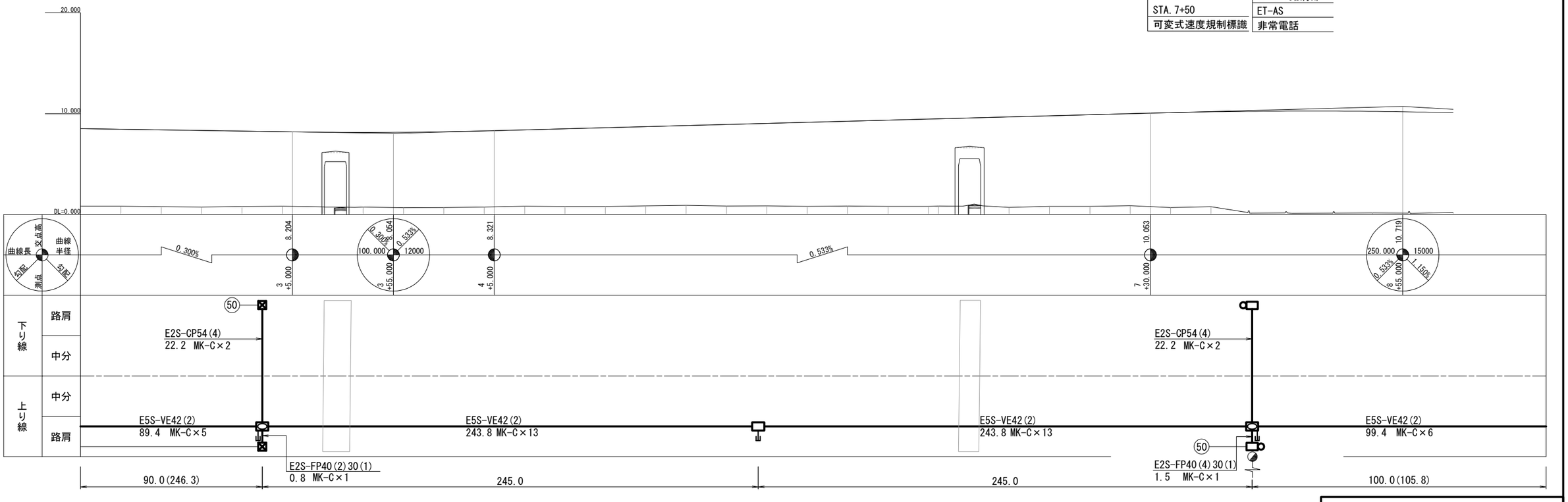
- ■ :本工事(新設)
- □ :既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図 (1-2)		
縮　尺	1:2000	図面番号	33 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図 (2) S=1:2000





凡 例

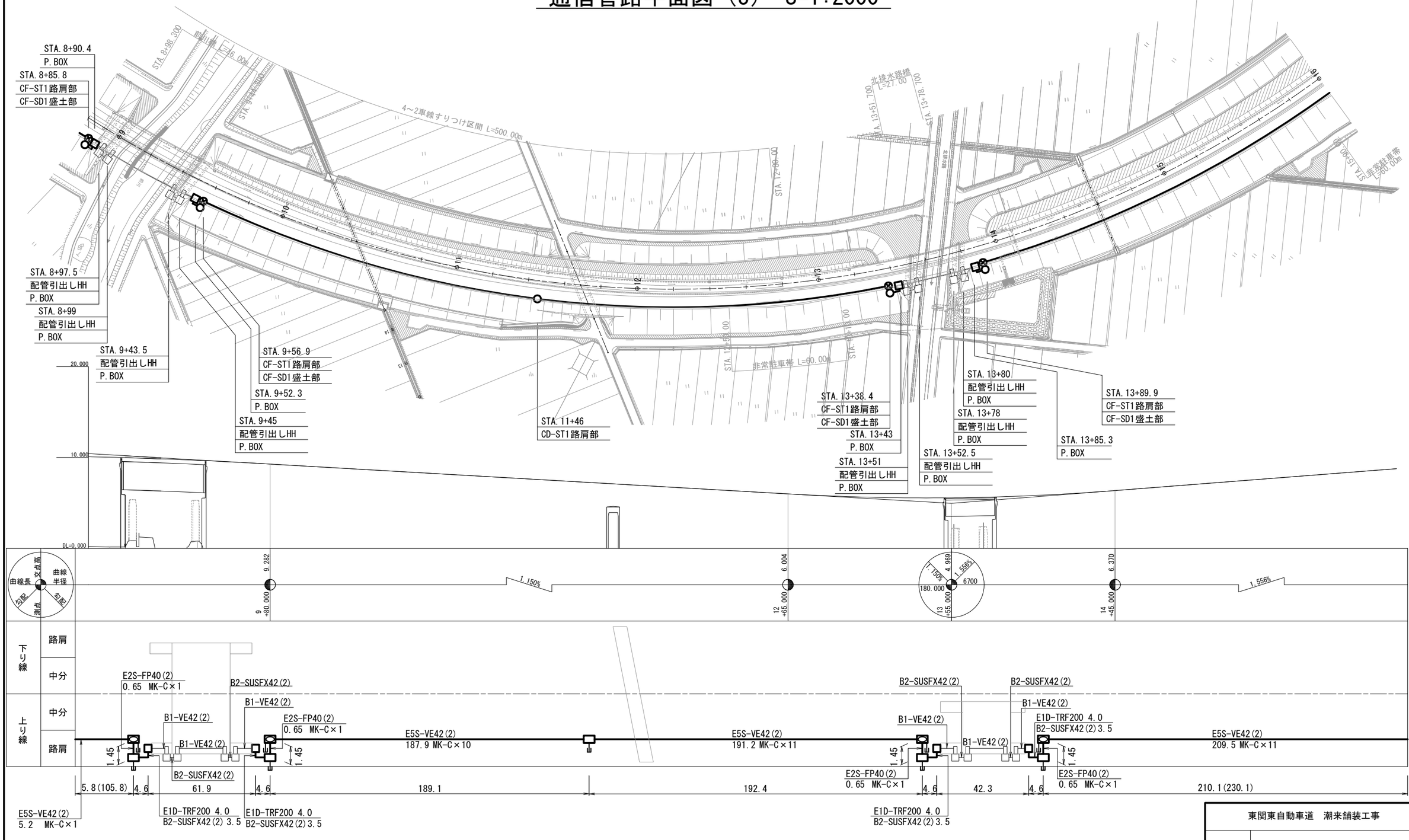
▭ :本工事(新設)

▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図 (2)		
縮 尺	1:2000	図面番号	34 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（3） S=1:2000



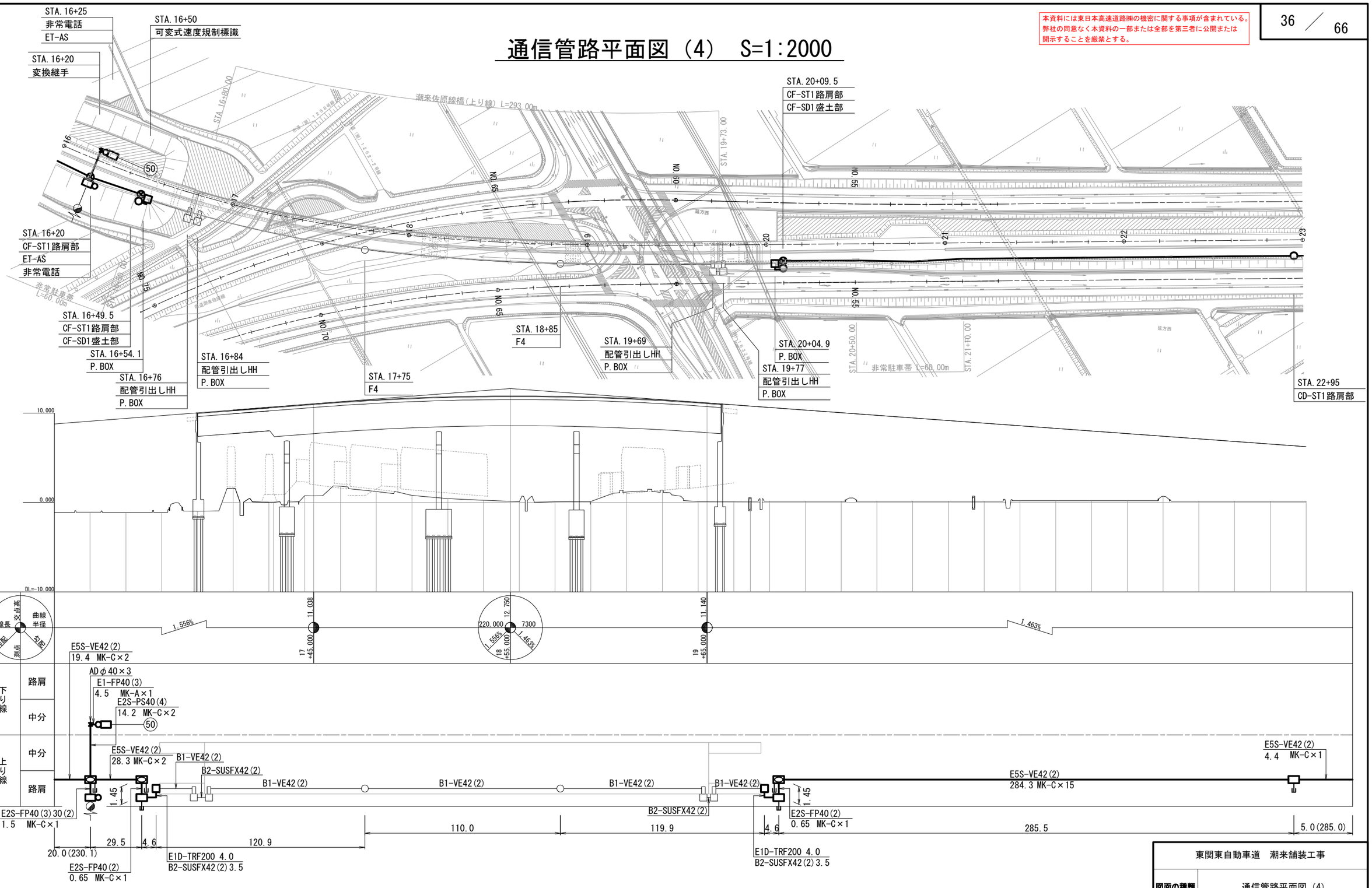
凡 例

- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（3）		
縮　尺	1:2000	図面番号	35 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（4） S=1:2000



凡 例

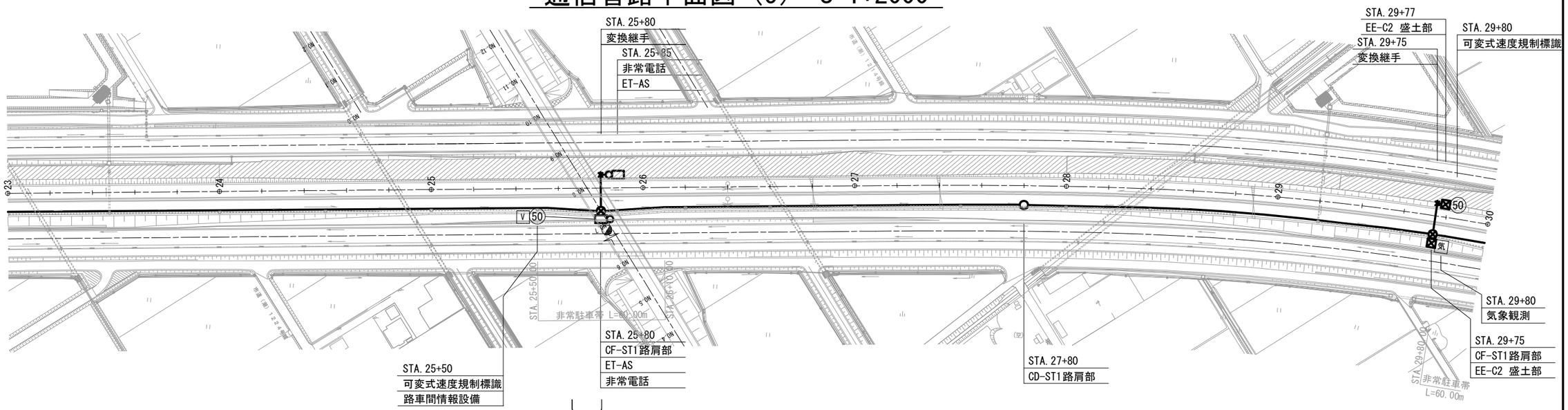
□ :本工事（新設）

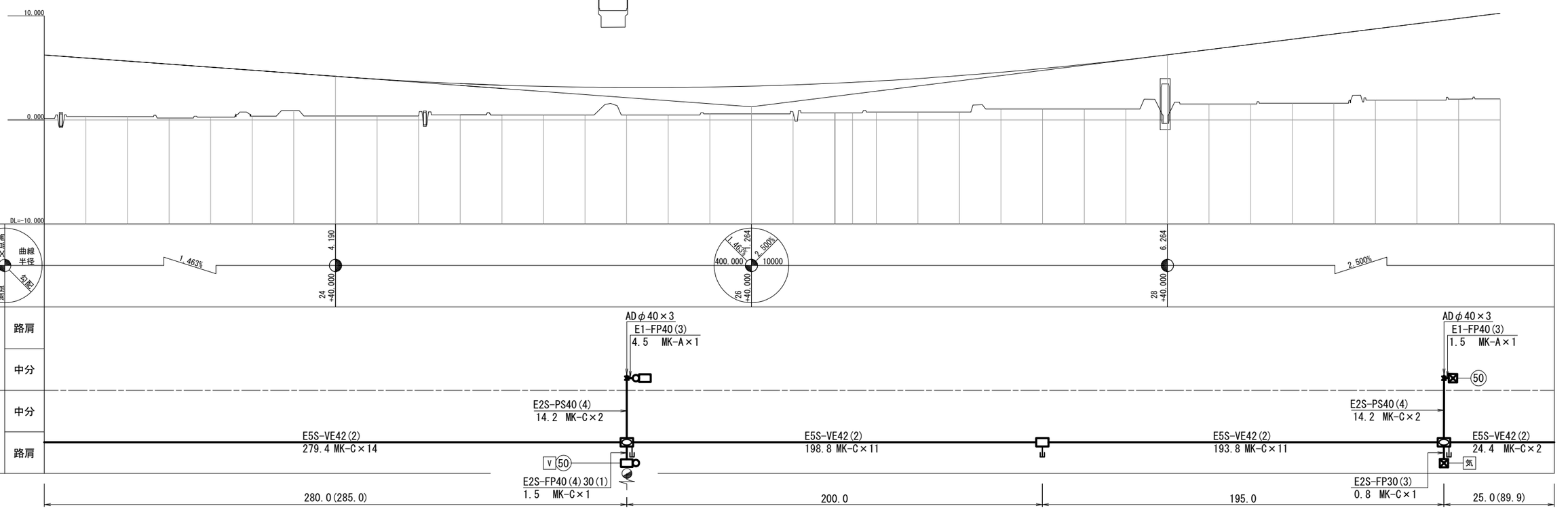
□ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（4）		
縮 尺	1:2000	図面番号	36 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（5） S=1:2000





凡 例

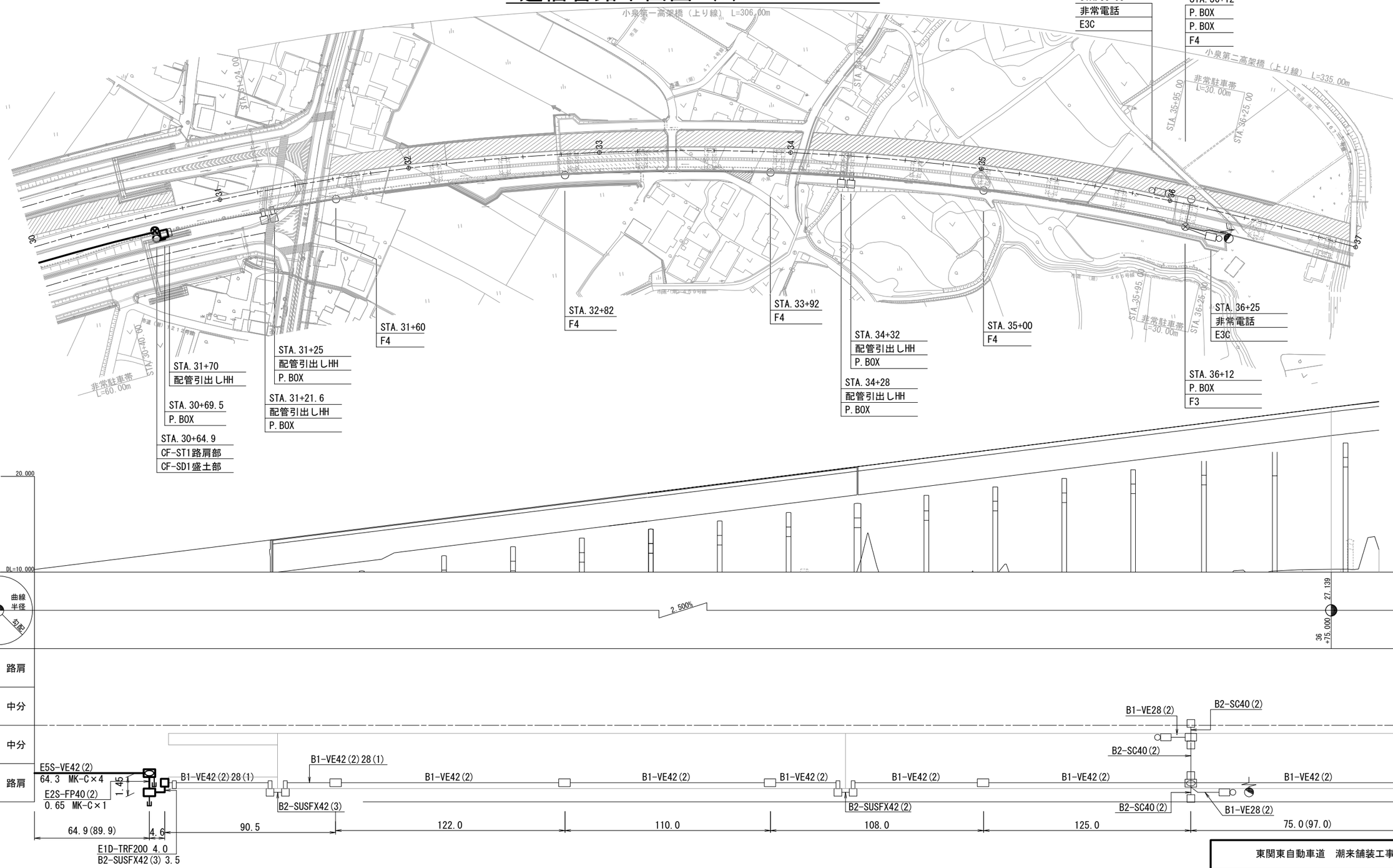
▭ :本工事(新設)

▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（5）		
縮 尺	1:2000	図面番号	37 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（6） S=1:2000



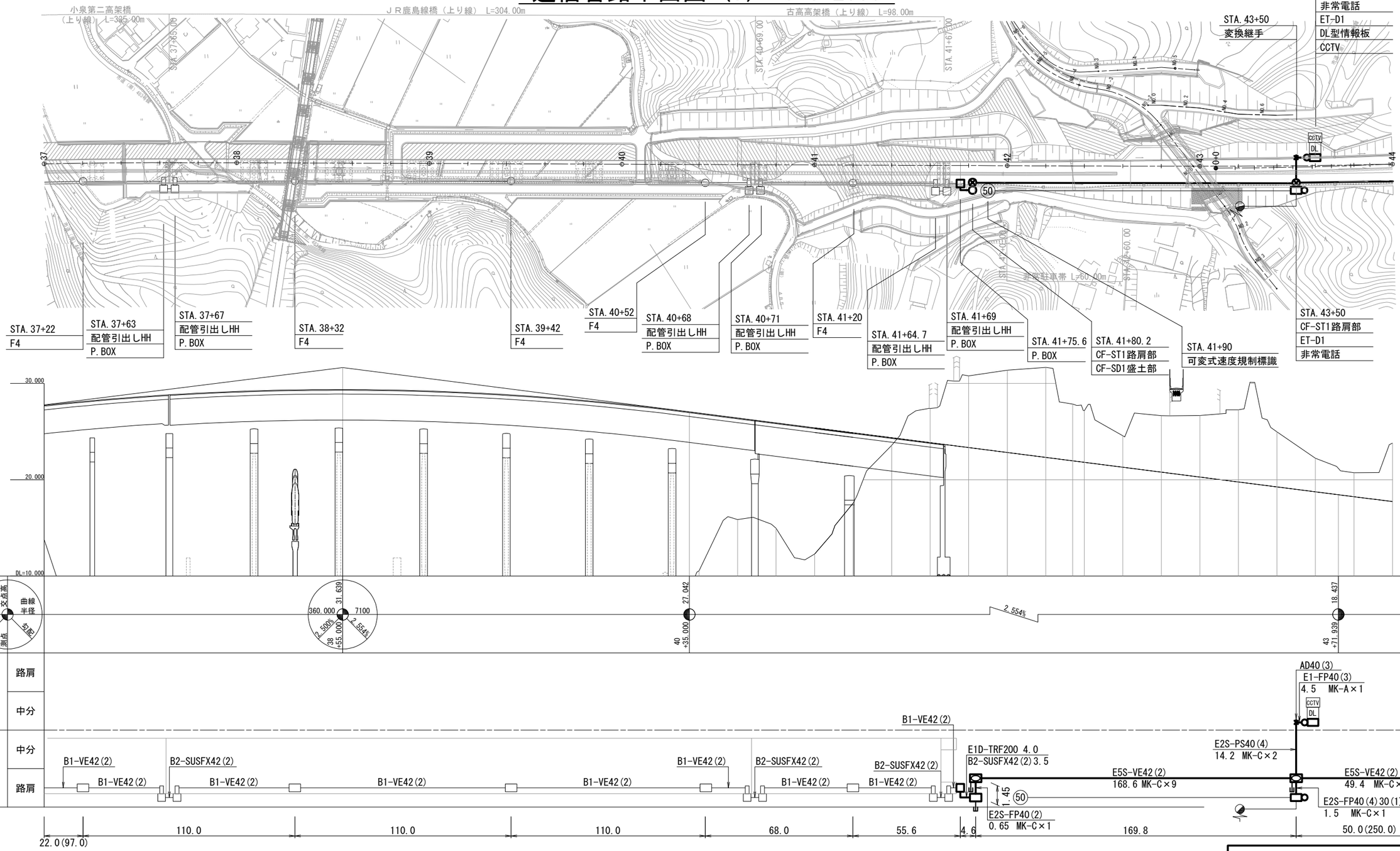
凡 例

- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（6）		
縮　尺	1:2000	図面番号	38 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（7） S=1:2000



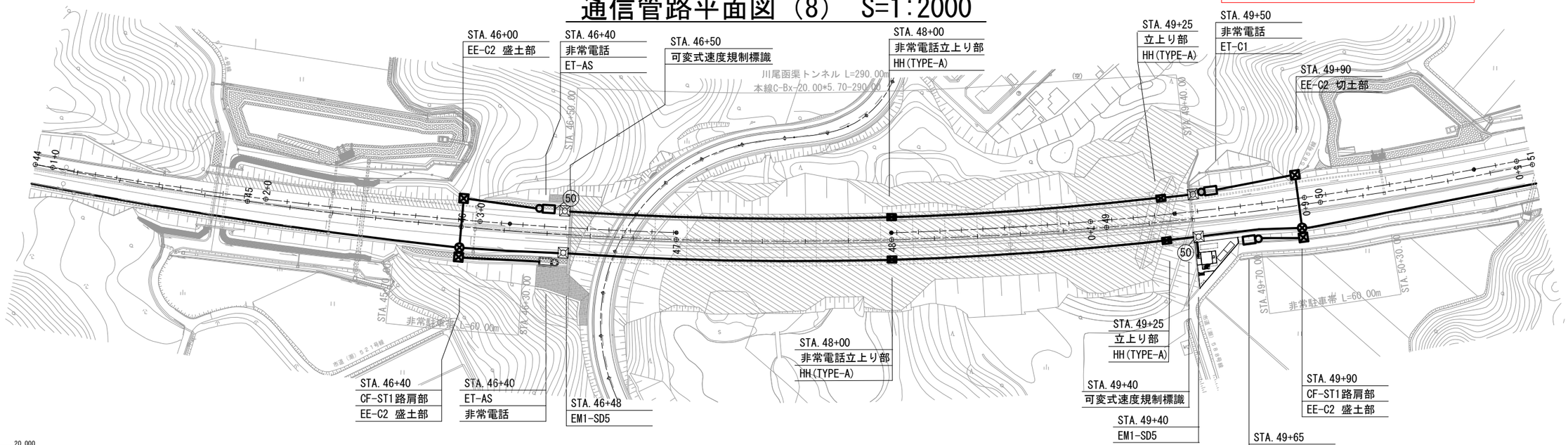
凡 例

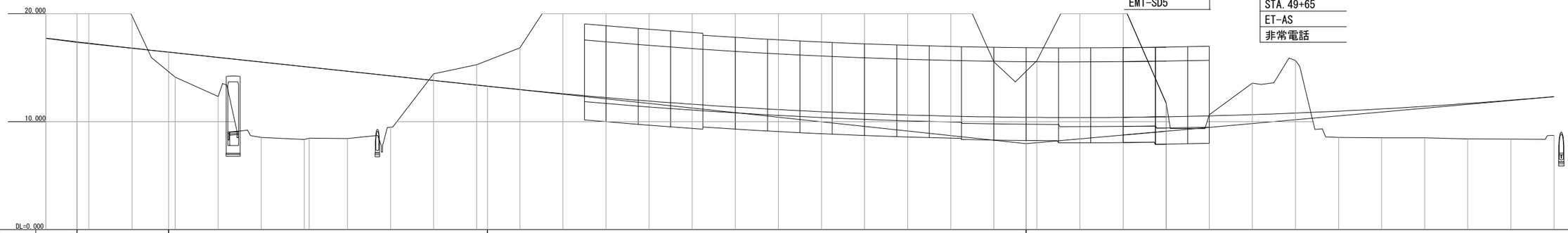
- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（7）		
縮　尺	1:2000	図面番号	39 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（8） S=1:2000





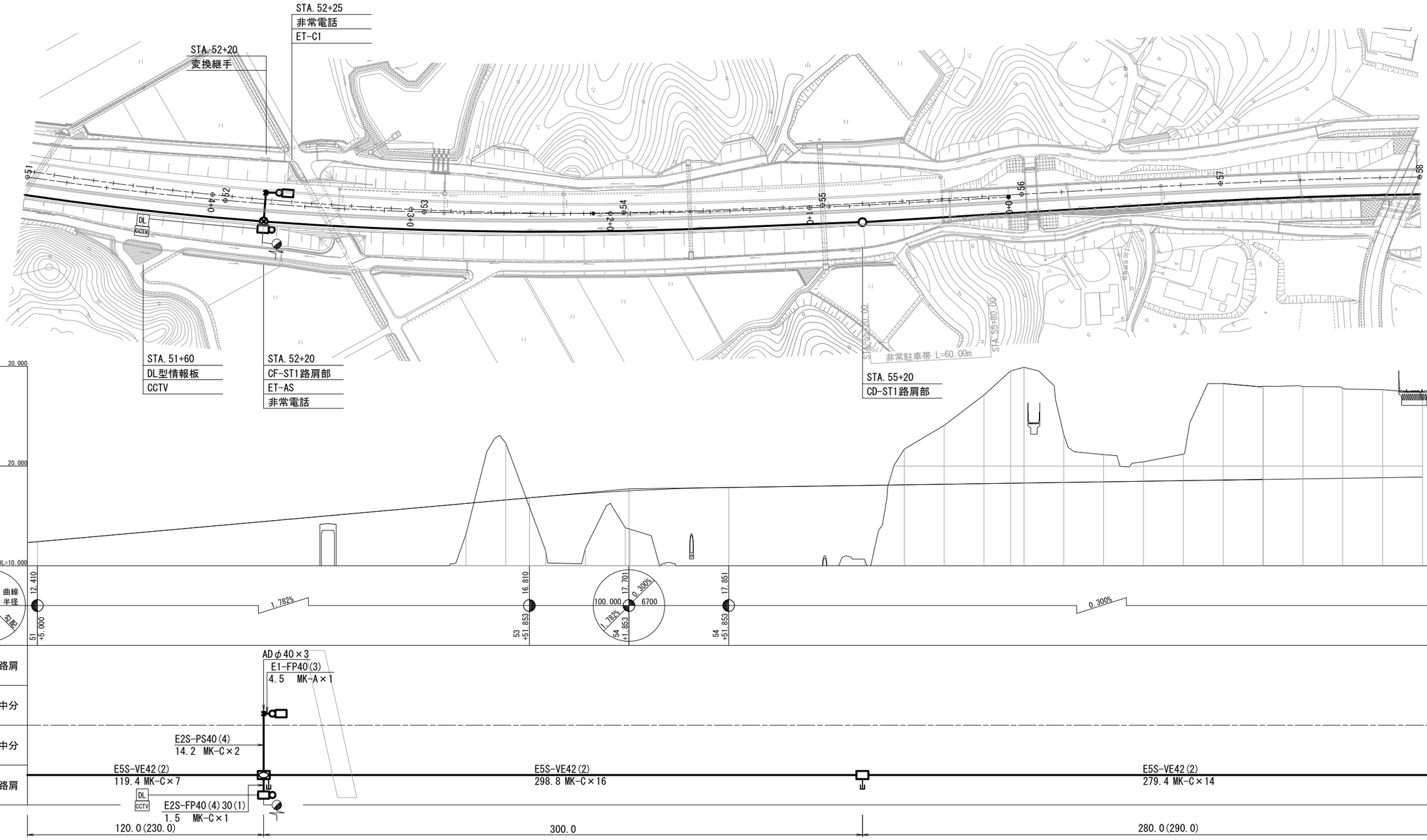
凡 例

- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（8）		
縮　尺	1:2000	図面番号	40 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（9） S=1:2000



凡 例

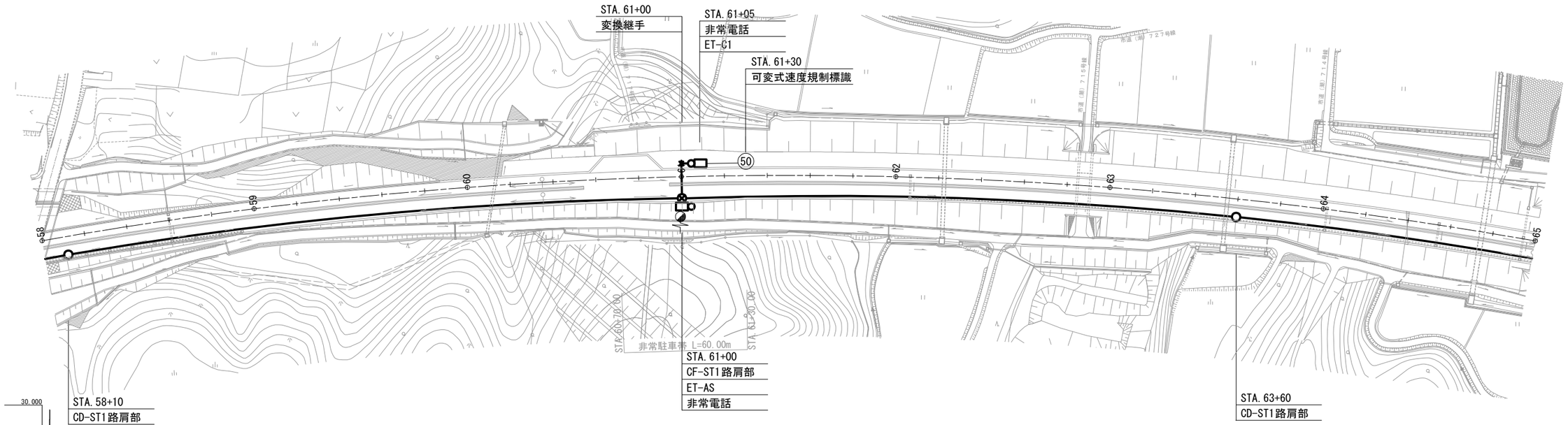
▭ :本工事(新設)

▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（9）		
縮 尺	1:2000	図面番号	41 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（10） S=1:2000



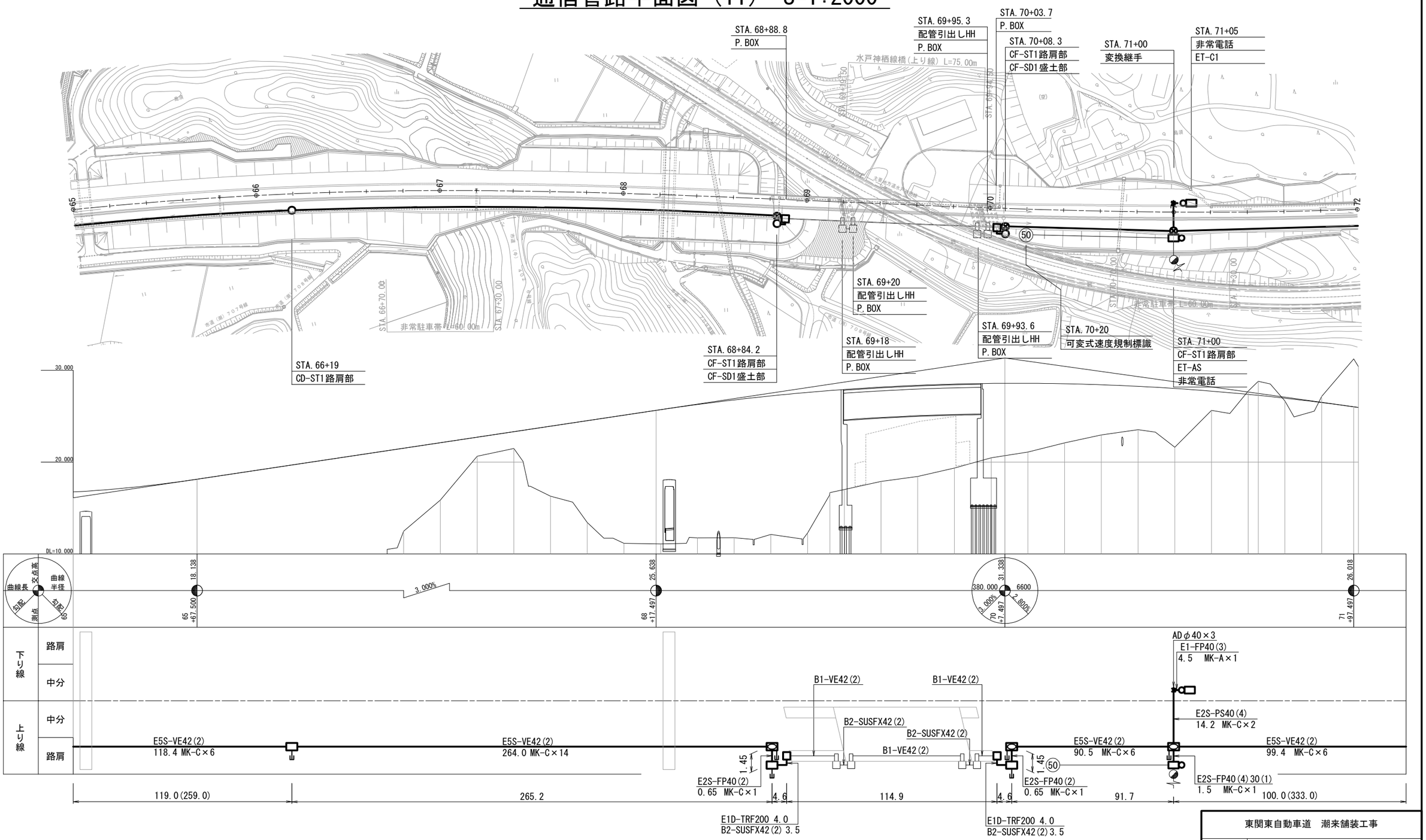
凡 例

- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（10）		
縮 尺	1:2000	図面番号	42 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（11） S=1:2000



凡 例

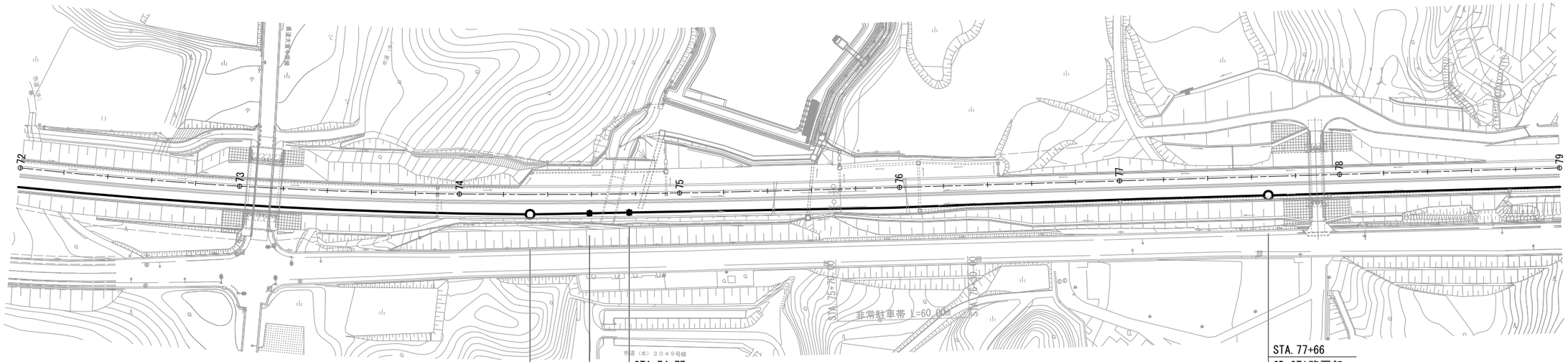
：本工事(新設)

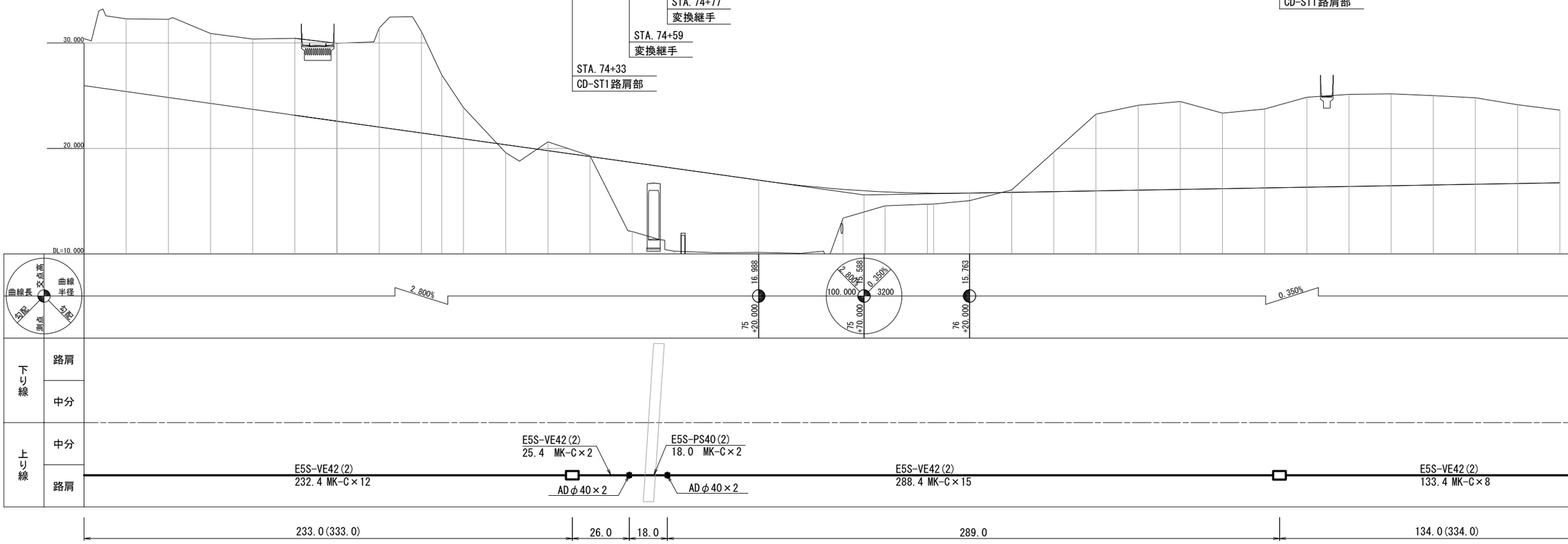
：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（11）		
縮　尺	1:2000	図面番号	43 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（12） S=1:2000





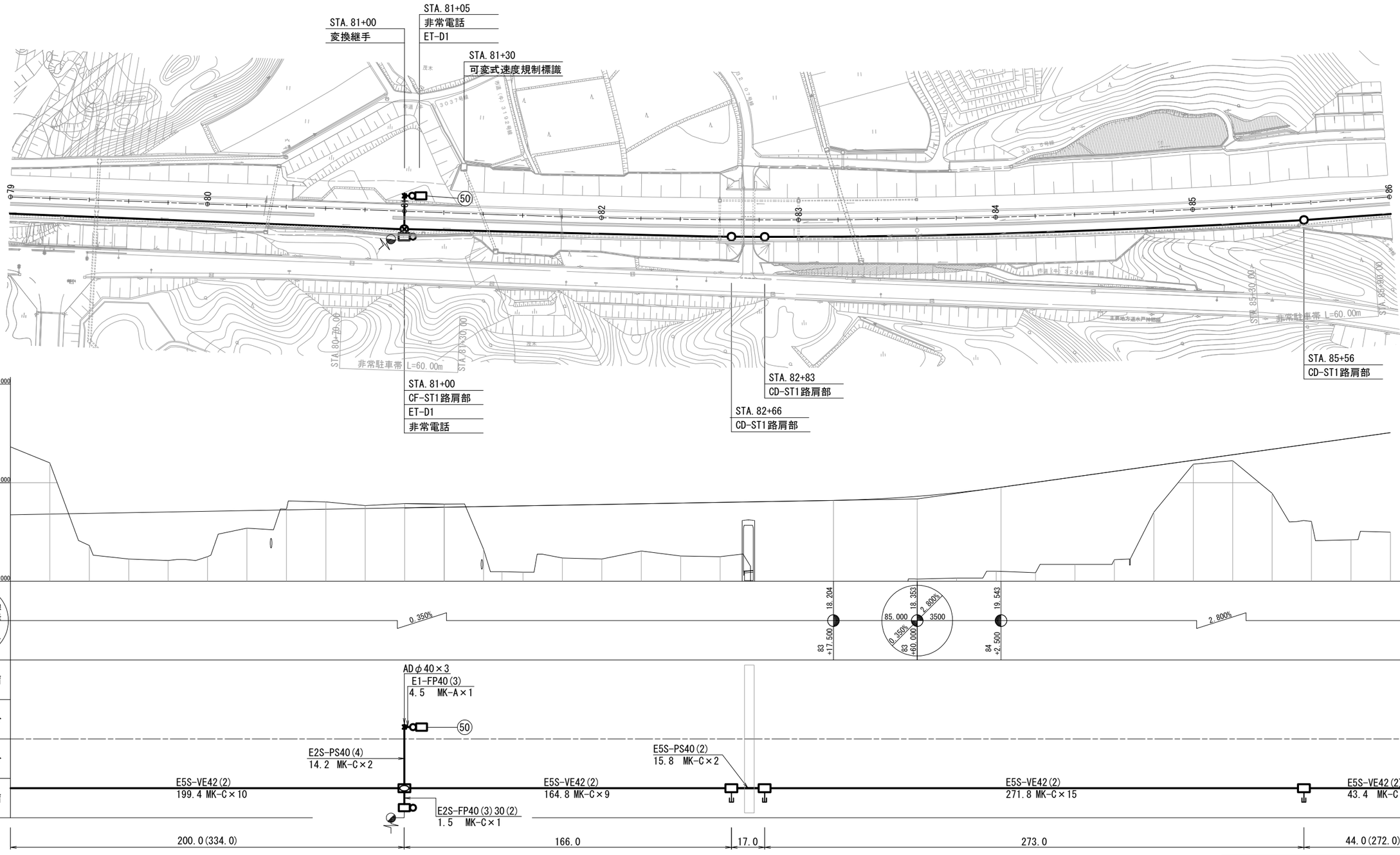
凡 例

- ▭ :本工事(新設)
- ▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（12）		
縮　尺	1:2000	図面番号	44 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（13） S=1:2000



凡 例

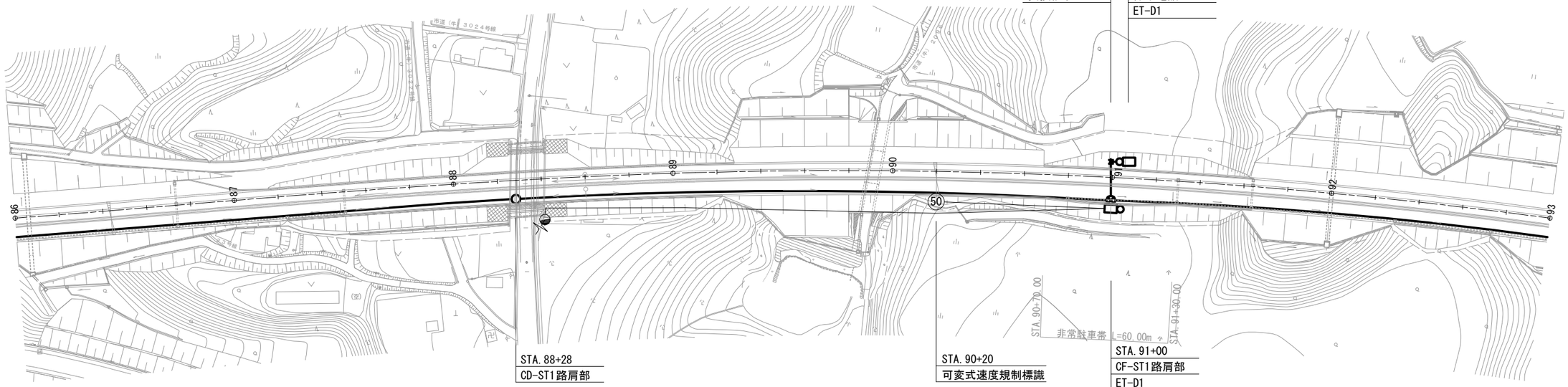
■ :本工事(新設)

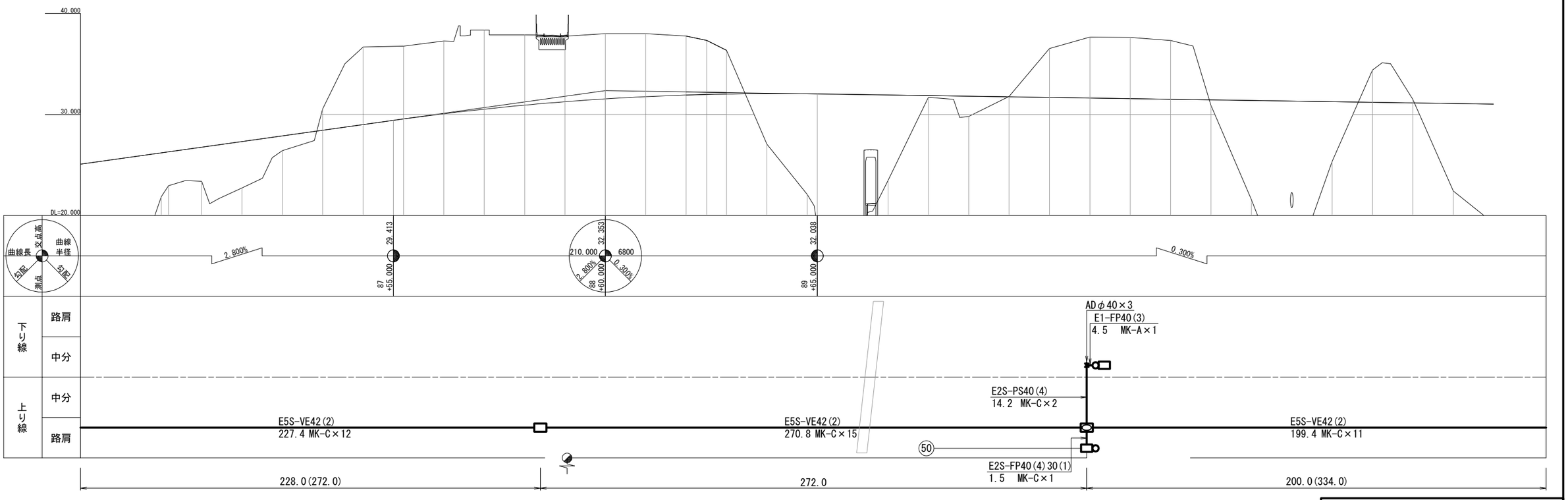
□ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（13）		
縮 尺	1:2000	図面番号	45 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（14） S=1:2000





凡 例

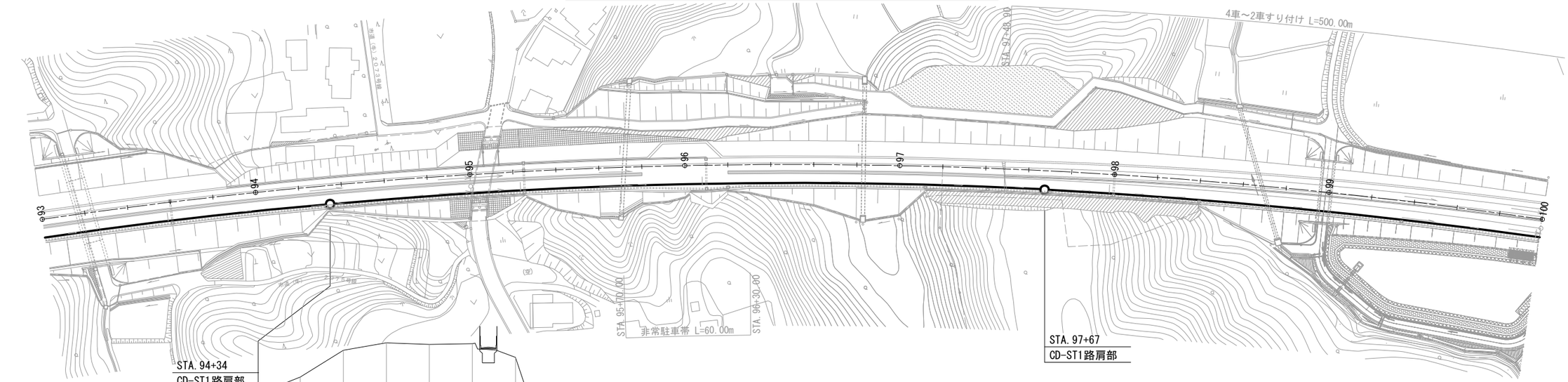
▭ :本工事(新設)

▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（14）		
縮 尺	1:2000	図面番号	46 / 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（15） S=1:2000



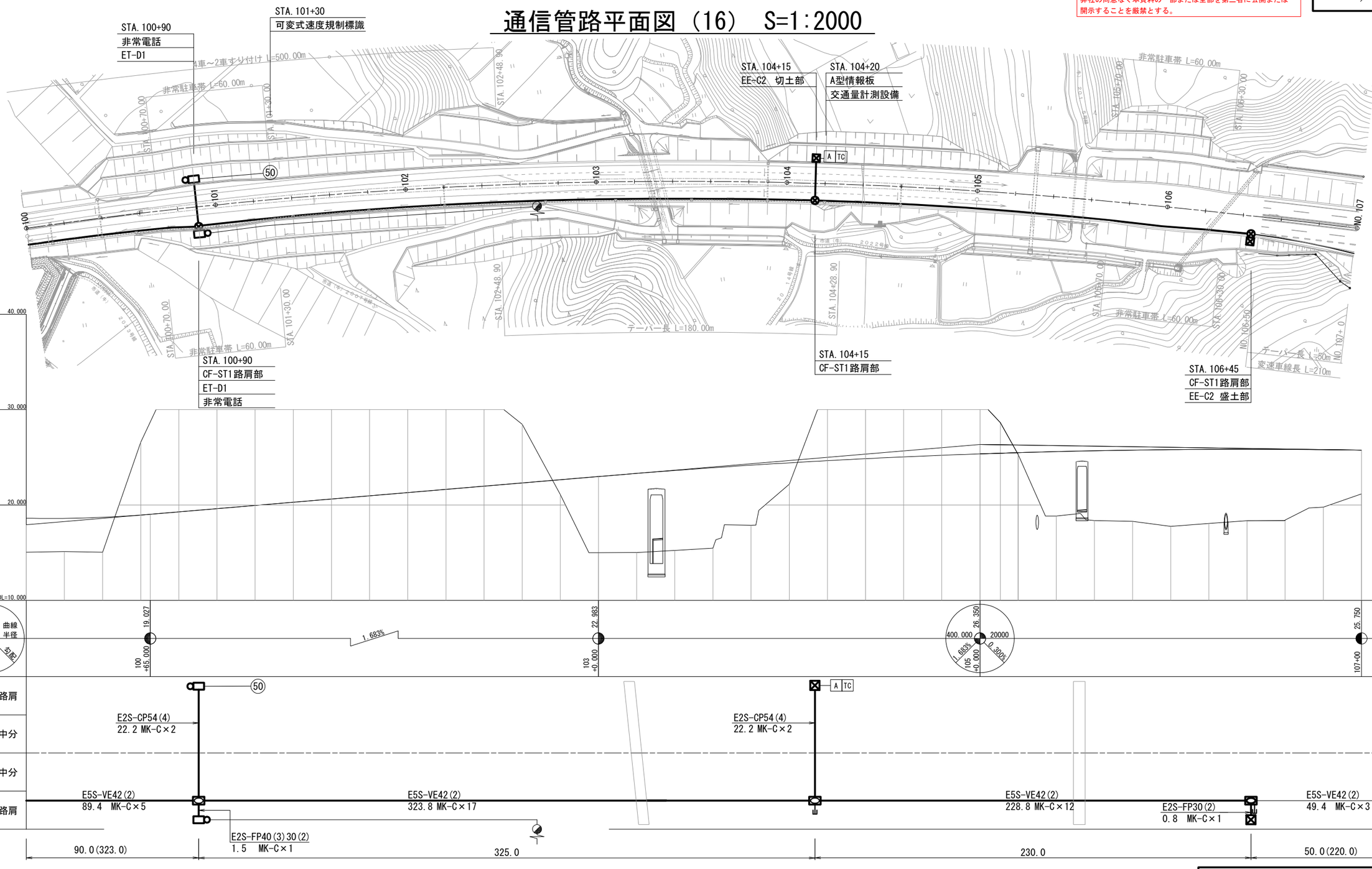
凡 例

- ▭ :本工事(新設)
- ▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（15）		
縮　尺	1:2000	図面番号	47 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

通信管路平面図（16） S=1:2000



凡 例

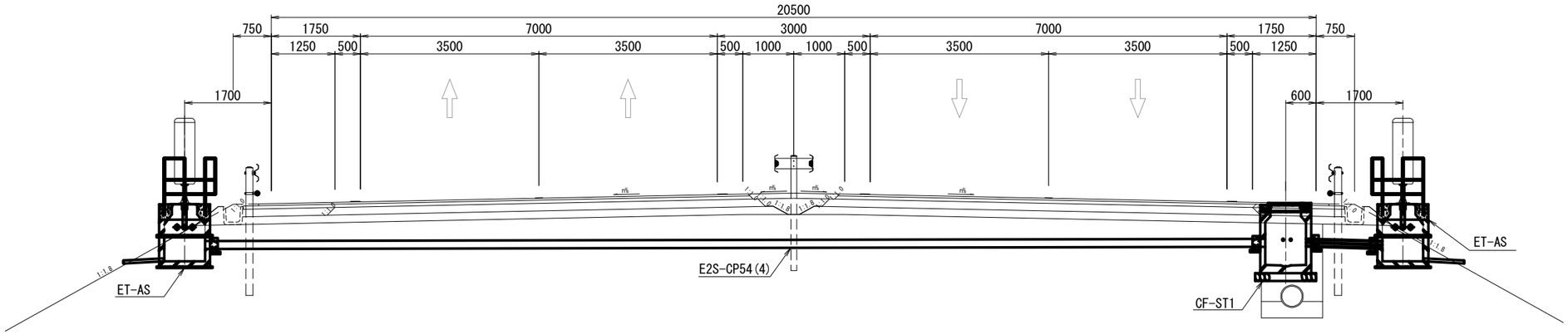
- ：本工事（新設）
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図（16）		
縮 尺	1:2000	図面番号	48 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

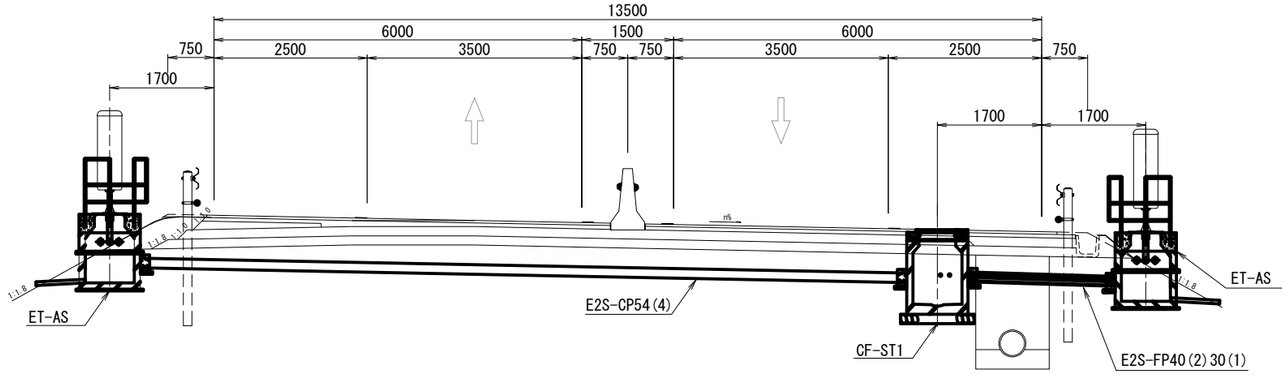
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

標準横断図(1) S=1:100
（盛土部）

完成4車線



暫定2車線



凡 例

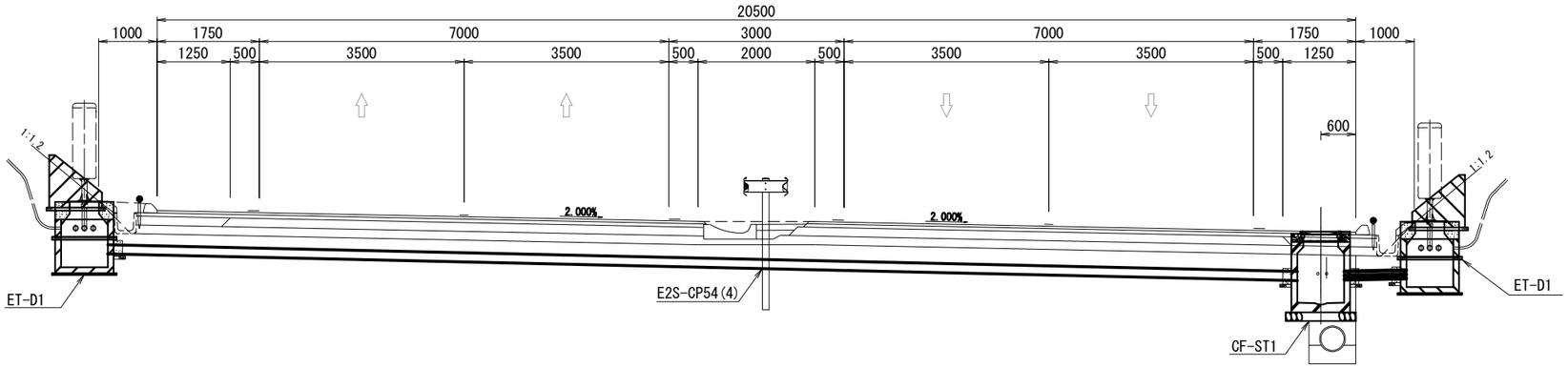
- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	標準横断図(1) (盛土部)		
縮　尺	1:100	図面番号	49 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

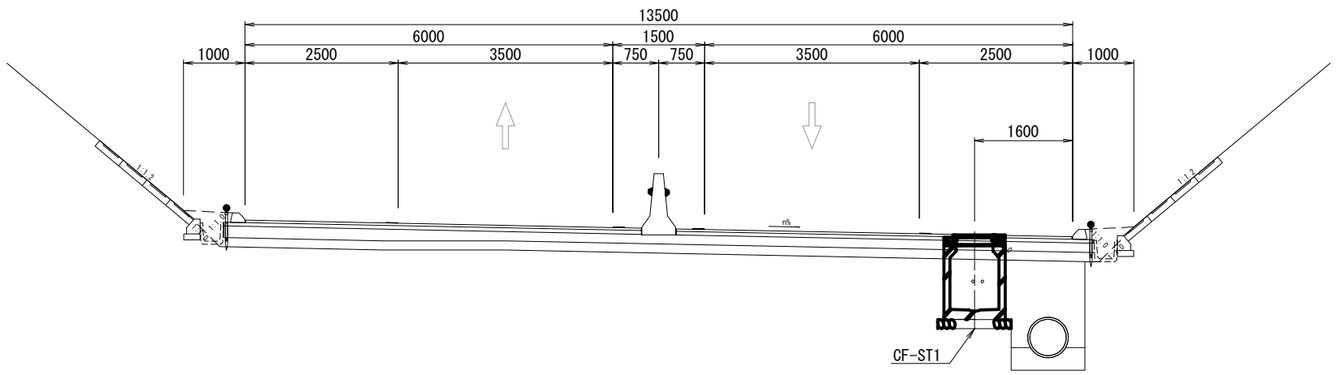
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

標準横断図(2) S=1:100
（切土部）

完成4車線



暫定2車線



凡 例

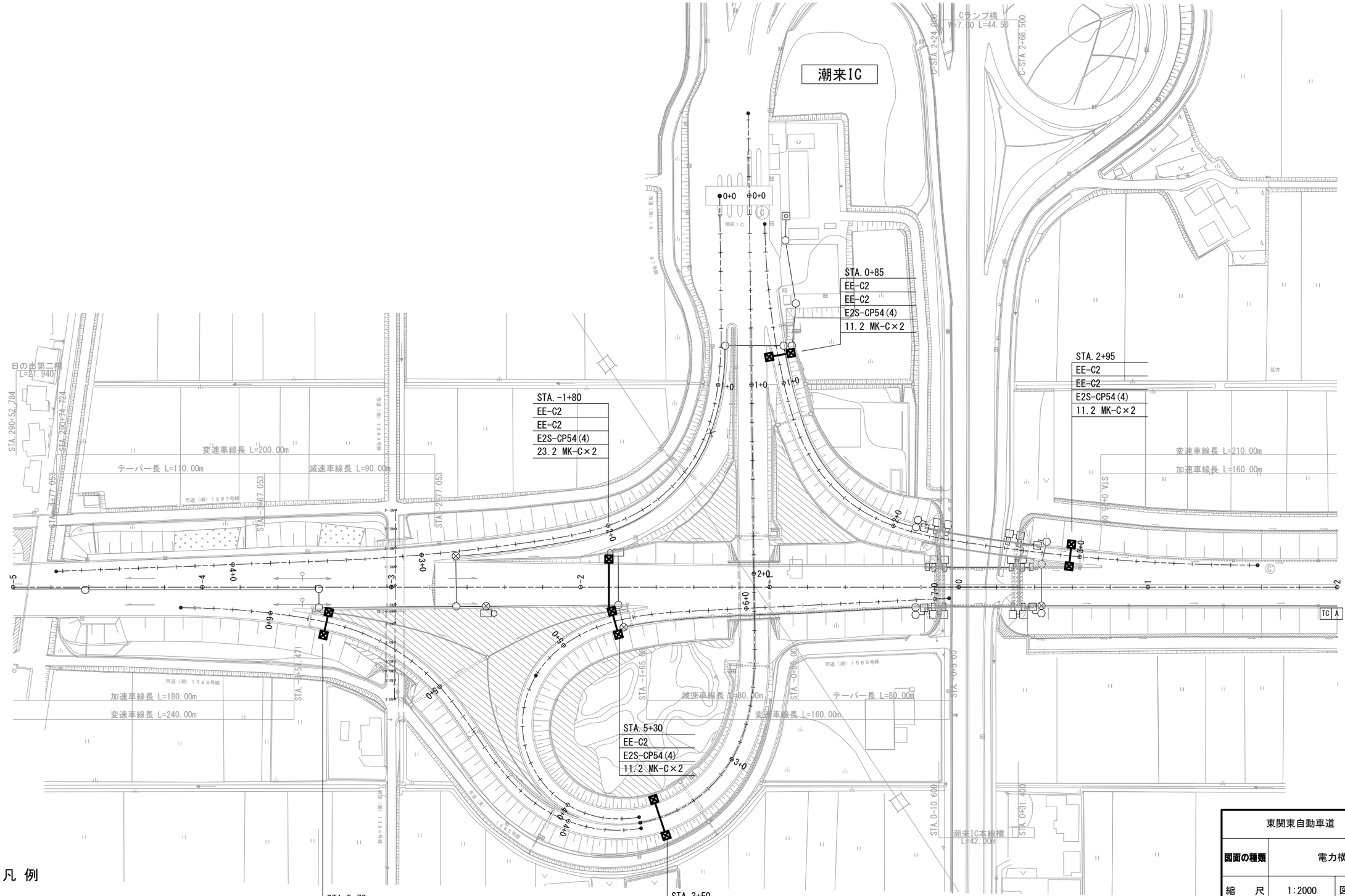
- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	標準横断図(2) (切土部)		
縮　尺	1:100	図面番号	50 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

電力横断管路図(1) S=1:2000

潮来インターチェンジ L=876.471m



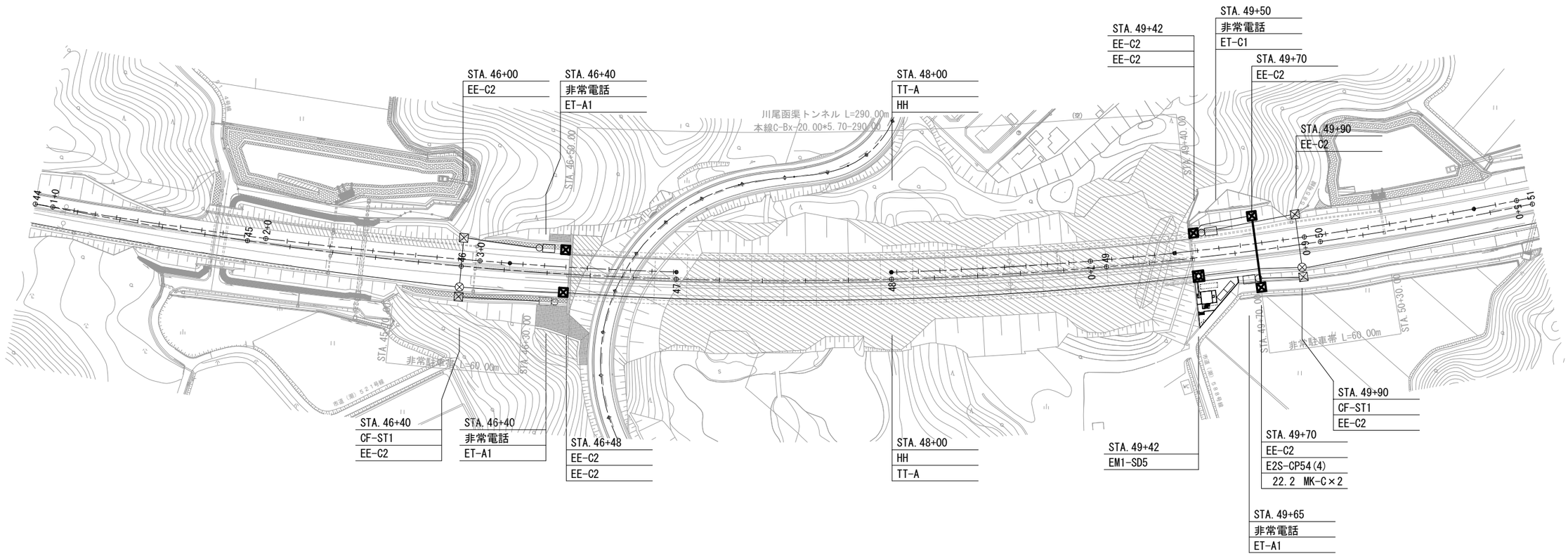
凡 例

- ：本工事(新設)
- ：既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	電力横断管路図(1)		
縮　尺	1:2000	図面番号	51 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

電力横断管路図(2) S=1:2000



凡 例

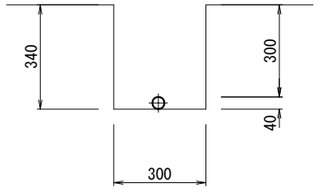
- ▭ :本工事(新設)
- ▭ :既設又は別途工事

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	電力横断管路図(2)		
縮　尺	1:2000	図面番号	52 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

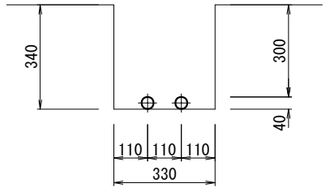
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

配管図(1) S=1:20

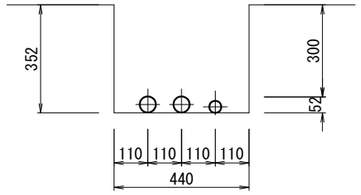
E1-FP30(1)



E1-FP30(2)



E1-FP40(3)

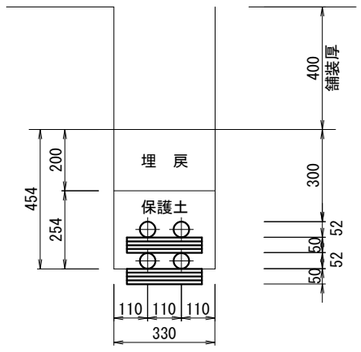


管路掘削諸量

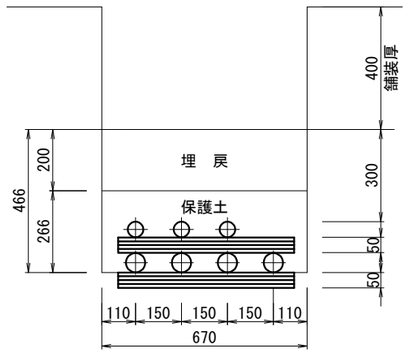
（1m当り）

管路種別	掘削 (m³)	敷砂 (m³)	保護土 (m³)	埋戻し (m³)	残土処理 (m³)	枕木 (m)	備 考
E1-FP30(1)	0.102			0.102			
E1-FP30(2)	0.112			0.112			
E1-FP40(3)	0.155			0.155			
E2S-PS40(4)	0.150		0.084	0.066	0.066	0.164	
E2S-PS50(4)40(3)	0.312		0.173	0.134	0.134	0.574	
E2S-FP30(2)	0.129	0.017	0.046	0.066	0.046		
E2S-FP30(3)	0.172	0.022	0.062	0.088	0.062		
E2S-FP40(2)	0.133	0.017	0.050	0.066	0.050		
E2S-FP40(2)30(1)	0.177	0.022	0.067	0.022	0.067		

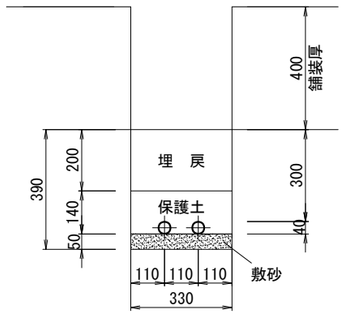
E2S-PS40(4)



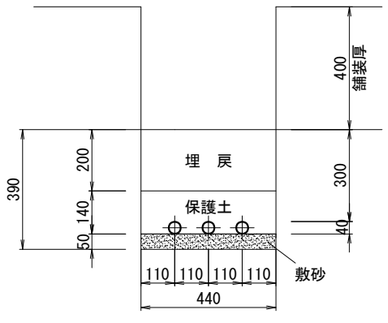
E2S-PS50(4)40(3)



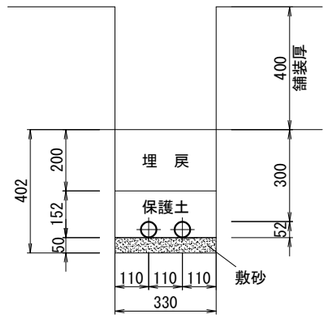
E2S-FP30(2)



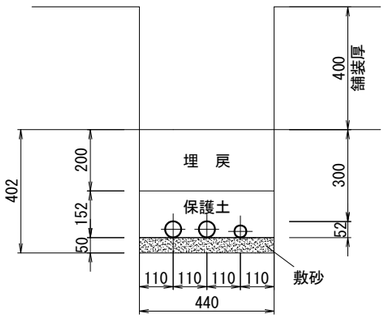
E2S-FP30(3)



E2S-FP40(2)



E2S-FP40(2)30(1)

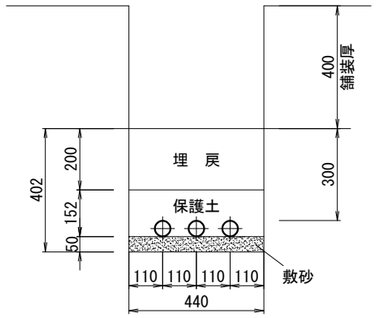


東関東自動車道　潮来舗装工事				
図面の種類	配管図(1)			
縮　尺	1:20	図面番号	53 ／ 66	
設計会社名	株式会社 ジェイファスト			
工事会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所			

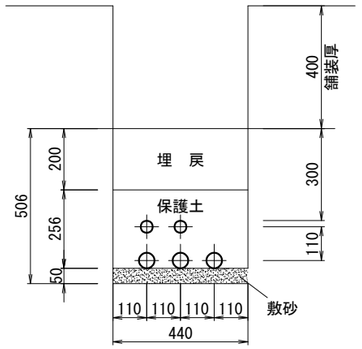
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

配管図(2) S=1:20

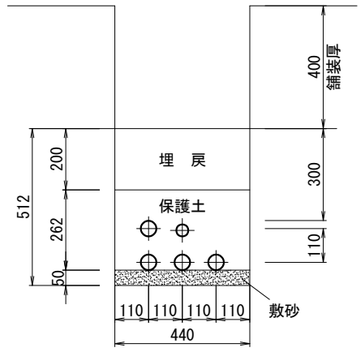
E2S-FP40(3)



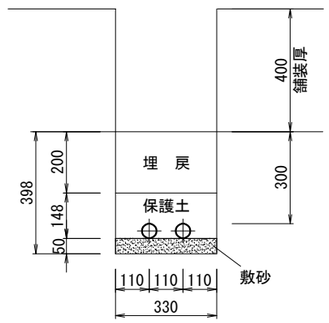
E2S-FP40(3)30(2)



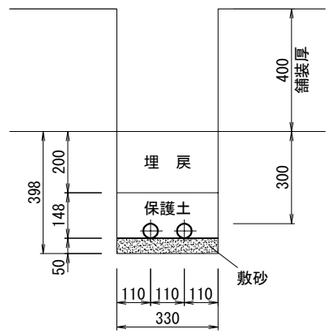
E2S-FP40(4)30(1)



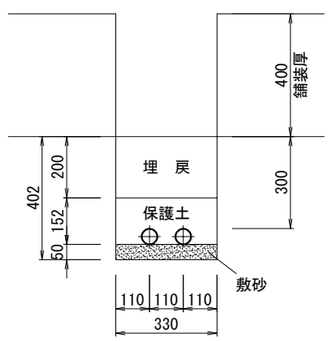
E3S-VE42(2)



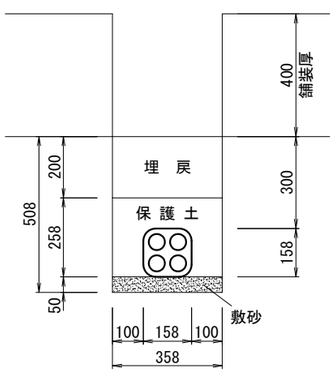
E5S-VE42(2)



E5S-PS40(2)



E2S-CP54(4)



管路掘削諸量

(1m当り)

管路種別	掘削 (m³)	敷砂 (m³)	保護土 (m³)	埋戻し (m³)	残土処理 (m³)	枕木 (m)	備 考
E2S-FP40(3)	0.177	0.022	0.067	0.022	0.067		
E2S-FP40(3)30(2)	0.223	0.022	0.113	0.088	0.113		
E2S-FP40(4)30(1)	0.225	0.022	0.115	0.088	0.115		
E3S-VE42(2)	0.207	0.019	0.115	0.074	0.133		
E5S-VE42(2)	0.131	0.017	0.049	0.066	0.065		
E5S-PS40(2)	0.133	0.017	0.502	0.066	0.067		
E2S-CP54(4)	0.182	0.018	0.067	0.072	0.110		

記事

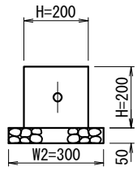
1.CP管接続はパッキン介在ボルト締めとする。

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	配管図(2)		
縮　尺	1:20	図面番号	54 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

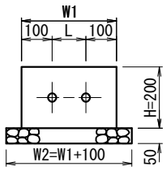
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

管路付帯工(1) S=1:20

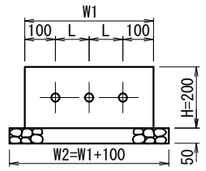
管路ダクトロ(1)



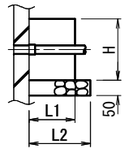
管路ダクトロ(2)



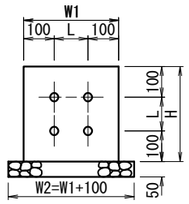
管路ダクトロ(3)



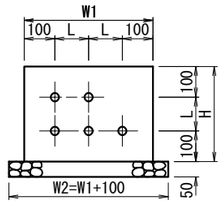
側面図



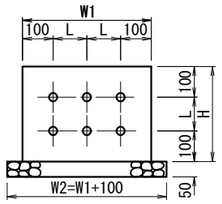
管路ダクトロ(4)



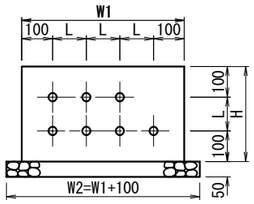
管路ダクトロ(5)



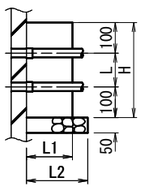
管路ダクトロ(7)



管路ダクトロ(5)



側面図



管路付帯工ダクトロ諸量

管　種　別	L1 (m)	L2 (m)	W1 (m)	W2 (m)	H (m)	コンクリート(m³) W1×L1×H	切込砕石(m³) W2×L2×0.05	型　枠(m²) (L1×2+W1)×H	ベルマウス(個) FP 30	FP 40	FP 50	VE 52	VE 42	PS 40	PS 50
FP30(1)	0.150	0.200	0.200	0.300	0.200	0.006	0.009	0.100	1						
FP30(2)	0.150	0.200	0.310	0.410	0.200	0.009	0.009	0.122	2						
FP30(3)	0.150	0.200	0.420	0.520	0.200	0.013	0.005	0.144	3						
FP40(2)	0.150	0.200	0.310	0.410	0.200	0.009	0.009	0.122		2					
FP40(2)30(1)	0.150	0.200	0.420	0.520	0.200	0.013	0.005	0.144	1	2					
FP40(3)	0.150	0.200	0.420	0.520	0.200	0.013	0.005	0.144		3					
FP40(3)30(2)	0.150	0.200	0.420	0.520	0.310	0.020	0.005	0.223	2	3					
FP40(4)30(1)	0.150	0.200	0.420	0.520	0.310	0.020	0.006	0.223	1	4					
VE42(2)	0.150	0.200	0.310	0.410	0.200	0.009	0.004	0.122					2		
PS40(2)	0.450	0.500	0.310	0.410	0.200	0.028	0.010	0.242						2	
PS40(4)	0.450	0.500	0.310	0.410	0.310	0.043	0.010	0.276						4	
PS50(4)40(3)	0.450	0.500	0.650	0.750	0.350	0.102	0.019	0.543						3	4

凡例

W1：コンクリート幅　(mm)
W2：砕石幅　(mm)
H　：コンクリート高さ　(mm)
L　：管間隔　(mm)
L1：コンクリート奥行き(mm)
L2：砕石奥行き　(mm)

記事

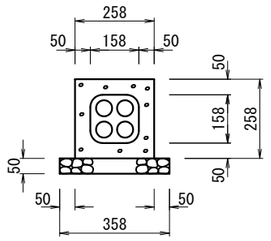
1. 管間隔(L)は、配管径50mm以上は150mmとし50mm未満は110mmピッチとする。
2. 管径の異なるものの同時布設の管間隔は、大きいほうの間隔とする。

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	管路付帯工(1)		
縮　尺	1:20	図面番号	55 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

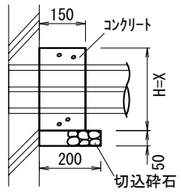
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

管路付帯工(2) S=1:20

多孔管ダクトロCP54(4)



側面図



管路付帯工ダクトロ諸量

管　　種　　別	L1 (m)	L2 (m)	W1 (m)	W2 (m)	H (m)	コンクリート(m³) W1×L1×H	切込砕石(m³) W2×L2×0.05	型　　枠(m²) (L1×2+W1)×H
CP54(4)						0.006	0.004	0.119

凡 例

W1：コンクリート幅　(mm)
W2：砕石幅　(mm)
H ：コンクリート高さ　(mm)
L ：管間隔　(mm)
L1：コンクリート奥行き(mm)
L2：砕石奥行き　(mm)

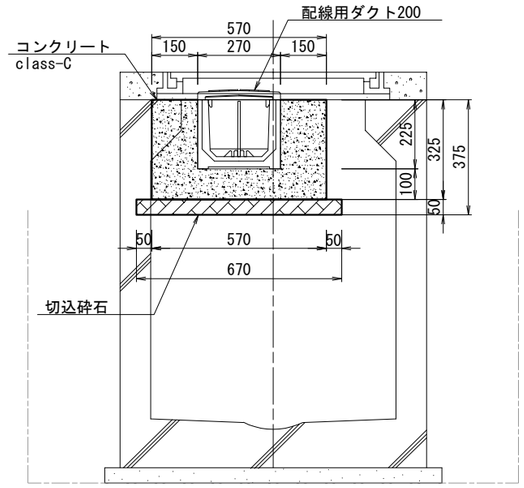
記事

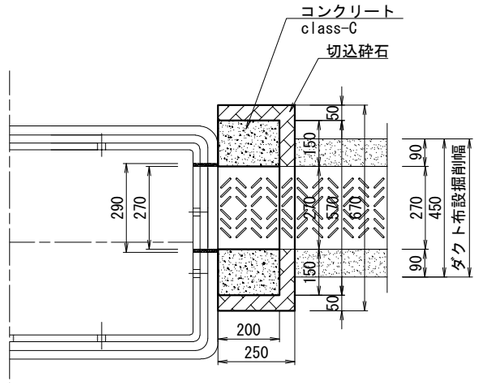
1. 管間隔(L)は、配管径50mm以上は150mmとし50mm未満は110mmピッチとする。
2. 管径の異なるものの同時布設の管間隔は、大きいほうの間隔とする。

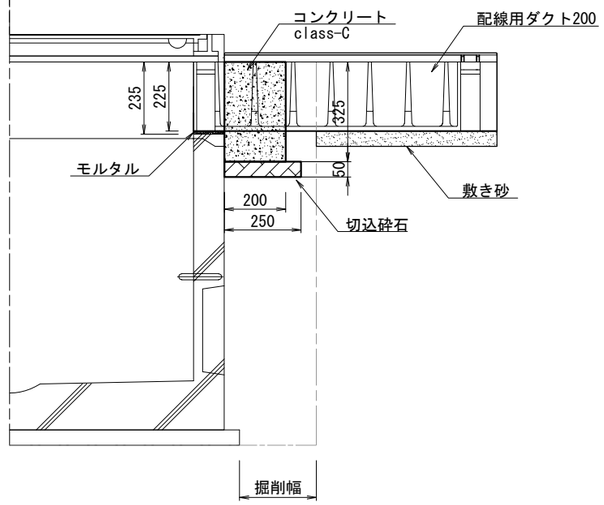
東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	管路付帯工(2)		
縮　　尺	1:20	図面番号	56 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

管路付帯工(3) S=1:20
（トラフダクトロ）







ダクトロ数量表
（1m当り）

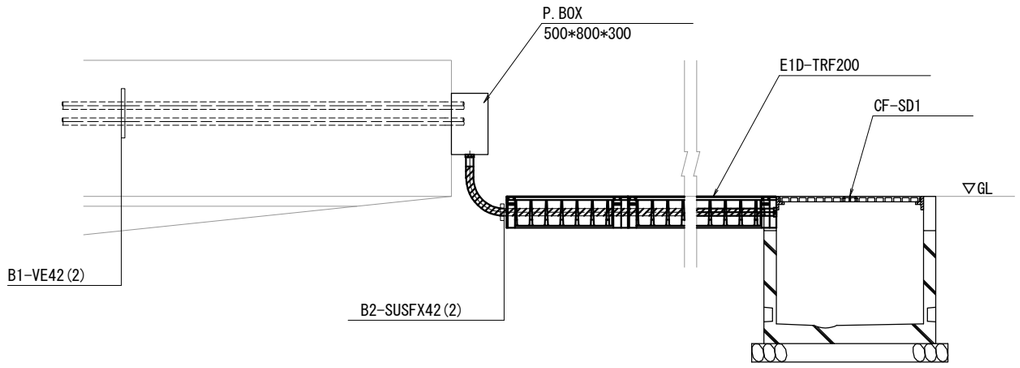
名　称	単位	数量	備　考
コンクリート	m3	0.025	
切込砕石	m3	0.008	
型　枠	m3	0.315	
ハンドホール貫通工	m2	0.061	

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	管路付帯工(3) （トラフダクトロ）		
縮　尺	1:20	図面番号	57 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

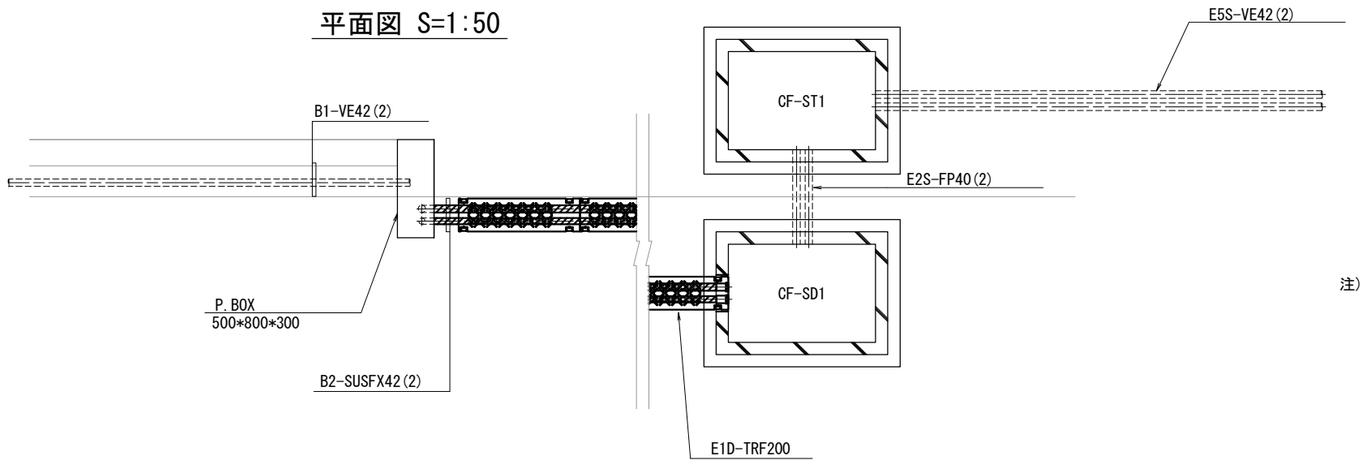
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

橋梁端部 管路接続図 S=1:50

縦断図 S=1:50



平面図 S=1:50



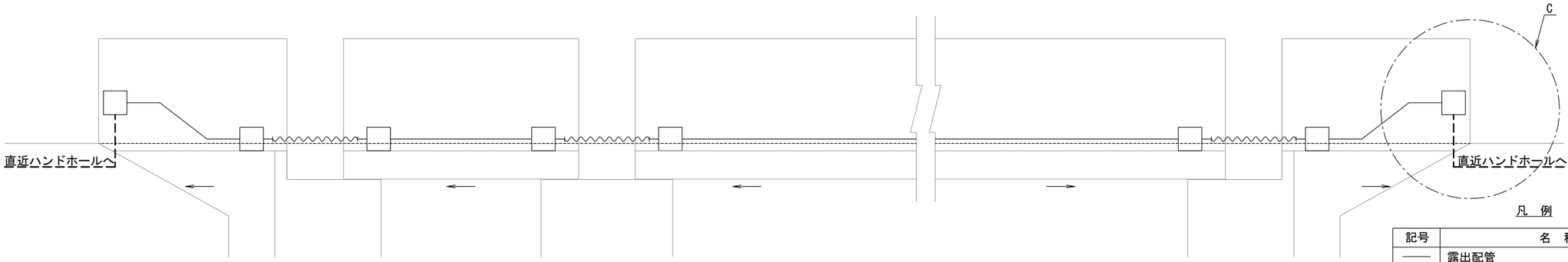
注)1.外形・寸法については、参考とする。

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	橋梁端部 管路接続図		
縮　尺	1:50	図面番号	58 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

橋梁部配管敷設要領図 S=1:50

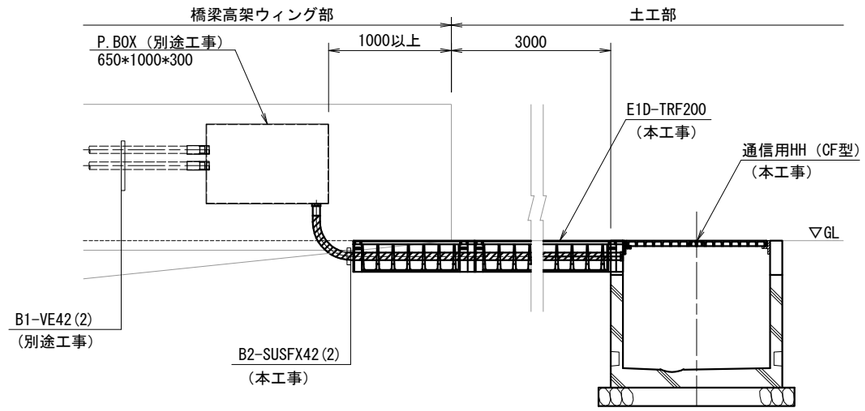
橋梁部配管敷設概要図　S=NON SCALE



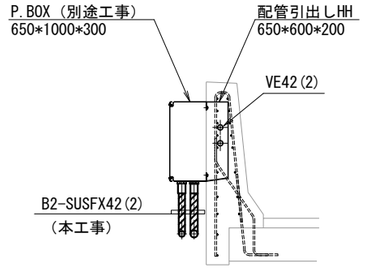
凡　例

記号	名　称
———	露出配管
－－－	埋設配管
～～～	金属製可とう電線管（SUS製被覆付き）
□	プルボックス
←—	管の伸縮方向

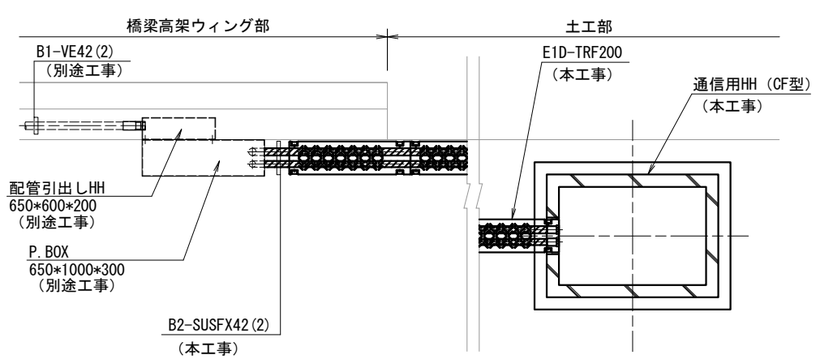
C部詳細図　S=1:50



C部断面図　S=1:50



C部平面図　S=1:50



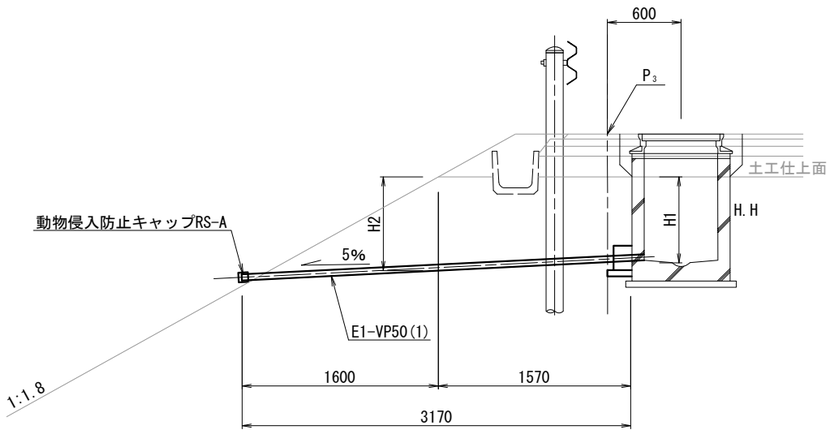
注１）金属可とう電線管SUS製被覆の塗装色はグレーとし、監督員との協議により決定する。

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	橋梁部配管敷設要領図		
縮　尺	1:50	図面番号	59 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

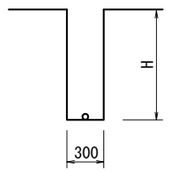
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

排水管布設要領図 S=1:50,5

断　面　図　S=1:50



E1-VP50(1)　S=1:50

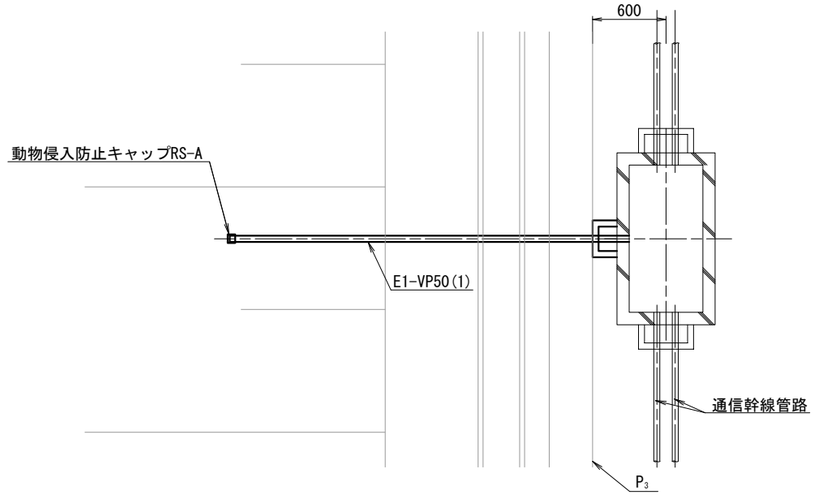


H1(m)	H2(m)
0.68	0.77

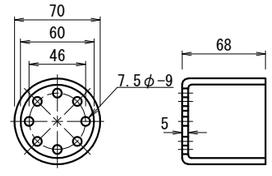
材料数量表

項　　目	規　　格	単 位	CD-ST1
ビニル管	VP50	m	3.17
動物進入防止キャップ	RS-A	個	1
コンクリート	C1-1	m3	0.006
切込砕石	40－0	m3	0.003
型　　枠	D	m2	0.100
堀　　削		m3	0.505
埋　　戻		m3	0.505

平　面　図　S=1:50



動物侵入防止キャップRS-A詳細図　S=1:5



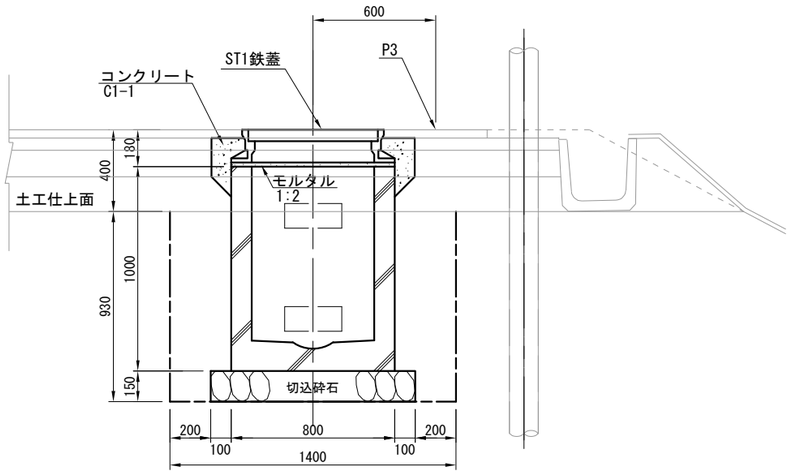
材質：硬質塩化ビニル製

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	排水管布設要領図		
縮　　尺	1:50,5	図面番号	60 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

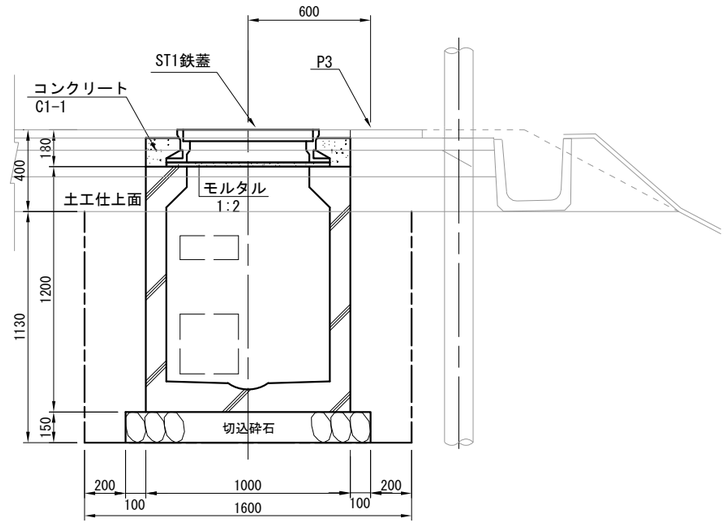
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

ハンドホール図(1) S=1:30

CD-ST1



CF-ST1



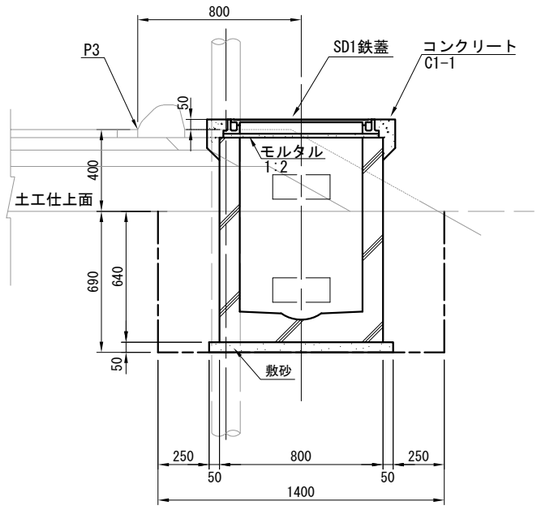
材料数量表

(1箇所当り)

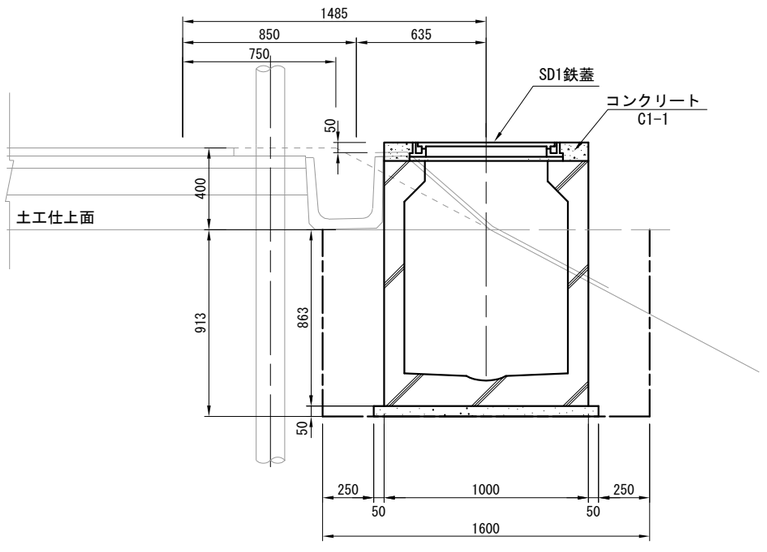
項 目		規 格	単位	CD-ST1	CF-ST1
ハンドホール	CD	1200×600×850	個	1	
	CF	1200×800×1050	〃		1
鉄蓋ST1		1200×600	組	1	1
落下防止柵		**標準設計図集 V-50**	組	1	1
コンクリート		C1-1	m^3	0.136	0.111
モルタル		1:2	〃	0.008	0.009
型 枠		D	m^2	1.694	1.097
堀 削			m^3	2.604	3.616
埋 戻			〃	1.490	1.956
残土処理			〃	1.114	1.660
切込砕石		RC-40	〃	0.240	0.288

注 1. 上表にはダクトロの防護コンクリート数量は含まれていない。
2. 蓋枠止めコンクリート部については、表層分（4cm）レベルを下げるものとする。
3. 盛土部のハンドホールについては、排水管を設置する。詳細は、別図参照。

CD-SD1(盛土部)



CF-SD1(盛土部,平坦部)



材料数量表

(1箇所当り)

項 目		規 格	単位	数量 CD-SD1 盛土部	数量 CF-SD1 盛土部	数量 CF-SD1 平坦部
ハンドホール	CD	1200×600×850	個	1		
	CF	1200×800×1050	〃		1	1
鉄蓋SD1		1200×600	組	1	1	1
落下防止柵		**標準設計図集 V-50**	組	1	1	1
コンクリート		C1-1	m^3	0.059	0.075	0.075
モルタル		1:2	〃	0.006	0.006	0.006
型 枠		D	m^2	1.098	0.851	0.851
堀 削			m^3	1.932	2.904	2.904
埋 戻			〃	1.148	1.595	1.595
残土処理			〃	0.784	1.309	1.309
敷 砂			〃	0.068	0.083	0.083

注 1. 上表にはダクトロの防護コンクリート数量は含まれていない。

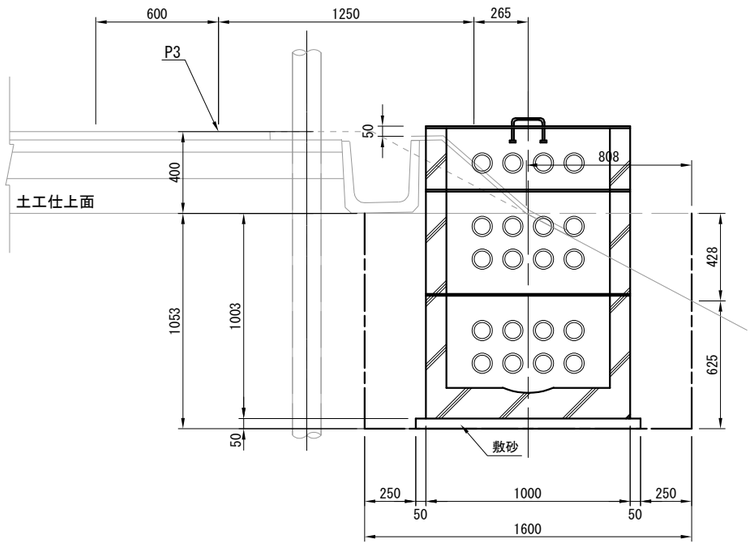
施工注意事項
1. ハンドホール本体は水平に設置するものとする。
2. 蓋は、縦横断勾配に合わせて設置するものとする。

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	ハンドホール図(1)		
縮 尺	1:30	図面番号	61 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

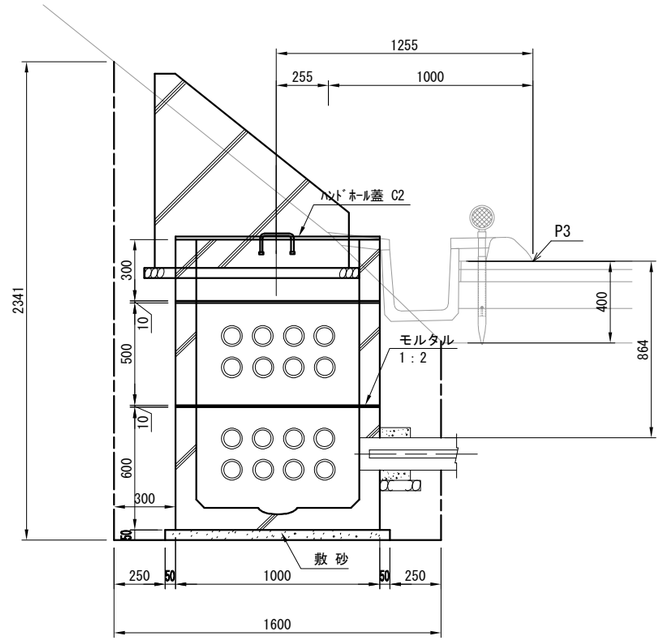
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

ハンドホール図(2) S=1:30

EE-C2(盛土部)



EE-C2(切土部)



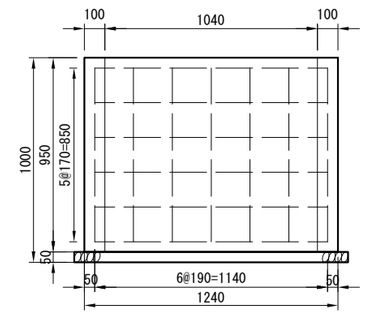
材料数量表

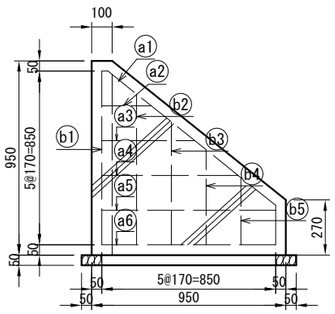
(1箇所当り)

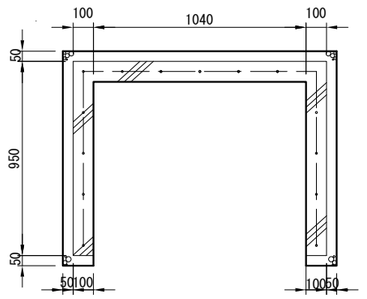
項 目		規 格	単位	数 量	
				EE-C2	
				盛土部	切土部
ユニット	a	800×800×600	個	1	1
	b	800×800×500	〃	1	1
	c	800×800×300	〃	1	1
鉄蓋		C2	組	1	1
モルタル		1:2	m³	0.007	0.007
敷 砂			〃	0.061	0.061
堀 削			〃	2.142	2.491
埋 戻			〃	0.526	1.507
残土処理			〃	1.617	0.984
土留壁工			個		1

注 1. 上表にはダクトロの防護コンクリート数量は含まれていない。

土 留 壁







鉄筋数量表

記号	種別	直径(mm)	長さ(m)	本数(本)	延長(m)	重量(Kg)
a1		D13	3.24	1	3.24	3.24
a2		〃	1.62	1	1.62	1.62
a3		〃	2.05	1	2.05	2.05
a4		〃	2.49	1	2.49	2.49
a5		〃	2.84	1	2.84	2.84
a6		〃	2.84	1	2.84	2.84
b1		〃	0.85	7	5.95	5.95
b2		〃	0.73	2	1.45	1.45
b3		〃	0.61	2	1.22	1.22
b4		〃	0.46	2	0.92	0.92
b5		〃	0.33	2	0.66	0.66
	計					25.28

土留壁数量表

項 目	規 格	単 位	数 量
コンクリート	B 1-3	m³	0.2070
型 枠	D	m²	2.0880
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ又は切込砕石	40－0	m³	0.0220
鉄 筋	SD30,D13	kg	25.28

東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	ハンドホール図(2)		
縮 尺	1:30	図面番号	62 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

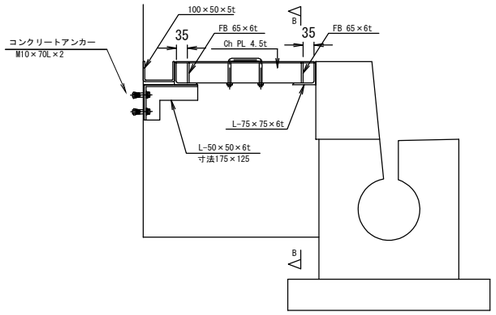
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

ハンドホール図(3)

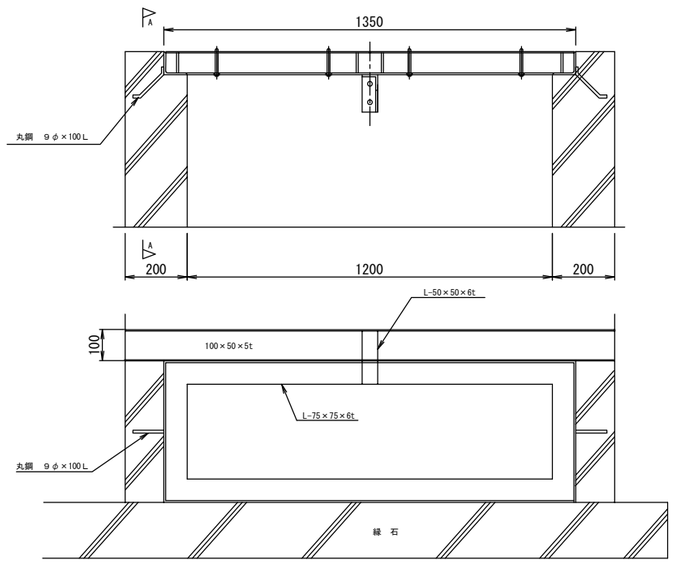
トンネル部

ハンドホール蓋設置図　S=1:20

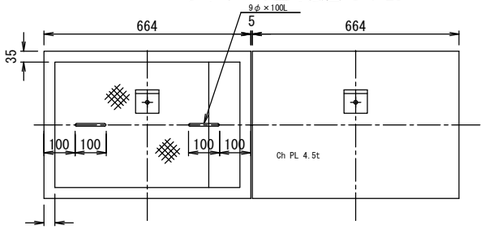
A-A　断面図



B-B　断面図



ハンドホール蓋寸法図 S=1:20



注）取付金物類の表面処理は溶融亜鉛めっき（HDZT77）とする

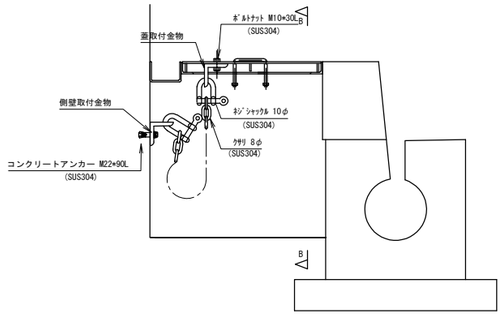
ハンドホール(TYPE-A)数量表

1箇所当り

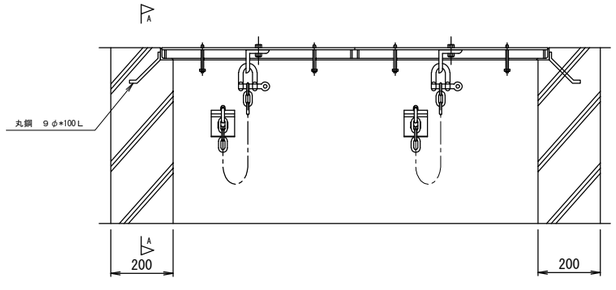
項　目	規　格	単位	数量	備　考
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ蓋	Ch PL4.5t、FB65×6t	組	2.00	
ハンドホール蓋受枠	L75×75×6t、150×75×25	組	1.00	
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	M10×70L (SUS)	本	2.00	
受枠支持金具	L50×50*6t (HDZT77)	箇所	1.00	寸法　175mm×125mm
飛来防止金具	SUS304	組	2.00	取付金物,ｼｬｯｸﾙ10mm,ﾁｪｰﾝ8mm･L=1200mm
接着系アンカーボルト	M16×160L(SUS304)	本	2.00	
コンクリート	C1-1	m^3	0.12	
型枠	Class D	m^2	1.13	

飛来防止金物取付図　S=1:20

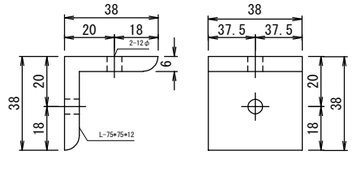
A-A　断面図



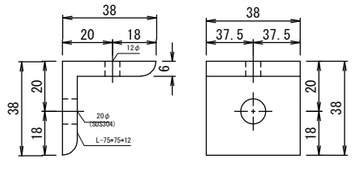
B-B　断面図



蓋取付金物詳細図　S=NON



側壁取付金物詳細図　S=NON



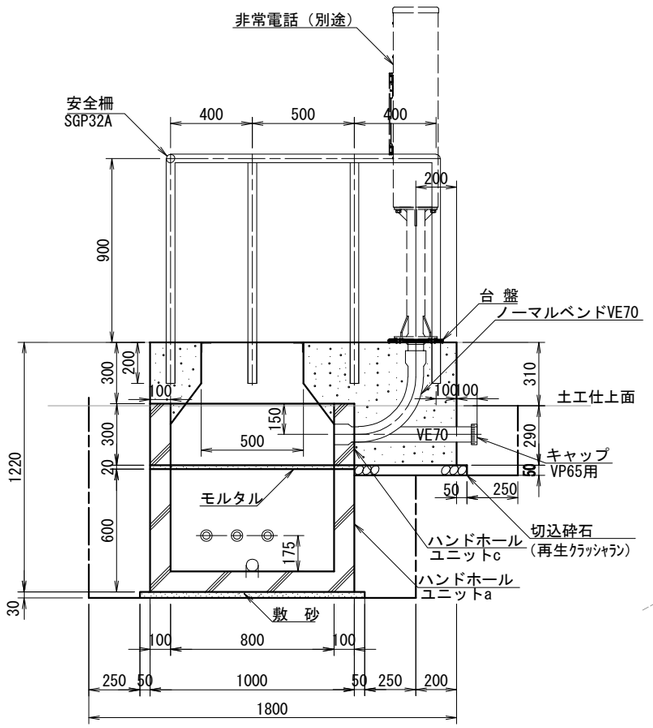
注）取付金物類の表面処理は溶融亜鉛めっき（HDZT77）とする。

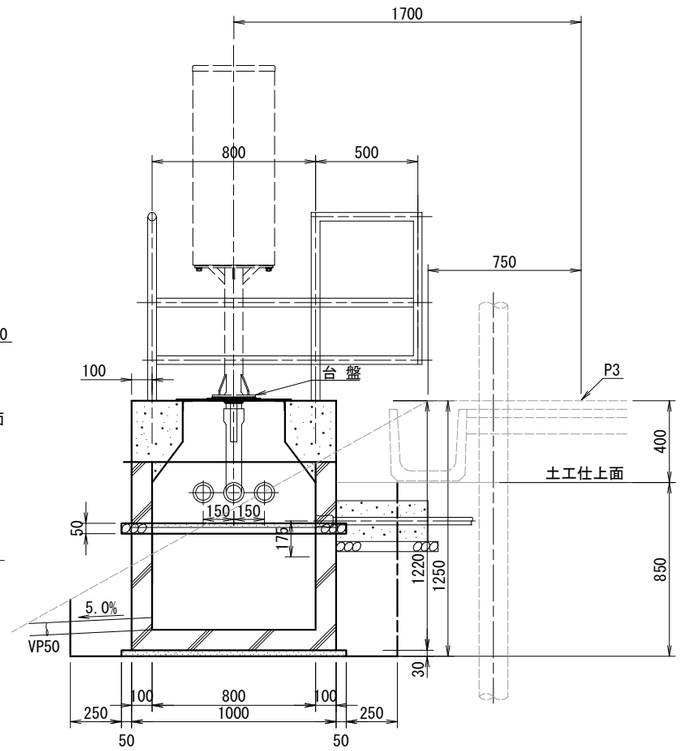
東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	ハンドホール図(3)		
縮　尺	1:20	図面番号	63 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

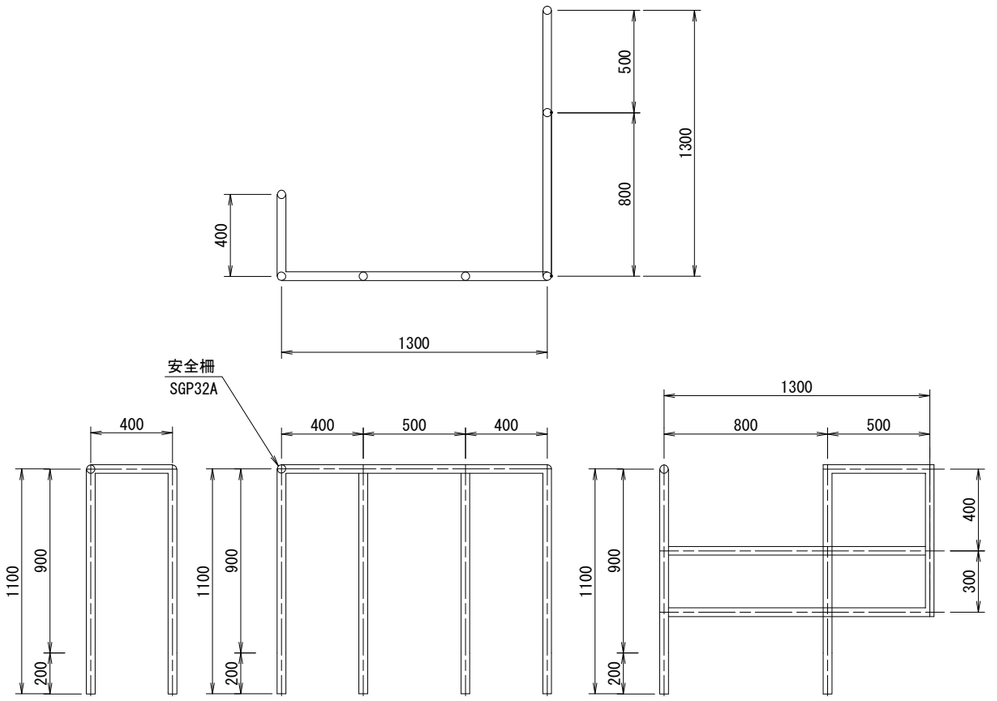
非常電話基礎図(1) S=1:30
(ET-AS)

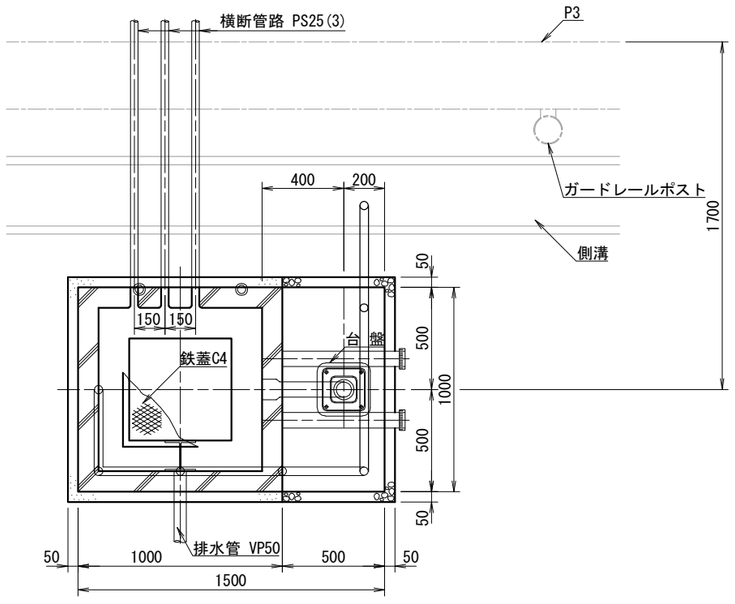
非常電話基礎詳細図





安 全 柵 詳 細 図





非常電話基礎数量表 (ET-A1)

（1箇所当り）

項 目	規 格	単位	数 量 ET-A		備 考
台 盤		組	1		
鉄 蓋	C4	〃	1		縞鋼板蓋
安 全 柵	SGP32A	〃	1		
踏 台		個			プレキャストコンクリート製
手 摺	SGP32A	組			
ハンドホール	ユニットa	個	1		プレキャストコンクリート製
ハンドホール	ユニットc	〃	1		プレキャストコンクリート製
ノーマルベンド	VE70	〃	1		R=300 90° ベンド
ビニール管	VP50	m	1.5		排 水 用
ビニールベルマウス	BL25	個	3		
ビニール管	VE70	m	1.4		キャップ付
コンクリート	Class C1-1	m3	0.528		
モルタル	1 : 2	〃	0.007		
敷 砂		〃	0.036		
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ又は切込砕石	40-0	〃	0.030		
型 枠	Class D	m2	3.150		
掘 削		m3	2.376		
埋 戻		〃	1.390		
残 土 処 分		〃	0.986		

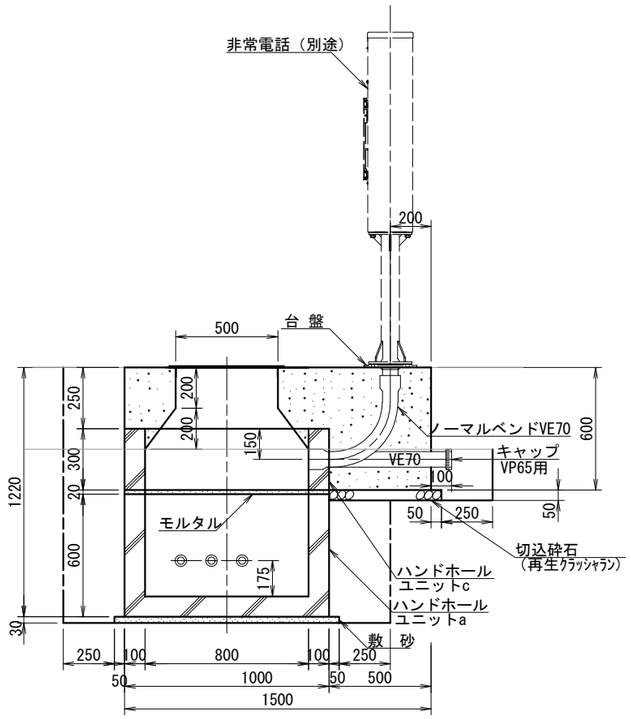
注1.安全柵及び手摺の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(JIS H8641 HDZT 77)とする。

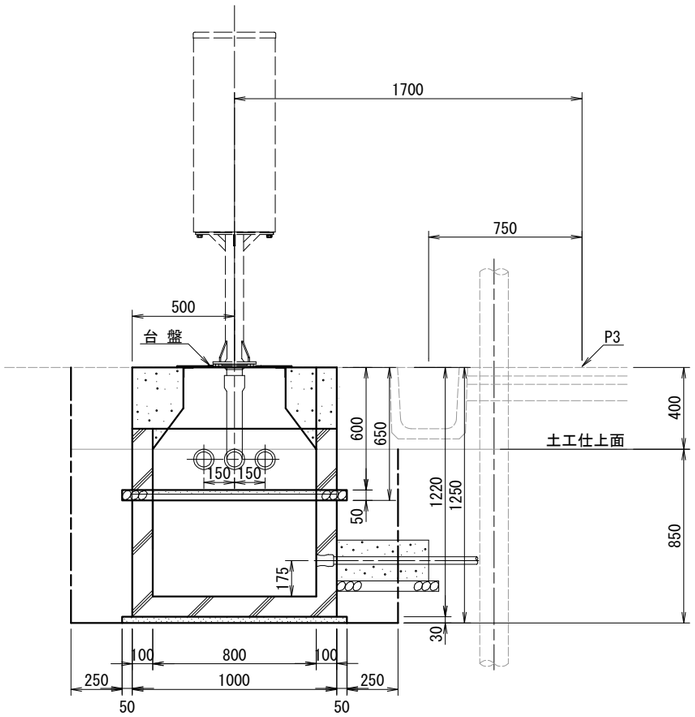
東関東自動車道 潮来舗装工事			
図面の種類	非常電話基礎図(1) (ET-AS)		
縮 尺	1:30	図面番号	64 / 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

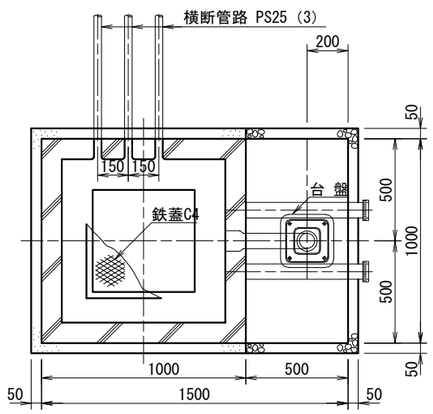
本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

非常電話基礎図(2) S=1:30
(ET-C1)

非常電話基礎詳細図







非常電話基礎数量表 (ET-C1)

(1箇所当り)

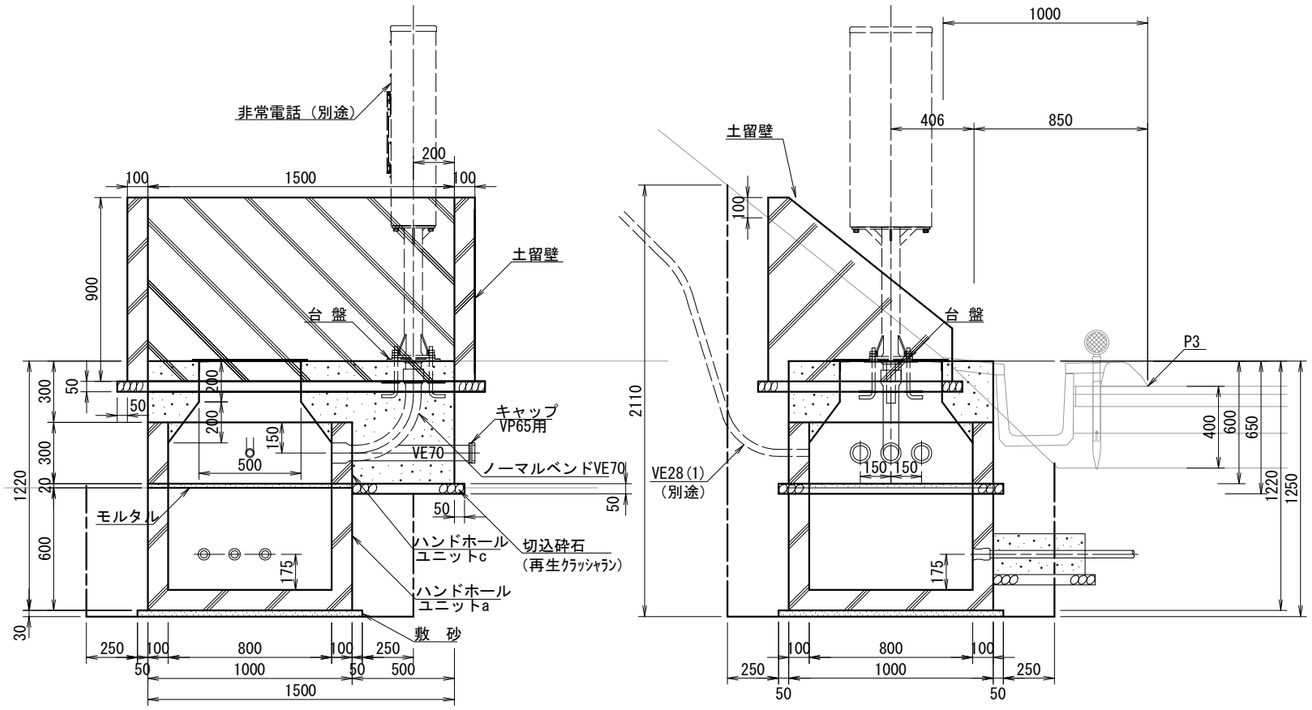
項　　目	規　　格	単位	数　量	備　　考
台　　盤		組	1	
鉄　　蓋	C4	〃	1	縞鋼板蓋
ハンドホール	ユニットa	個	1	プレキャストコンクリート製
ハンドホール	ユニットc	〃	1	プレキャストコンクリート製
ノーマルベンド	VE70	〃	1	R=300 90° ベンド
ビニールベルマウス	BL25	〃	3	
ビニール管	VE70	m	1.4	キャップ付
コンクリート	Class C1-1	m3	0.528	
モルタル	1 : 2	〃	0.007	
敷　　砂		〃	0.036	
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ又は切込砕石	40-0	〃	0.030	
型　　枠	Class D	m2	3.150	
掘　　削		m3	3.149	
埋　　戻		〃	1.817	
残 土 処 分		〃	1.332	

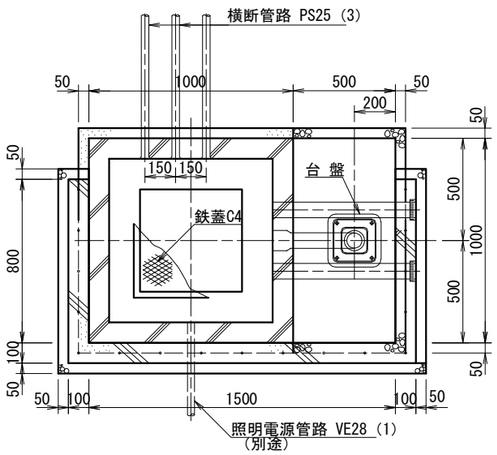
東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	非常電話基礎図(2) (ET-C1)		
縮　　尺	1:30	図面番号	65 ／ 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

本資料には東日本高速道路㈱の機密に関する事項が含まれている。
弊社の同意なく本資料の一部または全部を第三者に公開または
開示することを厳禁とする。

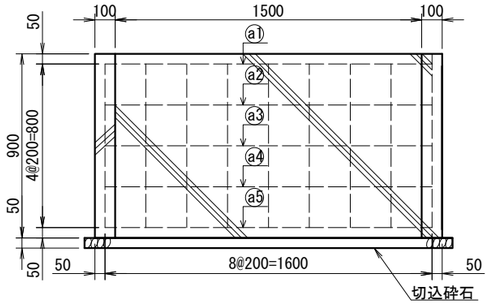
非常電話基礎図(3) S=1:30
(ET-D1)

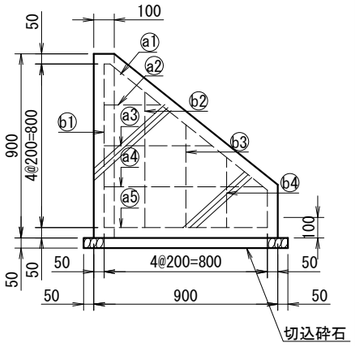
非常電話基礎詳細図

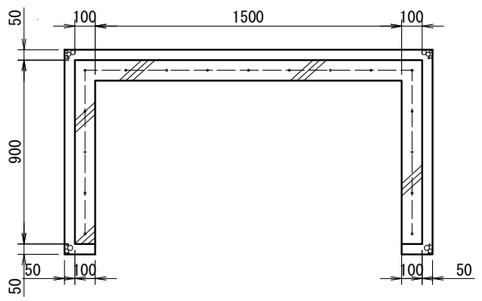




土留壁詳細図







注1. コンクリートブロック擁壁の場合は擁壁を最少限
取りこわし掘削間隙に生コンクリート（クラスD1-1）
を打設すること。
この場合は図示の土留壁は設置しない。

非常電話基礎数量表(ET-D1)　(1箇所当り)

項　目	規　格	単位	数　量	備　考
台　盤		組	1	
鉄　蓋	C4	〃	1	鋳鋼板蓋
ハンドホール	ユニットa	個	1	プレキャストコンクリート製
ハンドホール	ユニットc	〃	1	プレキャストコンクリート製
ノーマルベンド	VE70	〃	1	R=300 90° ベンド
ビニールベルマウス	BL25	〃	3	
ビニール管	VE70	m	1.4	キャップ付
コンクリート	Class C1-1	m3	0.528	
モルタル	1 : 2	〃	0.007	
敷　砂		〃	0.036	
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ又は切込砕石	40-0	〃	0.030	
型　枠	Class D	m2	0.402	
掘　削		m3	3.393	
埋　戻		〃	1.828	
残土処分		〃	1.565	
土留壁工		式	1	

土留壁数量表　(1箇所当り)

項　目	規　格	単位	数　量
コンクリート	ClassB1-3	m3	0.233
型　枠	Class D	m2	4.880
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ又は切込砕石	40-0	m3	0.026
鉄　筋	D13	kg	21.49

土留壁鉄筋数量表　(1箇所当り)

記号	種　別	直径(mm)	長さ(m)	数量(本)	延長(m)	重量(kg)
a1	⌒	D13	3.57	1	3.57	3.57
a2	⌒	〃	2.16	1	2.16	2.16
a3	⌒	〃	3.16	1	3.16	3.16
a4	⌒	〃	3.20	1	3.20	3.20
a5	⌒	〃	0.80	1	0.80	0.80
b1	——	〃	0.80	9	5.60	5.60
b2	——	〃	0.66	2	1.32	1.32
b3	—	〃	0.50	2	1.00	1.00
b4	—	〃	0.34	2	0.68	0.68
計						21.49

東関東自動車道　潮来舗装工事			
図面の種類	非常電話基礎図(3) (ET-D1)		
縮　尺	1:30	図面番号	66 / 66
設計会社名	株式会社 ジェイファスト		
工事会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		